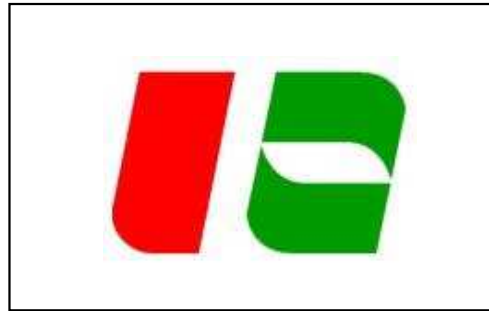


消 防 年 報

令和元年版
(2019年)



西宮市消防局

令和2年(2020年)刊行第68号

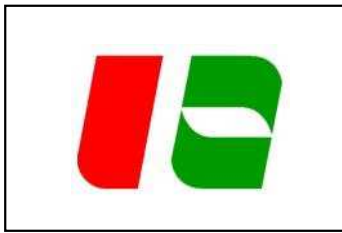
西宮市民憲章

美しい風光と豊かな伝統のまち、西宮の市民としてこの憲章を定めます。

これは未来へはばたくわたくしたちの合い言葉です。

- その1 西宮を みどりと青空の明るいまちにしましょう
- その2 西宮を 教育と文化のかおり高いまちにしましょう
- その3 西宮を 心のかよった福祉のまちにしましょう
- その4 西宮を 希望にみちた産業のまちにしましょう
- その5 西宮を 心身ともに健やかなしあわせのまちにしましょう

市旗



明るい太陽としあわせを表す赤と、東六甲の美しい自然に囲まれた町を象徴する緑で、西宮の「に」の字を図案化。「緑としあわせの町」を表現する。昭和45年11月制定。



市の木～くすのき



市花～さくら

震災復興コンセプト

「安全」「安心」そして「希望」に満ちた文教住宅都市をめざして

ま え が き

この年報は、令和元年中における西宮市消防局の現況と消防業務の統計を集録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、広く一般に公開することを目的として編集したものです。

なお、火災、その他災害、水防、救急、救助、通信は暦年、他は年度とし、その他必要なものには頭注に年月日を記載しました。

令和2年（2020年）8月

西宮市消防局

概 要

西宮市は兵庫県の南東部にあり、大阪湾から六甲山地にいたる南北に長い市域を持っています。大阪市と神戸市のほぼ中間という好立地にあり、関西有数の住宅都市・文教都市として発展してきました。鉄道網や道路網も発達しており、JR及び阪神、阪急の各私鉄、国道2号・43号・171号・176号、阪神高速神戸線・湾岸線・北神戸線、名神高速道路、中国自動車道などが近隣都市と市内各地を縦横に結んでいます。豊かな自然に恵まれていることも大きな魅力で、北部は緑の多いレクリエーションゾーン、南部は潮風のさわやかなマリーナゾーンとして親しまれています。また、大学・地域社会・行政それぞれが相互に連携することで、よりよい「文教住宅都市」を築いてきました。この本市まちづくりの基本理念である「文教住宅都市」をさらに発展させ、西宮市のもつ教育・住環境の優れた特性を充実させ、豊かで恵まれた自然環境を未来に引き継ぐ「環境学習都市宣言」を行い、よりグレードの高いまちづくりの実現を目指しています。



目

令和元年度に実施した主な事業	
消防車両整備事業	9
消防団車両整備事業	10
消防団車庫整備事業	10

概	況
西宮市の消防	13
令和元年中の各種出動件数	13
各種出動状況	14
緊急消防援助隊派遣状況	14
火災、その他災害出動、救助出動、 救急出動件数の推移	15
西宮市消防の沿革	16
所属別情勢	31
令和元年度重点目標	32
消防局の組織及び事務分掌	33
消防署の組織及び事務分掌	34
職員配置状況	35
年度別職員数状況	35
職員年齢状況	35
職員勤続年数状況	35
消防庁舎の概要	36
消防自動車等保有状況	37
消防情勢の推移	38
家庭防火クラブ・自主防災組織等 結成状況	39
消防協力隊結成状況	39
消防水利の状況	40
開発行為に伴う消防水利事務処理状況	40
消防相互応援協定締結状況	41
庁舎配置及び管轄区域	42

次

総	務
総務の概要	45
消防予算	46
一般会計予算と消防予算の推移	47
消防予算市民負担の推移	47
職員研修状況	
派遣研修（その1）	48
派遣研修（その2）	50
職場研修	51
消防吏員階級別資格取得状況	52
公務災害等発生状況	53
消防表彰等の状況	54
消防音楽隊の状況	55

広	報	及	び	広	聴
広報及び広聴の概要					59
広報活動状況					59
資料配布及び刊行物発行					60
広聴事務処理状況					60
消防情報の提供（報道機関等）					60

予 防 行 政

予防行政の概要	63
防火対象物現況表	64
防火管理者選任及び消防計画届出現況表	65
防火対象物査察・検査実施状況	66
用途別中高層(5階以上)防火対象物状況	67
防火管理に関する講習の実施状況	68
建築物確認申請等処理状況	68
12条報告・仮使用承認等処理状況	68
危険物製造所等設置許可数	69
危険物製造所等類別設置許可数	69
所属別危険物施設等現況及び査察状況	70
液体危険物タンクの完成検査前 検査実施状況	71
危険物仮貯蔵・仮取扱承認状況	71
少量危険物・指定可燃物・ 液化石油ガス等届出施設状況	71
住宅防災診断実施状況	72
住宅防災診断指導件数	72

火 災 統 計

火災の概要	75
火災の状況	77
火災状況の推移	78
署別火災発生状況	78
月別火災発生状況	79
曜日別火災発生件数	80
時間別火災発生件数	80
覚知方法別火災発生件数	80
10年間の建物焼損棟数・焼損面積	81
火災種別毎の損害額の割合(前年比較)	81

令和元年の出火原因	82
10年間の主な出火原因	82
放火件数の推移	83
放火の曜日別火災発生件数	83
放火の時間別火災発生件数	83
放火による着火物	83
主な火災発生状況	84
隣接都市火災応援(被応援)出動状況	84
高速道路における隣接都市 火災応援(被応援)出動状況	84
消防局消防活動状況	85

そ の 他 災 害 統 計

その他災害の概要	89
所属別その他災害発生状況	90

水 防 統 計

水防災害活動状況	93
----------	----

救 急 統 計

救急の概要	97
救急出動件数	98
救急出動件数・搬送人員の推移	98
事故種別出動件数及び搬送人員	99
事故種別出動件数の推移	99
事故種別傷病程度別搬送人員	100
傷病程度別搬送人員の推移	100
事故種別年齢区分別搬送人員	101
年齢区分別搬送者の推移	101
月別救急出動件数	102
曜日別救急出動件数	102
時間別救急出動件数	103
医療機関別搬送状況	104
隣接都市救急応援（被応援）出動状況	104
現場到着及び病院収容所要平均時間	105
現場到着及び病院収容所要 平均時間の推移	105
応急処置等の状況	106
西宮市医師同乗制度の状況 （ドクターカーシステム）	106
心原性かつ一般市民による 目撃のあった心肺停止者数	107
心原性かつ一般市民による目撃 のあった心肺停止者数と一般市民 による心肺蘇生実施数の推移	107
心原性かつ一般市民による目撃 のあった症例の1ヵ月後の生存率 及び社会復帰率の推移	107
所属別救急講習実施状況	108
救急講習実施回数及び受講者数の推移	108

熱中症による救急搬送状況の週別推移	109
熱中症による救急搬送状況の推移	109
救急出動状況	110
救急隊別出動状況	111
月別・曜日別救急出動状況	112

救 助 統 計

救助の概要	115
救助出動状況	116
発生場所別出動状況	117
月別救助出動状況	118
救助出動状況の推移	119
隣接都市救助応援（被応援）出動状況	120
所属別消防用空気・酸素等容器保有状況	120
主な救助器具配置状況	121

消 防 通 信

指令業務の概要	125
消防通報用電話（119番）受信状況	126
消防通信施設の状況	127
気象情報等月別発令状況	128
発令された防災指令等	128
消防テレホンサービス利用状況	129

車 両 整 備

車両整備の概要	133
車両の購入	133
点検整備等	134

消 防 団

西宮市消防団の沿革	137
消防団の組織	139
消防団自動車現況	140
消防団員在職年数状況	141
消防団員年齢状況	141
消防団費と市民負担	142
消防団出動状況	142
消防団訓練実施内容	142
派遣研修及び教育訓練実施状況	142
公務災害等発生状況	143
団員の職業別	144
表 彰	144

令和元年度に
実施した主な事業



第48回全国消防救助技術大会(ロープブリッジ渡過)

消 防 車 両 整 備 事 業



災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(タンク車)
【北消防署】



消防ポンプ自動車(ポンプ車)
【北夙川分署】



高規格救急自動車
【鳴尾消防署】



特殊災害対応支援車
【西宮消防署】

消防団車両整備事業



消防ポンプ自動車
【上山口分団、名塩分団】

消防団車庫整備事業



用海分団車庫



生瀬分団新車庫

概 況



警防練成会

西宮市の消防

(令和2年4月1日現在)

《消防施設と人員》

消防局	1	(整備センター・消防訓練施設を含む)
消防署	4	
消防分署	4	
消防自動車等	77台	(非常用車両を含む)

《消防団》

消防団本部	1	(消防局庁舎内)
分団数	33	分団(7地区)
分団車庫	36	箇所
消防自動車等	39	台

消防職員

定数	522人
実員	452人(うち女性8人)
	※派遣職員25人(うち女性1人)を除く

消防団員

定員	755人
実員	700人(うち女性8人)

《令和2年度消防予算》

66億129万4千円

団長	1人
副団長	7人
分団長	33人
副分団長	36人
部長	37人
班長	110人
団員	448人(うち女性8人)
機能別団員	28人

令和元年中の各種出動件数

《火災》

火災件数	85件
(平成30年中)	97件)
西宮市で4.3日に1件の割合で火災が発生したことになります。	
損害額	3,356万0千円
(平成30年中)	1億4,602万3千円)
火災1件あたりの損害額は39万5千円となり、市民1人あたりでは69円になります。	

死傷者	[死者 4人]
	[負傷者 8人]

平成30年中	[死者 0人]
	[負傷者 17人]

《その他災害》

その他災害出動件数	1,056件
(平成30年中)	1,013件)

《救急》

救急出動件数	25,091件
(平成30年中)	24,723件)
西宮市で1日平均68.7件出動したことになります。	

	(令和元年中)	(平成30年中)
1 急病	16,055件	16,006件
2 一般負傷	4,158件	4,080件
3 交通事故	1,756件	1,688件
4 上記以外	3,122件	2,949件
となっています。		

《救助》

救助出動件数	436件
(平成30年中)	460件)

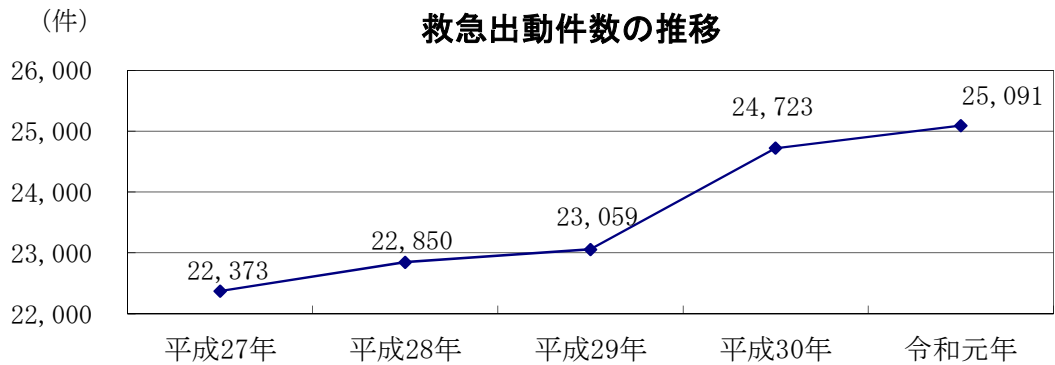
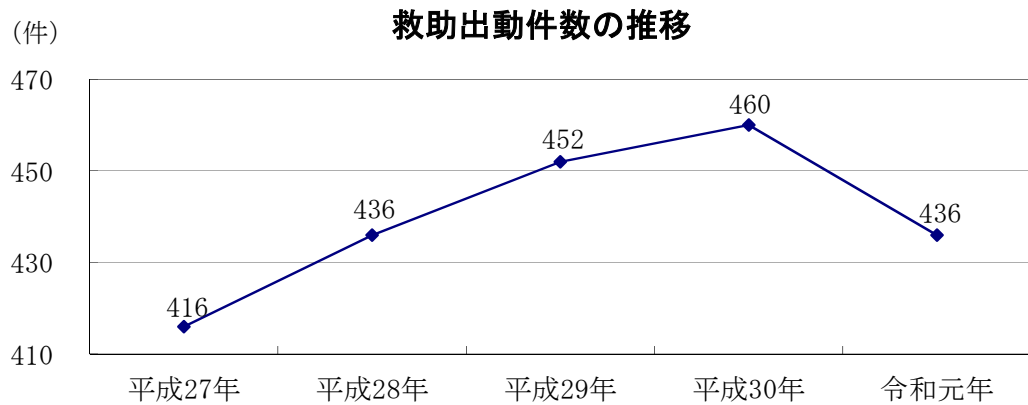
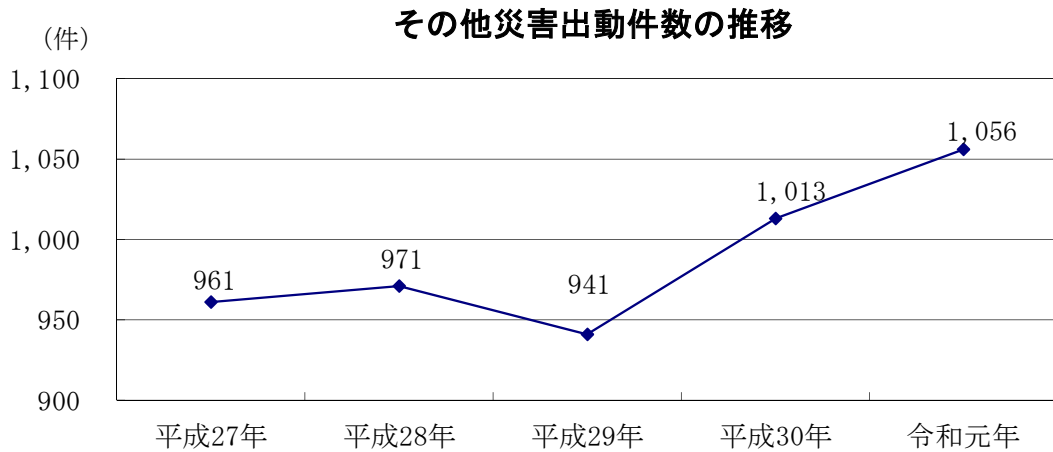
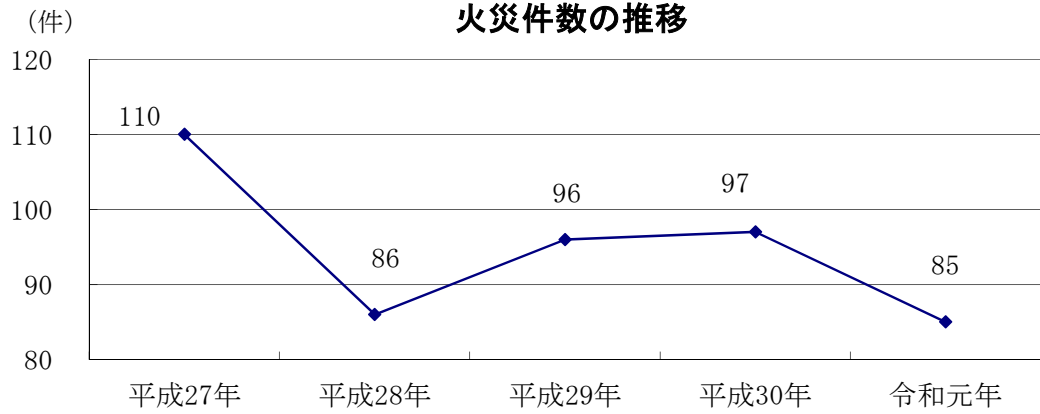
各種出動状況

(令和元年中)

		種 別	件数等	出動台数	出動人員
緊急出動業務	火災	火災件数	85	403	1,470
		死 者 (人)	4		
		負 傷 者 (人)	8		
		1日当りの火災件数	0.2		
	その他災害出動	その他災害出動件数	1,056	1,218	4,632
		緊急措置	123		
		緊急確認	361		
		支援活動	251		
		その他	81		
		補完	240		
	救助出動	救助出動件数	436	1,043	3,800
		救助人員 (人)	242		
		1日当りの救助出動件数	1.2		
	救急出動	救急出動件数	25,091	25,091	75,540
		傷病者搬送人員 (人)	22,793		
		ドクターカー出動件数	41		
1日当りの救急出動件数		68.7			
		合 計	26,668	27,755	85,442

緊急消防援助隊派遣状況

	区分	月 日	出動車両	出動人員
出動場所				
該当なし				



	消防法の公布施行	7月	消防法（法律第 186号）が公布施行された
昭和26年	鳴尾村消防本部統合	4月	武庫郡鳴尾村、有馬郡山口村、塩瀬村の合併が成立、鳴尾村消防本部は西宮市消防本部に統合、同時に西宮市鳴尾消防署と改称 1 本部 2 消防署 消防職員106人 消防主力機械 7 その他 2
	消防自動車増強	6月	普通ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車の 2 台が完成 西宮消防署に配置
昭和29年	消防自動車増強	8月	水槽付消防ポンプ自動車が完成、鳴尾消防署に配置
昭和30年	消防無線電話の設置	12月	中短波消防専用無線電話 2 基（基地局 1 移動局 1）を設置、開局
昭和31年	鳴尾消防署新庁舎竣工	9月	西宮市古川町 1 番地に鳴尾消防署新庁舎竣工、移転し消防職員31人、消防車 4 台をもって業務開始
昭和32年	消防出張所の増設	5月	西宮消防署甲東出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車 2 台を配置し業務開始
昭和34年	消防出張所の増設	8月	西宮消防署夙川出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車 2 台を配置し業務開始
昭和35年	救急車の運用開始	2月	西宮消防署に救急車 1 台を配置、救急業務を開始
昭和36年	17 m はしご車配置	5月	17mはしご付消防ポンプ自動車が完成、西宮消防署に配置
昭和37年	化学消防自動車配置	3月	化学消防自動車が完成、西宮消防署に配置
昭和38年	救急の法制化	4月	消防法の一部改正により救急業務が法制化された。
昭和40年	超短波無線電話の設置	3月	従来の消防専用中短波無線電話を廃止、消防用超短波無線電話を設置、7局（基地局 1 移動局 6）で運用開始
	機構改革	9月	消防署の組織を署長・次席制 4 係とする
	LPガスタンクローリー車火災	10月	川西町においてLPガスタンクローリー車が転覆炎上し58棟全半焼、死者 5 名、負傷者26名、車両35台焼損
昭和41年	シュノーケル車	1月	シュノーケル車が完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	1月	鳴尾消防署に17mはしご付消防ポンプ自動車を配置
	消防本部及び西宮消防署新庁舎竣工	1月	西宮市津門大塚町 1 番38号に消防本部及び西宮消防署の新庁舎竣工、移転し業務開始
	一斉指令装置完成	2月	消防本部新庁舎竣工と同時に一斉指令装置（1 本部 2 消防署 2 出張所）が完成、運用開始
	機構改革	10月	従来の 5 課制から総務課、消防課、予防課の 3 課制に統合 9 係とする。 消防本部の機構 消防本部長一次長－ 3 課－ 9 係 消防署 2 署 2 出張所 消防職員168人 消防主力機械20

昭和42年	消防出張所の増設	4月	西宮市大屋町12番14号、名神高速道路高架下に西宮消防署瓦木出張所の新庁舎竣工、消防職員12人、消防自動車3台にて業務開始
	救助隊の発足	6月	特別救助隊発足
昭和43年	消防職員待機宿舎完成	5月	西宮市津門大塚町1番38号に消防職員待機宿舎竣工、使用開始
昭和44年	消防署の増設	4月	西宮市上甲東園2丁目11番66号に甲東消防署新庁舎竣工、消防職員35人、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、計4台をもって業務開始、同年5月に西宮消防署甲東出張所を廃止し、1本部3消防署2出張所となる
	管轄区域の変更	4月	甲東消防署増設に伴い、西宮消防署夙川出張所を甲東消防署夙川出張所とし管轄区域を変更する
	副士長制度の発足	7月	職場における能率の向上と勤務意欲を高めるため副士長制度を設けた
昭和45年	大型化学車配置	1月	大型化学車が完成、西宮消防署に配置
昭和46年	消防分署の増設	4月	西宮市塩瀬町名塩5318番の1に甲東消防署北分署の新庁舎竣工、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、計4台消防職員18人をもって業務開始
	無線前進基地局の開設	4月	北部地域における円滑な通信業務を図るため、新庁舎甲東消防署北分署に無線前進基地局を開設
	監視用テレビジョンの設置	7月	望楼を廃止し、指令室に監視用テレビジョンを設置して火災監視センターとして運用開始
昭和47年	32mはしご車配置	1月	32mはしご付消防ポンプ自動車が完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	1月	西宮消防署瓦木出張所にシュノーケル車を配置
昭和48年	救助工作車配置	2月	救助工作車が完成、西宮消防署瓦木出張所に配置
	救急指令装置の設置	3月	ワンタッチシステムの救急指令装置が完成、運用を開始 救急隊 4隊
	西宮消防署瓦木出張所を分署に昇格	4月	西宮消防署瓦木出張所を分署に昇格、人員、車両を增強し救急救助体制を強化
	気象観測装置の設置	12月	消防本部に気象観測装置を設置
昭和49年	機構改革	1月	従来の消防課にあった指令室を管制第1係、管制第2係とし、予防課に環境指導係を設ける 消防本部長一次長－3課－11係となる
	高発泡車配置	2月	高発泡車が完成、西宮消防署に配置
	救急波無線局の設置	3月	消防本部と甲東消防署北分署に救急波無線局を設置
	機構改革	11月	従来の総務課、消防課、予防課のほかに主幹制度を設け4課とし、主査を置き12係とする 消防本部長一次長－4課－12係となる 従来の消防署次席を副署長とし分署に分署長、出張所に出張所長を置く

	移動消防分遣所制度	11月	3消防署、2分署、1出張所からそれぞれ分隊編成で予防 査察、地水利調査、消防警備等を合理的に実施し防災面の 条件整備を図る
昭和50年	42 m はしご車配置	3月	42mはしご付消防自動車完成、西宮消防署に配置
	車両配置の再編	3月	(1) 西宮消防署瓦木分署に32mはしご付消防ポンプ自動車を 配置 (2) 甲東消防署にシュノーケル車を配置
	機 構 改 革	10月	(1) 消防本部の名称を西宮市消防局とする (2) 消防局に管理部と消防部の2部を設ける (3) 管理部に施設課を設け、従来の総務課を管理課と改称し、 2課1主幹とする (4) 消防部に管制室及び救急救助課を設け、3課1室とする (5) 西宮消防署瓦木分署を消防局瓦木分室とし、消防部救急救 助課を置く 西宮市消防局は、2部5課1室1主幹15係3主査及び3署 1分署1出張所となる
昭和51年	空気圧縮設備完成	1月	空気圧縮設備が完成し、消防活動の迅速化と円滑化を図つ た
昭和52年	消防出張所の増改築	12月	甲東消防署夙川出張所の増改築に伴い人員の増強と従来消 防局瓦木分室（救急救助課）が運用していた救急車を配置 替えし、救急業務の適正化を図った
昭和53年	機 構 改 革	6月	(1) 管理部施設課を廃止し、事務を同部管理課と消防部消防課 に分ける (2) 消防課に技術係を新設する (3) 消防部救急救助課を瓦木分室から消防局（本局）に移す (4) 瓦木分室を西宮消防署瓦木分署とする (5) 消防部予防課の査察安全係を予防係に、環境整備係を指導 係に改称する (6) 夙川方面の消防行政需要の増大に伴い甲東消防署夙川出張 所に消防第1係長、消防第2係長及び予防係長を配置した (7) 消防局の毎日勤務者を削減し、消防署の人員を強化した 西宮市消防局は、2部4課1室1主幹13係1主査及び3 消防署2分署1出張所となる
昭和54年	鳴尾消防署仮設庁舎	9月	鳴尾消防署庁舎建替のため鳴尾町2丁目所属照寂公園に 仮設庁舎建築
	ドクターカー制度の 発足	12月	救命率の向上を図るため、消防局の機動力と病院の医療技 術を組み合わせたドクターカーシステムの運用開始
昭和55年	42 m はしご車配置	2月	42mはしご付消防自動車完成、鳴尾消防署に配置
	鳴尾消防署新庁舎竣工	3月	鳴尾消防署新庁舎竣工（旧庁舎敷地跡）
	定 数 改 正	3月	消防職員の定数を「315人」に改めた
	機 構 改 革	4月	消防局救急救助課の特別救助隊を消防署に配置、強化を図 る

	救助工作車配置	4月	機構改革により鳴尾消防署に救助工作車を配置
	消防主任制度の発足	10月	消防主任（消防司令補）を隔日勤務体制の部署に配置
昭和56年	消防局管制室改修及び無線局の増設	3月	消防局の管制室を拡張、県内共通波無線局、全国波無線局を設置
	医療情報システム	4月	兵庫県医療情報システム運用開始
昭和57年	阪神間救急医療研究会	3月	救急隊員の医学知識向上を目的として発足
	消防分署の増改築	12月	瓦木分署の職場環境の整備拡張を図るため事務所、仮眠室等の増改築を実施（増築30.75㎡）
昭和58年	消防局、西宮消防署の改修	3月	消防局、西宮消防署の事務能率の向上を図るため事務室全体の改修を実施
	自主防災組織	11月	地震その他の災害に対し、自主的な防災活動を行い、地域の被害の防止と軽減を図ることを目的とした、山口町連合防災会が発足
昭和59年	消防局、西宮・甲東消防署の改修	3月	消防局西宮消防署の庁舎補修のため外壁、屋外階段、屋上防水及び甲東消防署の庁舎外壁、屋上防水改修
	救助訓練施設の設置	3月	救助訓練施設（訓練塔、登はん梯子）を消防局に設置
	甲東消防署夙川出張所を北夙川分署に昇格	4月	甲東消防署夙川出張所を市内松風町4番4号に移転竣工、北夙川分署に昇格改称し、業務を開始
	消防分署を署に昇格	10月	甲東消防署北分署を北消防署に昇格改称した
	西宮消防署と甲東消防署の管轄区域の改正	10月	西宮消防署と甲東消防署の管轄区域を改正し、北夙川分署の名称を西宮消防署北夙川分署とした
昭和60年	消防出張所新庁舎竣工	4月	北消防署山口出張所を西宮市山口町上山口1056番地の1に竣工、業務開始
昭和61年	消防局管制室に救急業務用地図等検索装置を新設	3月	消防局の管制室にパソコンと光ディスクを連動させた救急業務用地図等検索装置を新設
	地震計の設置	3月	消防局庁舎に地震計を設置
	国際消防救助隊への参加登録	4月	外国の大災害に対し、機敏な救助活動を行うことを目的とする国際消防救助隊に参加登録
昭和62年	西宮市消防局整備センター竣工	4月	消防車両等の継続検査と効率的な整備や消防用機器の開発を行うため、整備センターを西宮市西宮浜3丁目5番地に竣工、業務開始
	救助工作車配置	10月	西宮消防署へ救助工作車を配置
	消防テレホンサービス	12月	消防テレホンサービスの運用開始
昭和63年	無線設備の拡充	3月	災害現場における重要通信の混信を避けるため消防第2市波無線局を開設し、広域災害に対応するため移動局に防災波を増設
	消防音楽隊の発足	4月	消防音楽隊の発足

	携帯基地局、携帯局の開設	6月	市域外にまたがる広域災害発生時における陸上、海上、上空の2以上にわたり運用可能な携帯基地局を開設
	瓦木消防署新庁舎竣工	10月	西宮市高木東町15番11号に瓦木消防署の新庁舎竣工、業務開始
	管轄区域の変更	10月	瓦木消防署の新庁舎竣工に伴い、甲東消防署を瓦木消防署甲東分署とし、西宮消防署瓦木分署を廃止、これに伴い瓦木消防署及び西宮消防署の管轄区域を変更
	救助訓練施設の設置	10月	瓦木消防署に救助訓練施設を設置
	西宮市救急医療情報システム	11月	救急医療体制の円滑な運用を図るため、西宮市救急医療情報システムの運用開始
	防振ストレッチャー開発	11月	救急車内の振動を軽減した西消式防振ストレッチャーを開発装備
	救助工作車配置	12月	瓦木消防署に大型救助工作車を配置
平成元年	定数改正	3月	消防職員の定数を「329人」に改めた
平成2年	機構改革	4月	主幹を廃止し、整備センターを管理部へ編入
	課長補佐制度の導入	4月	課長補佐制度を導入
	資器材搬送車配置	6月	消防課に資器材搬送車を配置
	支援車配置	10月	西宮消防署に支援車を配置
平成3年	消防出張所の増改築	2月	北消防署山口消防出張所の車庫増改築を行い、救急車1台を配置し、救急体制の拡充を行った
	無線前進基地局の開設	3月	山口地域における円滑な通信業務を図るため、北消防署山口消防出張所に無線前進基地局を開設
	救助訓練施設及び救急消毒室の設置	3月	鳴尾消防署に救助訓練施設（訓練塔、登はん梯子）及び救急消毒室を設置
	消防出張所を消防分署に昇格	4月	北消防署山口消防出張所を消防分署に昇格改称
	北消防署新庁舎竣工	4月	西宮市名塩新町7番地1に北消防署の新築移転に伴う新庁舎竣工、業務開始
	気象観測装置の増設	4月	北消防署に気象観測装置を設置し、消防局と合せて観測点を2カ所とした
	ドクターカーシステム制度の拡充	4月	救急医療体制の充実を図るため、ドクターカーシステムの夜間の体制を整備し、24時間体制で運用開始
	救急消毒室設置	10月	西宮消防署北夙川分署及び瓦木消防署甲東分署に救急消毒室を設置
	50mはしご車配置	10月	50mはしご付消防自動車が完成、鳴尾消防署に配置
	救急Ⅱ課程制度	12月	兵庫県消防学校救急Ⅱ課程開校に伴い研修派遣
平成4年	衛星通信ネットワークの運用	1月	衛星通信を活用した「兵庫衛星通信ネットワーク」の運用開始

平成5年	ガスクロマトグラフの導入	2月	ガスクロマトグラフを導入し、予防課に配置 (～平成7年1月)
	防災指導車配置	2月	予防課に防災指導車を配置
	救急消毒室設置	3月	西宮消防署に救急消毒室を設置
	加入電話番号の統一	4月	消防局及び各署所の加入電話番号を「0119」に統一
	救急Ⅱ課程制度	5月	阪神地区救急Ⅱ課程開校に伴い研修派遣
	加入電話番号の増設	6月	消防局にダイヤルイン方式を導入し、直通電話を増設
	人員搬送車配置	8月	消防課に人員搬送車を配置
	非常開放面格子制度	9月	非常開放面格子の製品登録制度発足
	高規格救急車の配置	3月	救急救助課・西宮消防署に高規格救急車配置
	救急救命士制度	4月	西宮市で初めての救急救命士が誕生し、西宮消防署へ配置
平成6年	心電図受信装置の設置	6月	応急処置等の助言を得るため、2医療機関に心電図受信装置を設置
	高規格救急車の配置	12月	鳴尾消防署・瓦木消防署に高規格救急車配置
	定数改正	12月	消防職員の定数を「355人」に改めた
	機構改革	4月	(1) 管理部に企画課を新設 (2) 消防部消防課の消防第1係及び消防第2係を消防係に改称 開発担当を廃止し、警防係を新設するとともに救急救助課より救助係を移した (3) 消防部救急救助課を救急課に改称し、救急指導係を新設した (4) 消防部管制室の管理担当を廃止した (5) 西宮消防署及び瓦木消防署の課長補佐の下に消防係長を新設し、消防指揮体制の強化を図る 西宮市消防局の組織は、2部5課1室1センター16係及び4署3分署となる
	救急救命士	4月	救急救命士を鳴尾消防署へ配置
	救急救命士	10月	救急救命士を瓦木消防署へ配置
	高規格救急車の配置	12月	西宮消防署北夙川分署・北消防署に高規格救急車配置
	兵庫県南部地震発生	1月	1月17日5時46分震度7の兵庫県南部地震が発生し、西宮市全域にわたり甚大な被害を受けた
	50mはしご車配置	3月	50mはしご付消防自動車が完成、西宮消防署に配置
	電動ホースレイヤーの導入	3月	北消防署のポンプ車に、電動ホースレイヤーを導入 (以降、ポンプ車に順次整備)
平成7年	望火台撤去	3月	兵庫県南部地震により亀裂を生じた西宮消防署の望火台を撤去
	救急救命士	4月	救急救命士を北消防署へ配置

平成8年	機 構 改 革	4月	消防署の管理係を廃止、救急担当の係長を新設し、西宮消防署に配置
	救 急 救 命 士	10月	救急救命士を西宮消防署北夙川分署へ配置
	支 援 車 配 置	10月	北消防署に支援車（発電・照明・動力台車付）を配置
	救 援 車 等 配 置	12月	救援車（4台）、小型動力ポンプ積載車（10台）を各消防署及び消防分署等に配置
	高規格救急車の配置	12月	瓦木消防署甲東分署に高規格救急車配置
	消 防 水 利 の 整 備	2月	私設防火水槽の維持管理を図るため、指定水利制度の開始
	消 防 水 利 の 整 備	3月	河川利用消防用取水施設の設置
	災害対応特殊救急車等の配置	3月	救急課に災害対応特殊救急車、北消防署山口分署に高規格救急車を配置
	消 防 水 利 の 整 備	3月	飲料水兼用型耐震性100㎡ 貯水槽を今津中学校グラウンドに設置
	消防団事務の一元化	4月	市民局から消防局へ消防団事務の移管
平成9年	機 構 改 革	4月	(1) 管理部管理課に消防団係を新設 (2) 消防部消防課警防係を廃止し、自主防災・調査担当を新設 (3) 消防部管制室に消防情報システム係を新設 (4) 救急担当の係長を鳴尾消防署に配置
	消防局新庁舎竣工	4月	西宮市池田町13番3号に消防局の新庁舎竣工、業務開始
	救 急 救 命 士	4月	救急救命士を瓦木消防署甲東分署に配置
	高度救助用器具の導入	8月	高度救助用器具の整備を開始し、画像探索機（I型・II型）、地中音響探知機、熱画像直視装置、夜間用暗視装置を配置
	計 測 震 度 計 の 設 置	8月	消防局の地震計を北消防署へ計測震度計として移設
	災害対応ネットワークの運用	9月	「兵庫県災害対応総合情報ネットワーク」（フェニックス防災システム）を運用開始
	西宮市消防協力隊の結成	10月	消防活動に精通した自衛消防隊の活動範囲を周辺にまで広げ、防災機関を補完するため組織化された
	救 急 救 命 士	10月	救急救命士を北消防署山口分署に配置し、市内全消防署に配置が完了した
	全国共通波の整備	3月	広域応援体制確立のため、全移動局に全国共通波2及び全国共通波3を増設
	消防緊急情報システム運用開始	4月	消防緊急情報システムを導入し、受付指令業務等をコンピュータ化した (1) 発信地表示装置、地図等検索装置による通報場所自動表示 (2) 自動出動指定装置等による災害現場直近隊の自動編成 (3) 予告指令、自動指令、地図付指令書による確実な出動指令 (4) 消防団緊急伝達装置による迅速な出動要請 (5) 消防OAシステム等による支援情報報告統計オンライン化 (6) 気象情報、地震情報をオンライン化し遠隔監視

平成10年	無線設備の拡充	4月	消防緊急情報システム導入に合わせて無線設備を拡充した (1) 消防局に防災無線局を開設し、各署所に無線固定局を開設 (2) 北消防署、北消防署山口分署に消防第二市波無線局を開設 (3) 無線交信輻輳低減のためAVM装置、署活系無線機を導入 (4) 消防団車両に車載無線機(消防第2市波)を装備
	機構改革	4月	救急担当の係長を瓦木消防署に配置
	全国共通波の整備	2月	北消防署、北消防署山口分署に全国共通波1無線局を開設
	消防音楽隊10周年	3月	消防音楽隊10周年記念演奏会を挙行了した
	消防水利の整備	3月	飲料水兼用型耐震性100m ³ 貯水槽を山口支所前に設置
平成11年	定数改正	3月	消防職員の定数を「365人」に改めた
	機構改革	4月	救急担当の係長を北消防署に配置
	高所監視テレビ装置	4月	高所監視テレビ装置をセントラルガーデンタワー屋上移置
	携帯電話からの119番通報	4月	代表消防本部を經由して携帯電話からの119番通報を受信開始
	電子メール新設	8月	消防局にEメールアドレスを取得した
平成12年	定数改正	3月	「初任科教育又は救急救命士養成研修中の者」を定数外の職員に追加した
	震度情報伝達装置	7月	北消防署の震度情報を兵庫県を通じて気象庁に伝送開始
	住宅防災対策	11月	住宅防災診断マニュアルを作成し、防災診断を開始
平成12年	消防出張所新庁舎竣工	12月	西宮浜3丁目5番地に西宮消防署西宮浜消防出張所新庁舎竣工 消防車1台、救急車1台、査察広報車1台、小型動力ポンプ積載車1台、計4台、消防職員12人(救急救命士含む)をもって業務開始
	機構改革	4月	署に救急第1係、救急第2係を新設
平成13年	航空隊派遣	4月	兵庫県消防防災航空隊への職員派遣を開始した (以降、ローテーションにより派遣)
	機構改革	4月	(1) 管理部を総務部に、管理課を総務課、管理係を庶務係、人事教養係を人事係に改称し、整備センター(課)を廃止し総務課に整備センターを置いた 経理係を企画課に移した 総務部は、2課6係となる (2) 消防部管制室を指令課に、管制第1係、管制第2係をそれぞれ指令第1係、指令第2係に改称 消防課に調査係を新設し、救急課救急指導係を廃止した (3) 西宮消防署に専任救助隊を設置し、消防第1係、消防第2係をそれぞれ消防救助第1係、消防救助第2係に改称
	車両配置の再編	4月	北消防署にシュノーケル車を配置
	ホームページ開設	12月	消防局ホームページを開設した

平成14年	特殊災害用資機材の導入	12月	サーバイメーター及びポケット線量計を導入
	定数改正	4月	消防職員の定数を「359人」に改めた
	女性消防吏員採用	4月	女性消防吏員を初めて採用した
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた（防火装備品を更新）
平成15年	特殊災害用資機材の導入	9月	除染用資機材（除染テント・シャワー）を導入
	電子メール増設	12月	消防署所にEメールアドレスを取得した 平成16年度全所属に職員用パソコンの配置により廃止
	救助工作車Ⅲ型配置	12月	救助工作車Ⅲ型が完成、西宮消防署専任救助隊に配置
	M C 体制確立	3月	メディカルコントロール体制を確立した
	ネミス (NEMIS) ネット運用開始	4月	救急医療情報システムをウェブ化し、ネミス (NEMIS) ネットとして運用開始した（～平成28年3月）
平成16年	全所属に職員用パソコンを配置	6月	西宮市情報化推進計画により全所属に職員用パソコンを配置した
	家庭防火クラブに改称	8月	婦人防火クラブを家庭防火クラブに改称した
	新発信地表示システム運用開始	10月	新発信地表示システムを運用開始した
	殉職職員の西宮市消防葬	2月	平成15年12月、山口町の火災での殉職に伴う西宮市消防葬を挙行了した
	統合文書管理システム運用開始	4月	西宮市情報化推進計画により統合文書管理システムを運用開始した（平成28年12月から文書管理システムに移行）
平成17年	気管挿管認定救命士の資格取得	6月	救急救命士の処置拡大に伴い、気管挿管認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	指揮支援体制の運用	7月	現場活動における、安全管理の徹底を図るため、指揮支援体制の運用を開始した
	緊急消防援助隊出動	7月	福井豪雨災害（福井県美山町）へ緊急消防援助隊として出動した
	支援車配置	10月	西宮消防署に支援車（コンテナ積替装置〔水難救助・BC災害・空気充填機〕）を配置
	救急隊の増隊	4月	救急需要に対応するため、西宮消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した
	J R 福知山線列車事故に応援出動	4月	J R 福知山線列車事故へ兵庫県広域消防相互応援協定により出動した
	支援車配置	10月	北消防署に支援車（ボンベ収納庫、空気充填機、応援出動用資機材〔野営テント他〕）を配置
携帯電話からの119番直接受信開始	11月	代表消防本部経由から直接受信に移行した	
査察体制の強化	12月	西宮市消防特命査察隊の発足	

平成18年	全国共通波の整備	3月	消防局に全国共通波2・3及び北消防署、北消防署山口分署に全国共通波2を開設した
	薬剤投与認定救命士の資格取得	3月	救急救命士の処置拡大に伴い、薬剤投与認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	消防学校教官派遣	4月	兵庫県消防学校への教官派遣を開始した
	西宮市消防特命査察隊の運用開始	4月	防火対象物の安全確保と違反事案の是正、発生防止を図るため、西宮市消防特命査察隊の運用を開始した
	予防技術資格者の認定	6月	予防技術資格者制度に基づき、22人を消防長が認定した（以降、順次認定）
	AED貸出事業開始	6月	応急手当の普及啓発と安全を図るため、市民等が集まる催物の関係者に対し、AEDの貸出を開始した
平成19年	35mはしご車配置	10月	35m先端屈折式はしご付消防ポンプ自動車が完成、北消防署に配置し、市内4消防署全てに配置が完了した
	備品管理システム運用開始	1月	西宮市会計規則の改正により、備品管理システムを運用開始した
	全国共通波の整備	3月	北消防署及び北消防署山口分署に全国共通波3を開設した
	定数改正	4月	消防職員の定数を「426人」に改めた
	市長事務部局への出向	4月	市防災・安全局の設置に伴い、職員の出向派遣を開始した
	旅費管理システムの導入	4月	旅費管理システムを導入した
	AED設置事業	5月	市立学校関係にAED設置を行った
	救急波の更新整備	12月	消防局の無線基地局、救急波を更新整備した
平成20年	消防音楽隊20周年	3月	消防音楽隊20周年記念演奏会(中核市移行記念)を挙行了した
		4月	西宮市が中核市へ移行した
	地震警報器の導入	5月	地震警報器を導入し、消防課に配置
		7月	中核市移行に伴い、西宮消防署の専任救助隊を高度救助隊とした
	キャフス装置の導入	12月	西宮消防署の水槽付消防ポンプ自動車に、キャフス装置を導入（以降、水槽付消防ポンプ自動車・消防ポンプ自動車に順次整備）
	危険物同定装置の導入	12月	危険物同定装置を導入し、西宮消防署高度救助隊に配置
	大型化学車の配置	12月	大型化学消防ポンプ自動車Ⅲ型が完成、甲東分署に配置
平成21年	機構改革	4月	消防局長一次長一6課一17係とし、総務部と消防部の2部を廃止した (1) 総務課の整備センターを消防課に移し、企画課の給与事務を総務課に移し、新たに給与係を新設した (2) 消防課の消防係、救助係、調査係を廃止し、消防救助係とし、新たに消防課に指揮第1係、指揮第2係を新設した (3) 消防課に指揮第1係、指揮第2係の新設に伴い、本部指揮隊を配置した

	乗換運用の解消	4月	西宮消防署北夙川分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	自主防災組織の移管	4月	自主防災組織関連事務を消防局から防災・安全局に移管した
	阪神ブロック代表	4月	兵庫県下消防長会阪神ブロック代表消防本部となる
	新財務会計システム運用開始	4月	西宮市情報化推進計画により新財務会計システムを運用開始した
	救助教本の作成	5月	救助隊員の技術及び知識の平準化を図るため救助教本を作成した
	A E D 設置 施設 表示 制度	5月	A E D 設置している民間事業所に、そのA E D の一般使用について協力を依頼し、A E D 設置表示証の掲示及び西宮市ホームページへの掲載を行った
平成22年	ドライブレコーダーの導入	3月	交通事故対策装備として、ドライブレコーダーを導入した
	救急隊の増隊	4月	救急需要に対応するため、鳴尾消防署に救急隊1隊を増隊し、常時2隊の運用を開始した
	西宮消防署耐震化改修	9月	西宮消防署耐震化改修工事を完了した
平成23年	鳴尾消防署南棟竣工	2月	鳴尾消防署に訓練塔を併設した南棟を竣工した
	緊急消防援助隊出動	3月	東日本大震災への緊急消防援助隊として、3月11日から4月24日までの45日間にわたり、46隊154名（活動延人員290隊981名）を宮城県亘理郡山元町などに派遣した
	機 構 改 革	4月	消防局に総務部と警防部の2部を設けた (1) 総務部は総務課及び企画課の2課とした (2) 警防部は予防課、指令課、救急課及び従来の消防課を警防課に改称し4課とした (3) 警防課の消防係を警防係に改称し、救助係を新設した (4) 救急課に救急指導係を新設した (5) 西宮消防署の消防救助係を警防救助係に、各署所の消防係を警防係に改称した (6) 北消防署に北部指揮隊を配置した
	車 両 配 置 の 再 編	4月	(1) 北消防署に救助工作車を配置した (2) 瓦木消防署に化学消防ポンプ自動車を配置した (3) 瓦木消防署甲東分署に消防ポンプ自動車を配置した
	消 防 緊 急 情 報 シ ス テ ム 更 新	4月	平成9年度から運用してきた消防緊急情報システムを更新した (1) 現場映像情報伝送装置を導入 (2) 統合型位置情報通知システムを導入 (3) W e b 119受信装置を導入 (4) 指令室表示盤を大型液晶モニター(24面)に変更 (5) 市とのネットワーク接続によりリアルタイムに福祉情報等を取得 (6) 車両運用端末装置(A V M装置)をタッチパネル型に変更 (7) 消防O A支援情報システムをナイスネット端末に接続 (8) 消防O A支援情報システムに勤務手当管理システム及び勤務状況管理システムを導入

平成24年	山口分署車庫増築	8月	山口分署の倉庫敷地に車庫を増築した
	甲東分署耐震化改修	11月	瓦木消防署甲東分署耐震化改修工事を完了した
	鳴尾消防署耐震化改修	3月	鳴尾消防署耐震化改修工事を完了した
	機 構 改 革	4月	課長補佐級制度の廃止（役名は当分の間残置）及び三交替制勤務の試行的導入に伴い、係を改編した (1) 指令課に指令総括第1係、第2係を新設した (2) 三交替制勤務の試行的導入のため、警防課指揮第1係、指揮第2係を廃止し、指揮総括第1係、指揮総括第2係、指揮総括第3係、調査第1係、調査第2係、調査第3係を新設した (3) 消防署に警防総括第1係、警防総括第2係を新設した (4) 鳴尾消防署、瓦木消防署、北消防署の警防第1係を警防救助第1係に、警防第2係を警防救助第2係に改称した
	副士長制度の廃止	4月	職階制及び職責を明確にし、組織の活性化と職員の士気高揚を図るため、消防副士長制度を廃止した
	ビデオ喉頭鏡認定救命士の資格取得	7月	救急救命士の処置拡大に伴い、ビデオ喉頭鏡認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	活動支援車の配置	10月	警防課整備センターにウィング式トラック型の活動支援車を配置した
	特殊災害用資機材の導入	10月	東日本大震災を受け、表面汚染用放射線測定器を導入した
	救助工作車の配置	12月	瓦木消防署に救助工作車を配置し、市内4消防署全てに配置が完了した
	電磁波探査装置	12月	電磁波探査装置を導入し、瓦木消防署に配置した
平成25年	人員輸送車の配置	2月	総務省消防庁からの無償使用制度に基づき、西宮消防署西宮浜出張所に人員輸送車を配置した
	救急救命士養成所への教官派遣	4月	兵庫県救急救命士養成所教官への教官派遣を開始した（以降、ローテーションにより派遣）
	西宮浜出張所増改築	12月	西宮浜出張所の増改築工事を完了した
平成26年	人材育成基本方針策定	2月	西宮市消防職員人材育成基本方針を策定した
	管轄区域の変更	4月	西宮消防署、鳴尾消防署及び瓦木消防署の管轄区域を変更した
	西宮浜出張所を分署に昇格	4月	西宮消防署西宮浜出張所を分署に昇格し、管轄区域の変更に伴い、鳴尾消防署浜分署に改称した
	乗換運用の解消	4月	鳴尾消防署浜分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	機 構 改 革	4月	三交替制勤務の試行的導入を終了し、警防課指揮総括第3係、調査第3係を廃止した
	トレーナー制度の導入	6月	機関員育成のため、整備センターの再任用職員が各署機関員を指導するトレーナー制度を導入した

平成27年	消防救急無線のデジタル化	4月	消防救急無線のデジタル化工事を完了、本運用を開始した
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた
	拡大二行為認定救命士の資格取得	8月	救急救命士の処置拡大に伴い、拡大二行為認定救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	危険物行政の強化	8月	引火点試験器を更新し、予防課に配置（3ヵ年計画） [タグ密閉式・セタ密閉式・クリーブランド密閉式]
平成28年	指導的立場の救命士	2月	指導的立場の救命士制度を導入した
	違反対象物公表制度開始	4月	重大な消防法令違反がある建物情報をホームページなどで公表する違反対象物公表制度を開始した
	西宮市消防職員人事評価制度開始	4月	西宮市消防職員人事評価制度を開始した
	火災調査体制の強化	4月	任命調査員制度を導入した
	緊急消防援助隊出動	4月	熊本地震への緊急消防援助隊として、4月16日から4月22日の間、11隊39人を熊本県阿蘇郡南阿蘇村等に派遣した
	定数改正	12月	消防職員の定数を「522人」に改めた
平成29年	スモールタンク車配置	3月	瓦木消防署甲東分署にスモールタンク車を配置した
	指導救命士の資格取得	3月	指導救命士の資格を西宮市で初めて取得した
	警防活動教本の作成	9月	警防活動能力の向上を図るため警防活動教本を作成した
平成30年	西宮消防70周年記念フレーム切手の作成	1月	西宮消防70周年を記念し、郵便局と共同で西宮市消防70周年記念フレーム切手を作成した
	甲東分署新庁舎竣工	2月	西宮市上ヶ原一番町1番64号に瓦木消防署甲東分署新庁舎竣工、業務開始（平成27年2月に用地取得）
	消防音楽隊30周年	2月	消防音楽隊30周年記念演奏会（自治体消防制度70周年）を挙行了した
	消防研究センター派遣	4月	総務省消防庁消防大学校消防研究センターへ職員を派遣した（2年間）
	予防技術資格者区分の変更	5月	予防技術資格者区分をエキスパートとスペシャリストの2区分に変更した
	緊急消防援助隊出動	7月	平成30年7月豪雨への緊急消防援助隊として、7月12日から7月20日の間、4隊12人を広島県広島市安芸区上瀬野町に派遣した
	消防訓練施設の竣工	11月	西宮市甲子園浜2丁目10番地に西宮市消防訓練施設を竣工、運用開始
令和元年	機構改革	4月	<p>参事及び高度救助隊を担当する係長を配置した</p> <p>(1) 西宮消防署及び鳴尾消防署の交替制勤務に課長級職員の参事を配置し、組織図上の表記を参事（警防第1担当）又は参事（警防第2担当）とした</p> <p>(2) 西宮消防署に高度救助隊を担当する係長を配置した</p> <p>(3) 課長補佐の役名を廃止した</p>

令和2年	乗換運用の解消	4月	瓦木消防署甲東分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	服制改正	4月	消防職員の服制を改めた（防火装備品と救急防護服を更新）
	災害医療センター職員派遣	4月	兵庫県災害医療センターへ職員を派遣した
	山口分署改修工事	3月	北消防署山口分署の事務室及び駐車場敷地改修工事を完了した
	指導救命士制度導入	3月	指導的立場の救急救命士として指導救命士制度を導入した
	機構改革	4月	西宮消防署及び鳴尾消防署の交替制勤務に配置している参事に担当課長の役名を付し、また、北消防署の交替制勤務に担当課長を新たに配置し、組織図上の表記を担当課長（警防第1）又は担当課長（警防第2）とした
	乗換運用の解消	4月	北消防署山口分署のポンプ車と救急車の乗換運用を解消した
	消防大学校派遣	4月	総務省消防庁消防大学校へ教官を派遣した

所 属 別 情 勢

(令和2年4月1日現在)

管内情勢		全 市		
面 積	100.18 km ²	局78人(うち女性2人)を含む 局19台を含む		
人 口	483,744 人			
消 防 吏 員 1 人 当 り	1,070 人			
世 帯 数	222,844 世帯			
消 防 吏 員 1 人 当 り	493 世帯			
防 火 対 象 物 数	12,020 対象			
消 防 水 利 数	6,084 個			
消 防 吏 員 数	452 人			
保 有 車 両 数	77 台			
危 険 物 施 設 数	283 施設			
管内情勢		西宮消防署 (総括)	西宮消防署	北夙川分署
面 積	23.68 km ²	7.24 km ²	16.44 km ²	
人 口	164,922 人	101,106 人	63,816 人	
消 防 吏 員 1 人 当 り	1,571 人	1,532 人	1,636 人	
世 帯 数	78,359 世帯	50,612 世帯	27,747 世帯	
消 防 吏 員 1 人 当 り	746 世帯	767 世帯	711 世帯	
防 火 対 象 物 数	4,559 対象	3,285 対象	1,274 対象	
消 防 水 利 数	2,066 個	1,222 個	844 個	
消 防 吏 員 数	105 人 (うち女性1人)	66 人 (うち女性1人)	39 人	
消 防 車 両 数	15 台	10 台	5 台	
危 険 物 施 設 数	53 施設	45 施設	8 施設	
管内情勢		鳴尾消防署 (総括)	鳴尾消防署	浜分署
面 積	14.10 km ²	9.32 km ²	4.78 km ²	
人 口	136,955 人	99,404 人	37,551 人	
消 防 吏 員 1 人 当 り	1,574 人	1,685 人	1,341 人	
世 帯 数	64,729 世帯	48,140 世帯	16,589 世帯	
消 防 吏 員 1 人 当 り	744 世帯	816 世帯	592 世帯	
防 火 対 象 物 数	3,156 対象	2,254 対象	902 対象	
消 防 水 利 数	1,648 個	1,117 個	531 個	
消 防 吏 員 数	87 人 (うち女性2人)	59 人 (うち女性2人)	28 人	
消 防 車 両 数	15 台	9 台	6 台	
危 険 物 施 設 数	136 施設	63 施設	73 施設	
管内情勢		瓦木消防署 (総括)	瓦木消防署	甲東分署
面 積	13.97 km ²	7.28 km ²	6.69 km ²	
人 口	138,463 人	89,695 人	48,768 人	
消 防 吏 員 1 人 当 り	1,573 人	1,794 人	1,283 人	
世 帯 数	60,809 世帯	39,822 世帯	20,987 世帯	
消 防 吏 員 1 人 当 り	691 世帯	796 世帯	552 世帯	
防 火 対 象 物 数	3,390 対象	2,388 対象	1,002 対象	
消 防 水 利 数	1,516 個	895 個	621 個	
消 防 吏 員 数	88 人 (うち女性2人)	50 人 (うち女性2人)	38 人	
消 防 車 両 数	14 台	9 台	5 台	
危 険 物 施 設 数	33 施設	19 施設	14 施設	
管内情勢		北消防署 (総括)	北消防署	山口分署
面 積	48.43 km ²	24.64 km ²	23.79 km ²	
人 口	43,404 人	26,853 人	16,551 人	
消 防 吏 員 1 人 当 り	462 人	480 人	436 人	
世 帯 数	18,947 世帯	11,167 世帯	7,780 世帯	
消 防 吏 員 1 人 当 り	202 世帯	199 世帯	205 世帯	
防 火 対 象 物 数	915 対象	306 対象	609 対象	
消 防 水 利 数	854 個	471 個	383 個	
消 防 吏 員 数	94 人 (うち女性1人)	56 人 (うち女性1人)	38 人	
消 防 車 両 数	14 台	9 台	5 台	
危 険 物 施 設 数	61 施設	22 施設	39 施設	

※ 人口、世帯数は住民基本台帳登録数

※ 消防吏員は、再任用、兵庫県消防学校（教官・初任教育・救急救命士）、兵庫県災害医療センター派遣、市出向は含まない。

令和元年度重点目標

第5次西宮市総合計画の初年度である令和元年度は、第4次西宮市総合計画で推進してきた取組みを継続しつつ、新たな時代に即した体制を構築する。

近年、高齢社会の進展、災害の多種多様化、台風や集中豪雨、地震などの大規模自然災害の発生に伴い消防需要が増加し、さらに、今後南海トラフ地震の発生やテロ災害等も懸念されるため、消防力を強化し各種災害に対し万全を期す。

消防体制の強化として、乗換運用の解消や増隊に向けて、職員定数の充足に取り組むとともに、西宮市消防職員人材育成基本方針に基づき人材育成を引続き推進する。併せて、不祥事の根絶に向けて服務規律の確保を徹底する。また、消防訓練施設を最大限に活用し、指揮命令システムを更に確立させるとともに、部隊行動を徹底し、災害対応能力を強化する。

火災予防では、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の促進等、広報活動を推進するとともに、類似火災を防ぐため、火災調査体制の充実を図る。また、火災や重大事故を未然に防止するため、計画的に予防査察を実施し、是正指導を徹底する。

救急活動においては、年々増加する救急件数に対して、安定的かつ持続的に救急業務を実施するため、救急隊員の知識及び技術を向上させ、救急業務の高度化を図る。併せて、救命効果を高めるため、応急手当の普及啓発を推進する。

市民の生命、身体及び財産を守るという責務のもと、市民に信頼される消防行政を推進するため、重点目標を次のように定める。

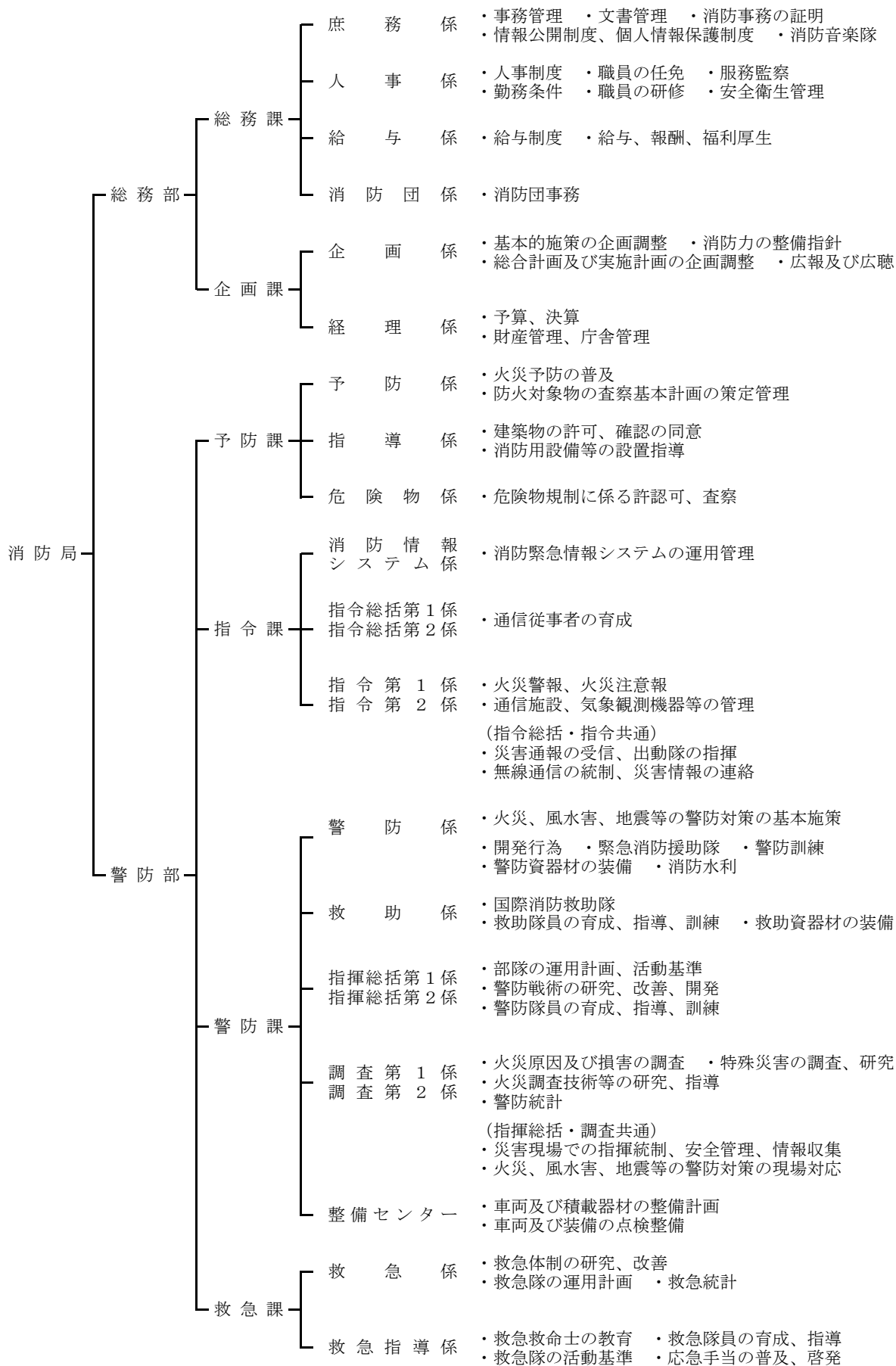
(重点目標)

消防体制の強化	1 人材育成の推進 2 服務規律の確保 3 災害対応能力の強化
火災予防の推進	1 火災予防広報の推進 2 火災調査体制の充実 3 予防査察体制の強化
救急活動の充実	1 救急教育体制の充実 2 救急業務の高度化 3 応急手当の普及促進

消防局の組織及び事務分掌

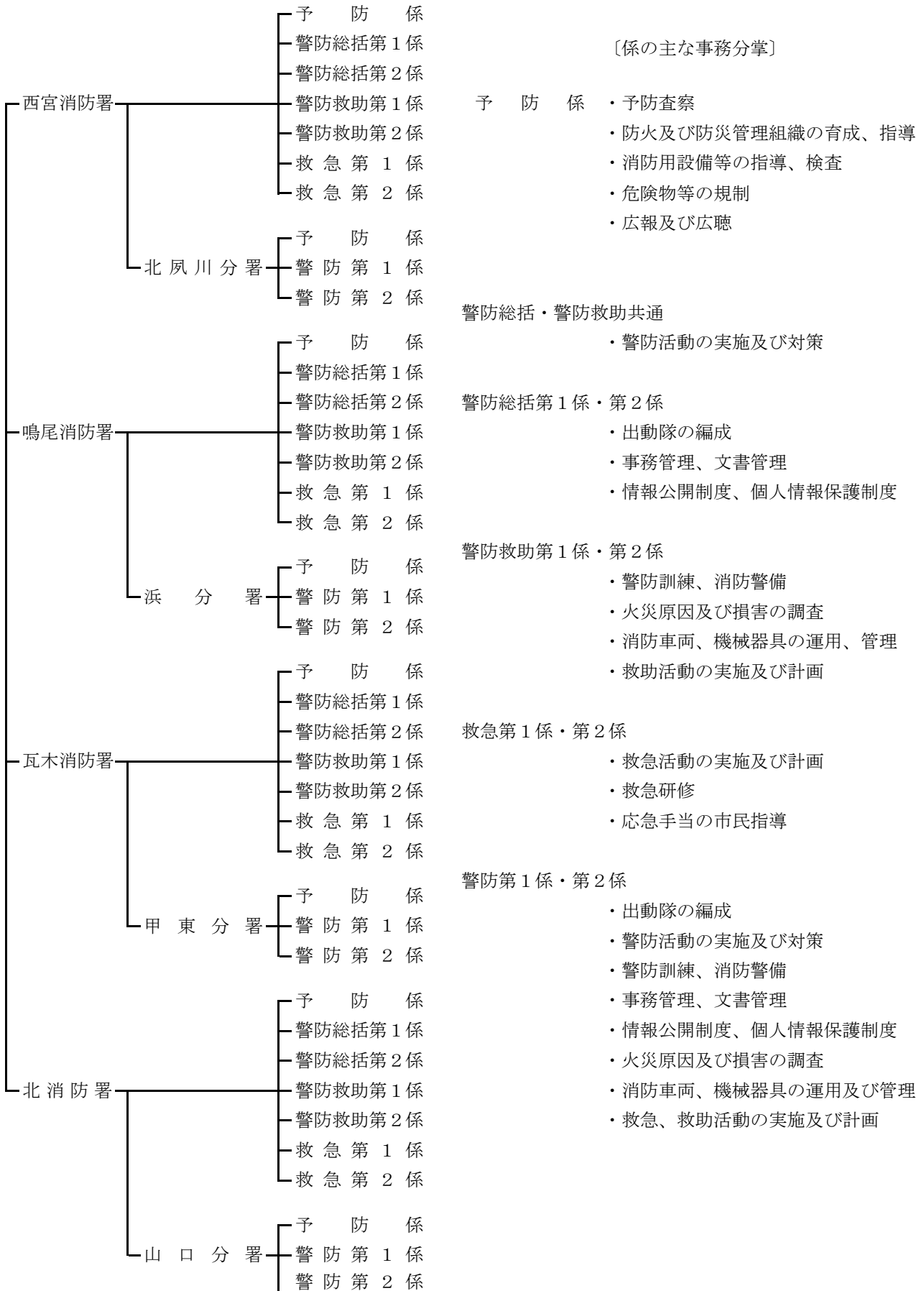
(令和2年4月1日現在)

[係の主な事務分掌]



消防署の組織及び事務分掌

(令和2年4月1日現在)



職 員 配 置 状 況

(令和2年4月1日現在)

所 属 区 分	消 防 局								西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署		
	局 長	総 務 部			警 防 部				本 署	北 夙 川 分 署	本 署	浜 分 署	本 署	甲 東 分 署	本 署	山 口 分 署	
		部 長	総 務 課	企 画 課	予 防 課	指 令 課	警 防 課	救 急 課									
配 置 人 員 (うち女性)	1	1	12	7	1	7	23 (1)	21	5 (1)	66 (1)	39	59 (2)	28	50 (2)	38	56 (1)	38
小 計 (うち女性)	1	20			57 (2)				105 (1)	87 (2)	88 (2)	94 (1)					
計 (うち女性)	452 (8) (派遣職員25名(1)を除く)																

年 度 別 職 員 数 状 況

(令和2年4月1日現在)

年 度 区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	職 員 数	441	446	439	443	434	441	449	463
採 用	24	30	16	17	14	18	23	18	19
退 職	25	23	13	23	11	15	4	5	

※職員数は職員の出向による増減を含む

職 員 年 齢 状 況

(令和2年4月1日現在)

年 齢	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳以上
人 数	4	55	75	119	80	47	45	30	22

※ 職員平均 36歳5月

職 員 勤 続 年 数 状 況

(令和2年4月1日現在)

年 数	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年～39年	40年以上
人 数	92	98	115	47	32	40	33	16	4

※ 職員平均 14年7月

消防庁舎の概要

(令和2年4月1日 現在)

庁舎名	所在地	建築年月	経過	構造	敷地面積	延面積
消防局	西宮市池田町 13番3号	1996.3 (平成8.3)	24年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 6階建	2,513.71㎡	2,373.78㎡ (応急診療所除く)
消防局 整備センター	西宮市西宮浜3丁目 5番地	1987.3 (昭和62.3)	33年1ヶ月	鉄骨造 折版葺 平屋建	946.00㎡	272.53㎡
西宮市消防 訓練施設	西宮市甲子園浜2丁目 10番地	2018.11 (平成30.11)	1年5ヶ月	鉄筋コンクリート造 A棟(7階建) B棟(2階建) C棟(2階建)	8,814.89㎡	963.81㎡ A棟(571.81㎡) B棟(296.00㎡) C棟(96.00㎡)
西宮消防署	西宮市津門大塚町 1番38号	1966.1 (昭和41.1)	54年3ヶ月	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階建	1,450.30㎡	1,814.84㎡
西宮消防署 北夙川分署	西宮市松風町 4番4号	1984.3 (昭和59.3)	36年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 2階建	807.89㎡	567.96㎡
鳴尾消防署	西宮市古川町 2番12号	1980.3 (昭和55.3)	40年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 2階建	1,292.81㎡	809.36㎡
		2011.2 (平成23.2)	9年2ヶ月	鉄筋コンクリート造 3階建		348.81㎡
鳴尾消防署 浜分署	西宮市西宮浜3丁目 5番地	1999.10 (平成11.10)	20年6ヶ月	鉄骨造 3階建	1,054.06㎡	990.87㎡
瓦木消防署	西宮市高木東町 15番11号	1988.9 (昭和63.9)	31年7ヶ月	鉄筋コンクリート造 3階建	1,601.01㎡	2,152.73㎡ のうち 1,280.96㎡
瓦木消防署 甲東分署	西宮市上ヶ原一番町 1番64号	2018.1 (平成30.1)	2年3ヶ月	鉄骨造 3階建	1,076.53㎡ (倉庫敷地除く)	1,237.71㎡
北消防署	西宮市名塩新町 7番地1	1991.3 (平成3.3)	29年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 5階建	1,959.38㎡	2,011.47㎡
北消防署 山口分署	西宮市山口町下山口4丁目 1番20号	1985.3 (昭和60.3)	35年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 2階建	670.24㎡ (倉庫敷地除く)	477.82㎡
消防待機宿舎	西宮市津門大塚町 1番38号	1968.3 (昭和43.3)	52年1ヶ月	鉄筋コンクリート造 5階建	535.94㎡	1,094.54㎡ のうち5階 部分198.59㎡

消防自動車等保有状況

(令和2年4月1日現在)

車種別 所属別		合 計	ポ	タ	は	化	救	活	救	司	指	指	査	人	防	連	可 搬 式 動 力 ポ ン プ
			ン プ 車	ン ク 車	し ご 車	学 車	助 工 作 車	動 支 援 車	急 車	令 車	揮 車	揮 広 報 車	察 広 報 車	員 搬 送 車	火 指 導 車	絡 車	
計		77	9	9	4	2	4	16	13	1	2	3	8	2	1	3	23
消防局	消防局	10						4		1	1			1	1	2	3
	整備センター	9	(2)	(1)		(1)		1	(3)							1	2
西宮	本署	10	1	1	1		1	2	2			1	1				2
	北夙川	5	1	1				1	1				1				2
鳴尾	本署	9	1	1	1		1	1	2			1	1				2
	浜	6		1				2	1				1	1			1
瓦木	本署	9	1	1	1	1	1	1	1			1	1				2
	甲東	5	1	1				1	1				1				3
北	本署	9	1	1	1		1	2	1		1		1				3
	山口	5	1	1				1	1				1				3

() は非常用車両

消防情勢の推移

(令和2年4月1日現在)

区 分 年	人 口	世 帯 数	面 積 (km ²)	消 防 職 員 数 (消 防 条 例 定 員 数)	消 防 車 両 数	火 災 件 数	損 害 額 (千円)	救 急 出 動 件 数	救 助 出 動 件 数
平成18年 (2006年)	463,844	198,996	100.18	359	69	128	92,128	18,461	216
平成19年 (2007年)	468,831	202,500	100.18	426	70	158	79,116	18,964	217
平成20年 (2008年)	472,679	205,565	100.18	426	70	116	62,755	17,853	233
平成21年 (2009年)	474,779	207,768	100.18	426	70	135	117,695	18,065	213
平成22年 (2010年)	477,270	209,876	100.18	426	71	157	99,921	19,713	301
平成23年 (2011年)	478,538	211,317	100.18	426	72	144	150,134	20,689	282
平成24年 (2012年)	479,014	212,781	100.18	426	74	113	77,330	21,037	328
平成25年 (2013年)	480,672	213,228	100.18	426	75	112	91,106	22,131	348
平成26年 (2014年)	482,301	214,887	100.18	426	75	117	178,809	22,416	326
平成27年 (2015年)	483,132	216,003	100.18	426	75	110	57,718	22,373	416
平成28年 (2016年)	484,560	217,815	100.18	426	76	86	262,394	22,850	436
平成29年 (2017年)	485,025	219,305	100.18	522	76	96	34,569	23,059	452
平成30年 (2018年)	484,152	220,123	100.18	522	76	97	146,023	24,723	460
令和元年 (2019年)	483,713	221,382	100.18	522	76	85	33,560	25,091	436
令和2年 (2020年)	483,744	222,844	100.18	522	77	—	—	—	—

※ 人口、世帯数は住民基本台帳登録数

※ 災害件数は暦年で計上

家庭防火クラブ・自主防災組織等結成状況

(令和2年4月1日現在)

署別	区分	家庭防火クラブ		幼年消防クラブ		少年消防クラブ		自主防災組織
		クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	クラブ数 (クラブ)	クラブ員数 (名)	組織数 (防災会)
西宮消防署	小計	5	86	4	198			52
	本署	4	67	2	96			29
	北夙川	1	19	2	102			23
鳴尾消防署	小計	2	21	4	351	1	34	29
	本署	2	21	4	351	1	34	13
	浜							16
瓦木消防署	小計	2	33	3	204			73
	本署	1	15	2	180			31
	甲東	1	18	1	24			42
北消防署	小計	3	65	3	183			71
	本署	2	51	1	96			58
	山口	1	14	2	87			13
合計		12	205	14	936	1	34	225

消防協力隊結成状況

(令和2年4月1日現在)

No.	事業所名	隊員数(名)
1	伊藤ハム株式会社 西宮工場	10
2	新明和工業株式会社	10
3	JFEアドバンテック株式会社	10
4	JFEスチール株式会社東日本製鉄所 西宮工場	100
5	日本盛株式会社	10
6	株式会社指月電機製作所	34
7	極東開発工業株式会社	42
8	大関株式会社	120
9	阪急電鉄株式会社 西宮車庫	60
10	辰馬本家酒造株式会社	6
11	ダイハツ工業株式会社 西宮部品センター	230
12	日立物流コラボネクスト株式会社 近畿商品センター	10
13	医療法人 明和病院	10
14	鳴尾浜連絡会	300
15	株式会社甲子園オートセンター	10
16	阪急バス株式会社 山口営業所	10
17	読売ゴルフ株式会社	23
18	西宮浜産業団地協議会	741
19	一般社団法人 西宮市医師会	10
20	阪急バス株式会社 西宮営業所	5
21	学校法人 関西学院	100
22	阪神流通センター協同組合連合会	97
23	医療法人財団 樹徳会 上ヶ原病院	10
24	株式会社 戸崎組	10
25	第一建設機工株式会社	6
26	徳山土木株式会社	10
合計	26団体 (事業所)	1,984

消 防 水 利 の 状 況

(令和2年4月1日現在)

種 別			区 分	平成 30年度末	令和元年度			所 属 別			
					増	減	計	西宮	鳴尾	瓦木	北
消 火 栓	公 設	150mm未満		1,935	4	1	1,938	744	432	458	304
		150mm以上		1,914	4	4	1,914	658	492	511	253
	私 設			173			173	13	83	71	6
	工 水			95			95	26	69		
小 計				4,117	8	5	4,120	1,441	1,076	1,040	563
防 火 水 槽	公 設	40m ³ 未満		59	1		60	18	11	13	18
		40m ³ 以上		390	1	3	388	98	81	74	135
		60m ³ 以上		6	2		8	2	1	4	1
		100m ³ 以上		46			46	16	13	8	9
	私 設	40m ³ 未満		29		1	28	12	4	7	5
		40m ³ 以上		854	7	3	858	284	270	233	71
		60m ³ 以上		68	5	1	72	26	27	14	5
		100m ³ 以上		75			75	15	40	15	5
小 計				1,527	16	8	1,535	471	447	368	249
消 防 用 水	40m ³ 未満			1		1		1			
	40m ³ 以上			17		17	2	9		6	
	60m ³ 以上			19		18	6	11	1		
	100m ³ 以上			28		28	3	9	14	2	
井 戸	公 設			15		4	11	6	5		
	私 設			11			11	3	8		
貯 水 槽	公 設										
	私 設			119	1		120	61	23	28	8
そ の 他 の 水 利	受 水 槽			25			25	13	5	4	3
	河 川			88	1		89	31	12	35	11
	海 水			8			8		8		
	池			17			17	6	5	2	4
	プ ー ル			83			83	23	28	24	8
	マンホール			1			1		1		
	溝 水										
合 計				6,076	26	18	6,084	2,066	1,648	1,516	854

開 発 行 為 に 伴 う 消 防 水 利 事 務 処 理 状 況

開発件数	41	水利あり	水利なし	開発事前協議	136					
		11	30							
消 防 水 利										
区 分	消 火 栓	防 火 水 槽			貯 水 槽		そ の 他 の 消 防 水 利			
		100 m ³ 以 上	60 m ³ 以 上	40 m ³ 以 上	地 中 梁	蓄 熱 槽	消 防 用 水	プ 採 水 ル 口	池	そ の 他
小計	5		6	9	1					
合計										21

消防相互応援協定締結状況

(令和2年4月1日現在)

名称	締結都市等	応援区域	締結年月日
7市1町消防相互応援に関する覚書	尼崎市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町、三田市	各市町全域	平成13年3月1日
兵庫県道高速北神戸線上の消防相互応援に関する覚書	宝塚市	阪神高速道路北神戸線の西宮市にかかると区域	平成15年4月21日
兵庫県道高速大阪西宮線及び高速神戸西宮線(3号神戸線)上並びに兵庫県道高速湾岸線(5号湾岸線)上の消防相互応援に関する覚書	尼崎市	阪神高速道路の西宮市及び尼崎市にかかると区域	平成6年3月15日
	芦屋市	阪神高速道路の西宮市及び芦屋市にかかると区域	平成6年3月25日
名神高速道路内の尼崎・豊中・西宮各インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定書(同覚書)	尼崎市・豊中市	西宮IC、豊中IC間の名神高速道路上	昭和39年8月31日(協定) 昭和39年9月5日(覚書)
神戸市・西宮市消防相互応援協定(同覚書)	神戸市	西宮市、神戸市域	平成19年1月18日(協定) 平成19年1月18日(覚書)
中国道のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定(同覚書)	川西市、伊丹市、宝塚市、三田市、神戸市、三木市、北はりま、姫路市、西はりま	中国道のうち兵庫県の区域	平成27年9月26日(協定) 平成29年2月6日(覚書)
大阪国際空港周辺都市航空機災害消防相互応援協定(同覚書)	大阪市、堺市、豊中市、東大阪市、池田市、吹田市、八尾市、松原市、柏原羽曳野藤井寺消防組合、高石市、尼崎市、伊丹市、宝塚市、川西市	各市全域	平成26年1月31日(協定) 平成26年1月31日(覚書)
兵庫県広域消防相互応援協定(同覚書)	阪神地域、神戸地域、東播地域、西播地域、但馬地域の各市町長等	兵庫県下	平成25年10月23日(協定) 平成31年3月26日(覚書)
山陽自動車道消防相互応援協定(同覚書)	三田市、神戸市、三木市、小野市、加古川市、姫路市、西はりま、赤穂市、東備消防組合	神戸JCTから備前ICまでの区間(三木JCTから神戸西ICまでの区間及び播磨自動車道を含む)	平成30年4月1日(協定) 平成29年2月6日(覚書)
近畿自動車道名古屋神戸線(新名神高速道路)のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定(同覚書)	川西市、猪名川町、宝塚市、三田市、神戸市	近畿自動車道名古屋神戸線のうち兵庫県の区域	平成30年3月18日(協定) 平成30年3月18日(覚書)

庁舎配置及び管轄区域



北消防署山口分署



北消防署



瓦木消防署甲東分署



瓦木消防署



西宮消防署北夙川分署



西宮消防署



西宮市消防局



鳴尾消防署



消防局整備センター



鳴尾消防署浜分署



西宮市消防訓練施設

総

務



令和2年西宮市消防出初式

総務の概要

1 予算執行

消防局車両等整備事業として、耐用年数が経過した災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、高規格救急自動車1台及び特殊災害対応支援車1台等を更新し、資機材では、特殊災害用資機材一式を整備し、消防力の充実強化を図った。

消防庁舎等整備事業では、西宮消防署の建替に伴う設計業務を実施するとともに、北消防署山口分署の増員に伴う改修工事を完了させた。

消防団車両等整備事業として、耐用年数が経過した消防ポンプ自動車2台及び司令車1台を更新し、消防団車庫整備事業では、用海分団及び生瀬分団の車庫建替工事を実施するとともに、旧門戸分団の車庫の解体工事を完了させ、消防団の体制整備に努めた。

2 研修

複雑多様化する災害に即応するなど、安心して暮らせるまちづくりの実現を目指していくためには、各種業務の最新の専門知識や高度な技術の習得が不可欠であることから、消防大学校、兵庫県消防学校及び消防局各課が計画する研修等へ積極的に消防職員を派遣するとともに、消防業務に必要な資格取得の講習会等にも派遣し、潜水士等の資格を取得させた。また、4名を救急救命士養成課程、1名を指導救命士養成研修に派遣するとともに、21名に拡大二行為認定救急救命士の資格を取得させ、救急体制の充実に努めた。加えて、市研修厚生課主管の研修等へも多数の消防職員を派遣するとともに、西宮市消防職員人材育成基本方針を基に策定した令和元年度西宮市消防職員訓練、研修計画に沿って、教養研修等の職場研修も積極的に行い、職員個々の能力開発に努めた。更に、指導力向上研修を新たに行い、中堅職員の指導力、育成力向上にも努めた。

3 事務管理

西宮市消防文書取扱規程に基づき、文書の適正管理に努めるとともに、情報公開に際しては、関係条例等を適正に運用しながら、消防行政の公正な運営の確保に努めた。

また、職員用ノートパソコン等のOA機器の適正配置や文書管理システムを活用した文書事務の効率化を図るなど、事務の円滑化及び電子化を推進した。

4 消防音楽隊

消防音楽隊の演奏を通じて消防広報を行い、市民の防火意識の更なる高揚を図るとともに、市民の消防業務に対する理解を深めることにより、市民にとって住みよい安全なまちづくりを推進した。

消 防 予 算

(当初予算 単位：千円)

年度	令和2年度	令和元年度	増 減
消防費	6,601,294	5,725,540	875,754
区 分			
消 防 費	5,169,912	4,935,484	234,428
職 員 の 給 与 費	4,486,689	4,288,054	198,635
消 防 職 員 研 修 事 務 経 費	25,553	24,547	1,006
消 防 庁 舎 維 持 管 理 事 業 経 費	121,707	120,563	1,144
通 信 指 令 業 務 経 費	227,684	242,403	△ 14,719
消 防 局 車 両 運 用 事 務 経 費	75,710	41,307	34,403
消 防 活 動 業 務 経 費	54,370	54,375	△ 5
救 助 活 動 業 務 経 費	16,851	9,055	7,796
消 防 水 利 維 持 管 理 事 業 経 費	60,459	54,680	5,779
消 防 音 楽 隊 運 営 事 業 経 費	1,137	1,897	△ 760
予 防 活 動 推 進 事 業 経 費	1,904	2,112	△ 208
救 急 活 動 業 務 経 費	28,149	28,070	79
一 般 事 務 経 費	69,699	68,421	1,278
消 防 団 費	143,416	139,560	3,856
消 防 団 運 営 事 業 経 費	135,461	130,594	4,867
消 防 団 設 備 維 持 管 理 事 業 経 費	7,955	8,966	△ 1,011
消 防 施 設 整 備 費	1,221,142	583,658	637,484
消 防 団 車 両 等 整 備 事 業 費	20,275	43,872	△ 23,597
消 防 団 車 庫 整 備 事 業 費	162,360	134,379	27,981
消 防 庁 舎 等 整 備 事 業 費	579,842	142,952	436,890
消 防 局 車 両 等 整 備 事 業 費	361,790	188,155	173,635
消 防 水 利 等 整 備 事 業 費	90,000	74,300	15,700
通 信 施 設 等 整 備 事 業 費	6,875	0	6,875
水 防 費	66,824	66,838	△ 14
水 防 対 策 事 業 経 費	28,824	28,838	△ 14
水 防 作 業 従 事 手 当 経 費	38,000	38,000	0

一 般 会 計 予 算 と 消 防 予 算 の 推 移

区 分 年度別		市一般会計	消防費	比 率
		(千 円)	(千 円)	(%)
平成23年度	当 初 予 算	174,070,674	5,573,122	3.20
	決 算	168,705,404	5,558,958	3.30
平成24年度	当 初 予 算	159,721,161	5,306,979	3.32
	決 算	157,631,649	5,304,986	3.37
平成25年度	当 初 予 算	160,941,007	5,741,263	3.57
	決 算	161,004,830	5,596,433	3.48
平成26年度	当 初 予 算	167,840,289	6,320,155	3.77
	決 算	167,558,215	5,655,973	3.38
平成27年度	当 初 予 算	174,942,563	5,079,023	2.90
	決 算	170,715,254	5,014,876	2.94
平成28年度	当 初 予 算	174,685,506	5,401,281	3.09
	決 算	166,852,021	5,169,953	3.10
平成29年度	当 初 予 算	176,623,116	6,320,530	3.58
	決 算	169,364,942	6,190,503	3.66
平成30年度	当 初 予 算	178,056,028	6,002,811	3.37
	決 算	172,675,344	6,003,544	3.48
令和元年度	当 初 予 算	184,073,481	5,725,540	3.11
	決 算	(未決算)	(未決算)	(未決算)
令和2年度	当 初 予 算	193,080,562	6,601,294	3.42
	決 算	—	—	—

消 防 予 算 市 民 負 担 の 推 移

(各年度4月1日現在)

区 分 年度別		消防予算 (千 円)	人 口 (人)	世 帯 数 (世 帯)	負 担	
					市民1人当り (円)	1世帯当り (円)
平成23年度	5,573,122	478,538	211,317	11,646	26,373	
平成24年度	5,306,979	479,014	212,781	11,079	24,941	
平成25年度	5,741,263	480,672	213,228	11,944	26,925	
平成26年度	6,320,155	482,301	214,887	13,104	29,412	
平成27年度	5,079,023	483,132	216,003	10,513	23,514	
平成28年度	5,401,281	484,560	217,815	11,147	24,798	
平成29年度	6,320,530	485,025	219,305	13,031	28,821	
平成30年度	6,002,811	484,152	220,123	12,399	27,270	
令和元年度	5,725,540	483,713	221,382	11,837	25,863	
令和2年度	6,601,294	483,744	222,844	13,646	29,623	

職 員 研 修 状 況

(派遣研修) その1

(令和元年度中)

階 級		合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
研 修 名								
消 防 大 学 校	総 合 教 育	上 級 幹 部 科	1	1				
	総 合 教 育	幹 部 科	1		1			
	専 科 教 育	新 任 教 官 科	1		1			
	そ の 他	女 性 活 躍 推 進 コ ー ス	1			1		
県 消 防 学 校	初 任	教 育	18				18	
	専 科 教 育	救 助 科	3				3	
		救 急 科	15					15
		特 殊 災 害 科	3			3		
		予 防 査 察 科	3			1	2	
		火 災 調 査 科	2			2		
	幹 部 教 育	初 級 幹 部 科	3				3	
	特 別 教 育	災 害 現 場 指 揮 科	3		3			
		通 信 担 当 者 研 修	1				1	
	そ の 他	惨 事 ス ト レ ス 研 修	2		2			
		山 岳 用 救 助 器 具 取 扱 技 術 研 修	2					2
		実 火 災 体 験 型 訓 練	18		1	5	7	5
	救 急 救 命 士 養 成 課 程		4				2	2
	指 導 救 命 士 養 成 研 修		1		1			
救 急 救 命 士 追 加 講 習		21		2	4	7	8	
全 消 長 会	消 防 長 研 修 会		1	1				
	総 務 関 係 及 び 消 防 財 政 実 務 研 修		1		1			
消 防 職 員 安 全 衛 生 管 理 研 修 会		2	2					
消 防 職 員 の た め の 惨 事 ス ト レ ス の 理 解 と 予 防 (ス テ ッ プ ア ッ プ 版) 研 修		2		2				
第 1 種 衛 生 管 理 者 講 習 会		3	1	2				
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者 技 能 講 習		3			1	1	1	
玉 掛 け 技 能 講 習		3			2		1	
小 型 移 動 式 ク レ ー ン 運 転 技 能 講 習		3				1	2	
2 級 小 型 船 舶 操 縦 士 免 許 試 験 受 験 準 備 講 習 会		2				2		
大 型 自 動 車 第 一 種 免 許 取 得 の た め の 教 習 所		3					3	
中 型 自 動 車 第 一 種 免 許 の た め の 教 習 所		3					3	
3 級 自 動 車 シ ャ シ 整 備 士 免 講 習 会		1				1		
ハ ラ ス メ ン ト 等 相 談 窓 口 相 談 員 向 け 研 修 会		1		1				
有 機 溶 剤 作 業 主 任 者 技 術 講 習		1			1			
伐 木 等 従 事 者 特 別 教 育		2			1	1		
ア ー ク 溶 接 特 別 教 育		1			1			
5 t 未 満 ク レ ー ン 運 転 特 別 教 育		1				1		
危 険 物 事 故 防 止 講 習 会		1			1			
危 険 物 保 安 技 術 講 習 会		2		1	1			
危 険 物 施 設 安 全 推 進 講 演 会		2			2			
「 建 築 物 の 防 火 避 難 規 定 の 解 説 2016 」 フ ォ ロ ー ア ッ プ セ ミ ナ ー		1		1				
県 下 防 火 対 象 物 関 係 違 反 是 正 事 例 研 究 会		2			2			
県 下 危 険 物 関 係 違 反 是 正 事 例 研 究 会		6			6			
違 反 是 正 事 例 発 表 会		5		1	3		1	
日 本 火 災 学 会 研 究 発 表 会		1			1			
地 下 タ ン ク 等 定 期 点 検 技 術 者 講 習 ・ 初 回 講 習		2		1	1			
令 和 元 年 度 安 全 講 演 会		2		1	1			
企 業 防 災 対 策 指 導 研 修		3			3			
危 険 物 等 事 故 防 止 プ ロ ッ ク 連 絡 会 議		1			1			
令 和 元 年 度 予 防 技 術 講 習 会		9			1	6	2	

職 員 研 修 状 況

(派遣研修) その1

(令和元年度中)

階 級	合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
研 修 名							
令和元年度消防用設備等講演会	9			2	4	3	
令和元年度違反是正推進部会阪神ブロック部会	5			1	3	1	
令和元年度消防用設備等セミナー	1			1			
火災科学セミナー	10		2	1	4	3	
ハロン消火剤と予防行政に関する研修会2019	4		1	2	1		
パッケージ型自動消火設備消火実験	17		1	1	2	13	
安全研修会	3			3			
兵庫県フェニックス防災システム研修	3			2	1		
大阪市消防局指令情報センター実務研修	2			1	1		
第3回通信指令シンポジウム	2		1	1			
調査技術会議	14			8	4	2	
レスキュー3ジャパン・スィフトウォーターレスキューコース	2				2		
安全運転管理者等講習	11	9	2				
整備主任者研修	4		2	1			1
消防・救急緊急自動車ドライバー安全運転研修	2					2	
火災調査担当者会議	1		1				
高速自動車道消防協議会研修会	2	2					
令和元年度阪神高速道路消防協議会研修会	1				1		
山陽自動車道研修会	4			3	1		
第58回火災科学セミナー	1		1				
国際消防救助隊セミナー	1		1				
航空機連携講習会	2		2				
令和元年度兵庫県下消防長会火災調査研究会	20		3	5	5	7	
令和元年度大阪市火災調査事例発表会	1			1			
令和元年度第13回京都府火災調査業務研究会	1			1			
大阪府下消防長会予防委員会予防事務担当者会議「第2回火災調査事例発表会」	1		1				
第67回全国消防技術者会議	1		1				
日本臨床救急医学会	1		1				
近畿救急医学研究会救急隊員部会	17		3	4	4	6	
阪神・丹波地域メディカルコントロール協議会救急隊員研修会	41		5	10	14	11	1
西宮市医師会ICLSコース	2					2	
兵庫JPTECプロバイダーコース	1				1		
救急特別研修会	4		4				
阪神地区消防長会救急隊員研修会	346		23	69	97	140	17
全国救急隊員シンポジウム	1				1		
日本災害医学会	58		17	20	16	3	2
感染症対応訓練	8		2	4	2		
感染防止対策全国ブロック研修会	1		1				
合 計	778	16	97	186	202	256	21

(職場研修)

(令和元年度中)

階 級 研 修 名		実 施 回 数	受 講 者	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員
総務課	条件付採用時研修	1	18					18	
	新任課長特別研修	1	4	4					
	採用後定時研修(3年目)	2	18					18	
	採用後定時研修(5年目)	2	16					16	
	職務研修	2	47			10	15	22	
	平成31年度採用者に対する特別研修	1	18					18	
	再任用予定者研修	1	1			1			
	昇任予定者研修	3	25			6	7	12	
	指導力向上研修	1	30			14	16		
平成31年度採用者(救急救命士資格取得者)の救急研修	1	3					3		
企画課	財務会計システム取扱研修	2	15			7	8		
予防課	予防実務研修	1	15				15		
	火災予防行政執行能力向上研修	2	97	1	10	16	23	47	
指令課	予防事務調査研究会	4	47				29	18	
	通信研修(情報セキュリティ)	2	24		5	9	8	2	
	新規指令課異動者研修	1	7		2	1	4		
	マニュアル指令訓練	4	42		8	16	14	4	
	分散受信訓練	2	20		4	7	7	2	
	非常招集伝達訓練	4	174	18	52	60	36	6	2
	口頭指導に係る救急研修(口頭指導シミュレーション含む)	81	22		4	8	8	2	
口頭指導研修(外部講師による研修)	2	22		4	8	8	2		
警防課	小隊長研修	1	16			16			
	潜水士資格取得者実技研修	5	12					12	
	局内潜水訓練	7	7				2	5	
	救助活動研修(エレベーター)	1	16			1	3	12	
	救助活動研修(水難)	1	8				3	5	
	救助活動研修(震災対応)	1	19			1	8	10	
	整備研修	14	16				1	15	
	安全運転講習会	2	139			29	48	62	
	C A F S 取扱研修	2	32			1	16	15	
	新規救助隊長研修	1	7				7		
	任命調査員研修	5	64			4	27	33	
	火災調査研修	1	49	3	7	3	11	25	
	模擬家屋発掘研修	1	20			4	9	7	
	開発指導及び検査研修	2	37			5	12	20	
	警防活動研修	4	223			23	50	150	
特殊災害訓練	1	38		6	6	11	15		
火災対応救助研修	2	32			4	12	16		
救急課	救急救命士就業前研修	1	5				2	3	
	救急救命士定期研修	1	71		8	19	29	15	
	救急救命士事前研修	1	4				2	2	
	集合型救急研修	2	79		7	20	34	18	
	救急隊員現場実習研修	21	66		9	19	16	22	
新規救急小隊長研修	1	4				4			
合 計		198	1,629	26	126	318	505	652	2

消防吏員階級別資格取得状況

(令和2年4月1日現在)

階 級			合 計	消 防 司 令 長 以 上	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	
種 別									
消 防 吏 員 数			477	27	66	89	116	179	
予 防	消 防 設 備 士	甲 種	48	5	8	15	12	8	
		乙 種	108	13	19	18	36	22	
	点 検 資 格 者	1 種	1					1	
	危 険 物 取 扱 者	甲 種	8			3	3	2	
		乙 種	412	17	45	100	122	128	
		丙 種	48	18	14	3	10	3	
	予 防 技 術 資 格 者	防 火 査 察 専 門 員		71	3	10	19	25	14
		消 防 用 設 備 等 専 門 員		47	3	9	14	15	6
		危 険 物 専 門 員		52	3	12	15	14	8
通 信	第 2 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士		458	27	66	89	116	160	
技 術	自 動 車 運 転 免 許	大 型	1 種	223	14	51	60	65	33
			2 種	1			1		
		普 通 (中 型 ・ 準 中 型 含 む)	1 種	254	13	16	30	66	129
			2 種	20	4	5	7	2	2
	自 動 車 整 備 士	2 級		8		3	3	2	
		3 級		31	4	9	5	12	1
救 急	救 急 隊 員		458	27	66	89	116	160	
	救 急 救 命 士		115	10	18	27	35	25	
	気 管 挿 管 認 定 救 急 救 命 士		57	4	12	23	18		
	薬 剤 投 与 認 定 救 急 救 命 士		95	4	12	27	34	18	
	拡 大 二 行 為 救 急 救 命 士		84		9	26	32	17	
	ビ デ オ 硬 性 挿 管 認 定 救 急 救 命 士		50	1	11	23	15		
	指 導 救 命 士		5		5				
救 助	救 助 隊 員		182		2	52	52	78	
	小 型 移 動 式 ク レ ーン 修 了 者		122	12	22	35	42	11	
	潜 水 士		214	18	44	54	51	47	
	酸 欠 講 習 修 了 者		78	2	19	23	23	11	
	ガ ス 溶 接 技 能 講 習 修 了 者		72	13	24	19	15	1	
	玉 掛 技 能 講 習 修 了 者		116	9	17	34	42	14	
	一 般 毒 物 劇 物 取 扱 者		4		1	2	1		
	小 型 船 舶 操 縦 士	2 級 (旧 4 級) 以 上	92	9	30	25	19	9	
そ の 他	第 1 種 衛 生 管 理 者		42	23	15	1	3		
	特 定 化 学 物 質 等 講 習 修 了 者		15	4	8	2		1	
	有 機 溶 剤 作 業 主 任 者		10		1	5	4		

公務災害等発生状況

(令和元年度中)

区分 勤務態様別		発生 件数	被災 者数	階 級 別					傷 病 程 度 別									
									通 院			入 院				死 亡		
				消防 監 以上	消防 司令 長	消防 司令	消防 司令 補	消防 士 長	消防 士	その他 職員	一 週 間 未 満	一 週 間 ～ 一 カ 月	一 カ 月 ～ 三 カ 月	三 カ 月 以 上	一 週 間 未 満		一 週 間 ～ 一 カ 月	一 カ 月 ～ 三 カ 月
公 務 災 害	火 災	1	1					1					1					
	救 急																	
	救 助																	
	その他 災 害	1	1		1									1				
	水 防 災 害																	
	訓 練 中	2	2							2				1	1			
一般業務中	3	3					1	2					1	1	1			
通 勤 災 害		2	2			1	1						1	1				
合 計		9	9		1	1	1	2	4				1	5	3			

消防表彰等の状況

(令和元年度中)

種 別		個 人	団 体	
職 員	市 長 表 彰	市 長 副 賞	1	
	消 防 庁 長 官 表 彰	永 年 勤 続 功 労 章	3	
		G20大阪サミット消防特別警戒に係る表彰		1
	兵 庫 県 知 事 表 彰	功 労 章	4	
		永 年 勤 続 功 労 章	7	
		救急医療・救急業務功労者表彰	1	
	全 国 消 防 長 会 会 長 表 彰	永 年 勤 続 功 労 者	14	
	全 国 消 防 協 会 会 長 表 彰	全 国 優 良 消 防 職 員	1	
	市 医 師 会 会 長 感 謝 状	救 急 業 務 功 績	1	
	市 長 表 彰	永 年 勤 続 職 員	6	
	局 長 ・ 部 長 ・ 署 長 表 彰	勤 務 成 績 優 秀 表 彰	33	
		優 秀 機 関 員 表 彰	49	
		消 防 業 績 表 彰	3	1
		善 行 表 彰	1	
市 民	消 防 局 長 表 彰	人 命 救 助 表 彰	7	3
		消 防 業 務 協 力	3	9
	消 防 署 長 表 彰	人 命 救 助 表 彰	3	
		消 火 協 力 表 彰	2	

消防音楽隊の状況

(令和2年4月1日現在)

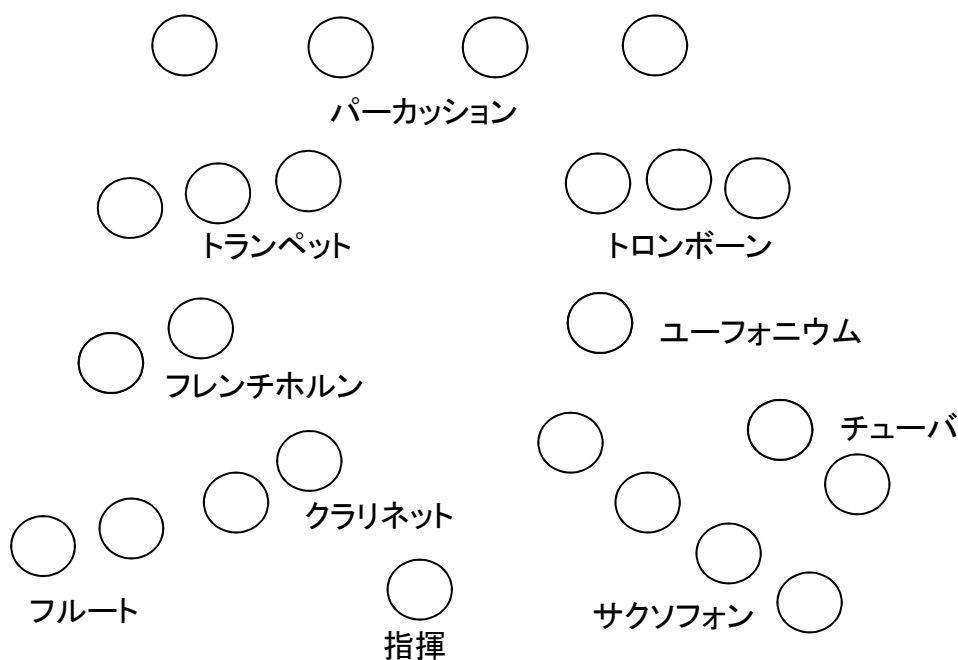
1 階級別音楽隊員状況

階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	合計
人員	1	6	9	7	2	25

2 楽器保有状況

楽器名	数量	楽器名	数量
ピッコロ	1	スーザフォン	2
フルート	3	クォード	1
クラリネット	6	バスドラム	1
アルトサクソフォン	2	コンサートバスドラム	1
テナーサクソフォン	2	マーチングスネアドラム	1
バリトンサクソフォン	1	マーチングバスドラム	1
トランペット	5	シンバル	3
フレンチホルン	2	ドラムセット	1
テナートロンボーン	3	グロッケン	1
バストロンボーン	1	キーボード	1
ユーフォニウム	1	シンセサイザー	1
チューバ	3	コンガ	2
チャイム	1	シロホン	1
ハーモニーディレクター	1	ティンパニ	5
ドラ	1		

3 消防音楽隊配置



4 出演状況

(令和元年度中)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	0	4	0	1	0	2	2	2	1	4	1	0	17

広報及び広聴



令和2年西宮市消防出初式

広報及び広聴の概要

1 広報

安心して暮らせるまちづくりの実現を目指し、消防行政の実態を市民に正しく伝え理解と協力を得るため、市政ニュース、さくらFM放送、新聞その他広報媒体を活用した消防広報の推進に努めるとともに、ウェブアクセシビリティに準拠したホームページを用いて、より多くの市民に新鮮で豊富な情報を発信した。併せて、フェイスブック・ツイッター・YouTube等のSNSでも消防広報を実施した。

また、消防広報の効果をより高めるため、各種行事開催時に消防音楽隊が出演し広報活動を実施した。

2 広聴

広聴については、市民からの要望・意見等を迅速かつ的確に処理し、消防への信頼確保に努めた。

広聴件数は、前年より12件減少し71件処理した。内訳は、総務7件、企画1件、予防14件、指令1件、警防43件、救急5件となっている。

広報活動状況

(令和元年度中)

種 別	回数	参集人員	消防職員	実施時間
巡 回 マ イ ク	400	0	1,361	437時間15分
消 防 教 室	389	46,135	1,278	388時間16分
幼年消防クラブ活動	43	7,940	190	58時間05分
少年消防クラブ活動	6	210	20	9時間15分
家庭防火クラブ活動	25	341	70	46時間30分
自主防災組織	177	5,049	653	168時間10分
合 計	1,040	59,675	3,572	1107時間31分

資料配布及び刊行物発行

(令和元年度中)

項目	部数	対象
ポスター	1,671	防火対象物
防災冊子等	251	一般市民・家庭防火クラブ・自主防災組織

広聴事務処理状況

(令和元年度中)

区分		年間(件)
事務 分 掌 分 類	総務	7
	企画	1
	予防	14
	指令	1
	警防	43
	救急	5
合計		71

消防情報の提供(報道機関等)

(令和元年度中)

情報提供先	区分	合計	予防	警防	救急	その他
新聞等 (新聞・テレビ・ラジオ)		68	14	20	15	19
市広報紙等 (市政・庁内ニュース)		132	38	24	41	29
ホームページ		176	57	49	20	50
合計		376	109	93	76	98

予 防 行 政



予防査察練成会

予 防 行 政 の 概 要

1 住宅用火災警報器の設置促進

住宅用火災警報器について、未設置住宅や条例の設置基準に適合していない住宅に対して、設置の徹底を働きかけ、また、既に設置されている住宅については、作動確認や電池切れ住宅用火災警報器の交換等、適切な維持管理を呼びかけた。

また、火災発生時に人命危険が高い高齢者等に対して、重点的に住宅防災診断を行い、住宅防火に関する知識の普及を図った。

2 予防広報の推進

市内で発生した火災原因の調査結果について警防課と情報共有し、放火火災、製品火災、その他火災発生の上位を占める原因や特に注意喚起すべき情報について、市政ニュース、ホームページなどの広報媒体を活用し、類似火災発生の未然防止を図った。

また、住宅用火災警報器の奏功事例、住宅用消火器等の住宅用防災機器に関する情報等、火災から身を守るための情報を併せて発信することで、防火意識の高揚を図った。

3 予防査察体制の充実強化

屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備が未設置である重大な消防法違反がある防火対象物をはじめ、5年を超えて消防用設備等点検結果報告がなされていない防火対象物や防火管理者未選任の特定防火対象物に対して優先的かつ計画的に査察を行い、消防用設備等の設置・維持管理及び防火管理体制の確立を徹底させた。

また、公表制度に基づき、重大な消防法違反のある防火対象物に関する情報提供を行い、利用者の安全を確保した。

危険物施設については、施設の位置、構造及び設備並びに危険物の貯蔵又は取扱いが法令に定められた基準に適合しているか着目して査察を行った。

重大な消防法違反、危険性や悪質性の高い消防法違反のある防火対象物に対しては、機を逸することなく、早期の是正を図った。

防火対象物現況表

(令和2年4月1日現在)

防火対象物現況表 用途別			合計 (棟数)	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
				本署	北夙川分署	本署	浜分署	本署	甲東分署	本署	山口分署
合計			12,020	3,285	1,274	2,254	902	2,388	1,002	306	609
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	6		1	4		1			
	ロ	公会堂・集会場	8	6							2
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	14	10				1	3		
	ハ	性風俗関連特殊営業店等									
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	5	2				1	1		1
3項	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店	125	53	8	8	11	23	3	2	17
4項		百貨店・市場・マーケット等	239	62	23	44	19	56	12	3	20
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	27	5	1	6	1		8	3	3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,353	1,584	774	1,192	284	1,523	669	164	163
6項	イ	病院・診療所・助産所	133	39	15	37	4	21	7	4	6
	ロ	老人短期入居施設等	125	25	7	18	14	23	9	9	20
	ハ	老人デイサービスセンター等	178	52	20	31	13	33	9	6	14
	ニ	幼稚園・特別支援学校	79	17	11	11	4	23	9	2	2
7項		小・中・高・大・各種学校	447	48	48	128	26	77	101	12	7
8項		図書館・美術館等	18	2	2	1	7		5	1	
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの									
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	5	4		1					
10項		車両の停車場、船舶の発着場	12	6		3		2		1	
11項		神社・寺院・教会等	148	55	15	14	9	24	15	5	11
12項	イ	工場・作業場	384	94	8	87	110	30		9	46
13項	イ	自動車車庫・駐車場	251	60	8	71	57	22	1	12	20
14項		倉庫	462	67	3	84	115	24	3	7	159
15項		前各項に該当しない事業所	932	296	54	149	137	135	36	49	76
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	1,192	428	197	220	36	216	60	12	23
	ロ	イ以外の複合用途対象物	861	367	79	145	55	152	40	5	18
17項		重要文化財等	14	1				1	11		1
18項		50 m以上のアーケード	2	2							

防火管理者選任及び消防計画届出現況表

(令和2年4月1日現在)

用途別		区分	法8条該当対象物			防火管理者選任対象物数			消防計画届出対象物数		
			合計	甲種対象物	乙種対象物	合計	甲種対象物	乙種対象物	合計	甲種対象物	乙種対象物
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	3	3		3	3		3	3	
	ロ	公会堂・集会場	5	5		5	5		5	5	
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	12	8	4	12	8	4	12	8	4
	ハ	性風俗関連特殊営業店等									
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	5	5		5	5		5	5	
3項	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店	118	70	48	109	68	41	108	67	41
4項		百貨店・市場・マーケット等	174	127	47	160	124	36	159	123	36
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	19	19		18	18		17	17	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,319	1,319		1,261	1,261		1,253	1,253	
6項	イ	病院・診療所・助産所	59	58	1	56	55	1	56	55	1
	ロ	老人短期入居施設等	104	102	2	100	98	2	100	98	2
	ハ	老人デイサービスセンター等	109	97	12	107	95	12	107	95	12
	ニ	幼稚園・特別支援学校	45	42	3	45	42	3	45	42	3
7項		小・中・高・大・各種学校	116	112	4	114	110	4	113	109	4
8項		図書館・美術館等	9	7	2	9	7	2	9	7	2
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの									
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	5	3	2	4	3	1	4	3	1
10項		車両の停車場、船舶の発着場	2	2		2	2		2	2	
11項		神社・寺院・教会等	70	53	17	64	48	16	63	48	15
12項	イ	工場・作業場	56	56		56	56		54	54	
13項	イ	自動車車庫・駐車場									
14項		倉庫	28	28		27	27		27	27	
15項		前各項に該当しない事業所	260	223	37	251	219	32	247	216	31
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	850	769	81	736	675	61	713	654	59
	ロ	イ以外の複合用途対象物	201	186	15	179	167	12	178	166	12
17項		重要文化財等									
合計			3,569	3,294	275	3,323	3,096	227	3,280	3,057	223

防火対象物査察・検査実施状況

(令和元年度中)

用途別		区分	査察状況		消防用設備検査	
			防火対象物 (棟数)	査察実施対象物 (棟数)	検査届出対象物 (棟数)	検査実施対象物 (棟数)
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	6	34	10	2
	ロ	公会堂・集会場	8	15	5	3
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等				
	ロ	遊技場・ダンスホール	13	5	2	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店等				
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	5	2		
3項	イ	待合・料理店等				
	ロ	飲食店	112	58	6	5
4項		百貨店・市場・マーケット等	237	123	18	12
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	21	28	6	4
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	6,341	1,504	222	160
6項	イ	病院・診療所・助産所	131	84	17	19
	ロ	老人短期入居施設等	117	157	23	38
	ハ	老人デイサービスセンター等	161	151	22	20
	ニ	幼稚園・特別支援学校	79	34	3	2
7項		小・中・高・大・各種学校	448	174	60	27
8項		図書館・美術館等	18	13	3	
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの				
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	5			
10項		車両の停車場、船舶の発着場	12	9	3	2
11項		神社・寺院・教会等	145	68	2	3
12項	イ	工場・作業場	384	132	25	10
13項	イ	自動車車庫・駐車場	242	78	14	11
14項		倉庫	458	172	31	18
15項		前各項に該当しない事業所	907	374	93	59
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	1,188	688	179	122
	ロ	イ以外の複合用途対象物	860	196	47	38
17項		重要文化財等	14	5		
18項		50 m以上のアーケード	2			
合計			11,914	4,104	791	556

用途別中高層（5階以上）防火対象物状況

(令和2年4月1日現在)

用途別		区分	合計 (棟)	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17~31	10階 以下 で31 m以上 のもの
				階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階	階
1項	イ	劇場・映画館・観覧場等	2	1													1
	ロ	公会堂・集会場	2	1	1												
2項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等															
	ロ	遊技場・ダンスホール	1														1
	ハ	性風俗関連特殊営業店等															
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	2		2												
3項	イ	待合・料理店等															
	ロ	飲食店	9	6	1		1	1									
4項		百貨店・市場・マーケット等	2	2													
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	7		1	1	2	1					1				1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,733	706	369	258	83	48	66	59	23	20	47	31	3	7	13
6項	イ	病院・診療所・助産所	21	8	8	1					1	1					2
	ロ	老人短期入居施設等	22	12	7	1							1				1
	ハ	老人デイサービスセンター等	4	3	1												
	ニ	幼稚園・特別支援学校															
7項		小・中・高・大・各種学校	51	33	9	2					1	1					5
8項		図書館・美術館等															
9項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場、その他これらに類するもの															
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場															
10項		車両の停車場、船舶の発着場															
11項		神社・寺院・教会等	5	2	2												1
12項	イ	工場・作業場	25	15	6												4
13項	イ	自動車車庫・駐車場	9	1		1	1										6
14項		倉庫	17	9	2	3											3
15項		前各項に該当しない事業所	70	43	14	5	1										7
16項	イ	複合用途のうち、特定の用途に供する部分を有するもの	268	142	59	27	13	4	4	1	1	3	3			8	3
	ロ	イ以外の複合用途対象物	231	109	53	29	10	9	4	5	4		2	1		2	3
17項		重要文化財等															
18項		50 m以上のアーケード															
合計(棟)			2,481	1,093	535	328	111	63	74	65	30	25	54	32	3	17	51

防火管理に関する講習の実施状況

(令和元年度中)

講習区分	講習回数	受講者数
甲種防火管理新規講習	8	377
甲種防火管理再講習	1	15
防火防災管理新規講習	1	48
防火防災管理再講習	1	34

建築物確認申請等処理状況

(令和元年度中)

合計	新築	増築	改築	修繕	模様替	用途変更	その他
413	335	5				1	72

12条報告・仮使用承認等処理状況

(令和元年度中)

処理別	所属別	合計	消防局	西宮消防署	鳴尾消防署	瓦木消防署	北消防署
12条報告等協議		36	36				
仮使用承認の協議		4		2	2		

危険物製造所等設置許可数

(令和2年4月1日現在)

合 計		286	構成比(100%)
製 造 所		4	1.4%
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	56	19.6%
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	5	1.7%
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	12	4.2%
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	74	26.0%
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	10	3.5%
	屋 外 貯 蔵 所	3	1.0%
取 扱 所	給 油 取 扱 所	85	29.7%
	第 1 種 販 売 取 扱 所		
	第 2 種 販 売 取 扱 所	2	0.7%
	移 送 取 扱 所		
	一 般 取 扱 所	35	12.2%

危険物製造所等類別設置許可数

(令和2年4月1日現在)

種 別		合 計	第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類	混 在
合 計		286	1			283			2
製 造 所		4				4			
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	56	1			53			2
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	5				5			
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	12				12			
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	74				74			
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所								
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	10				10			
	屋 外 貯 蔵 所	3				3			
取 扱 所	給 油 取 扱 所	85				85			
	第 1 種 販 売 取 扱 所								
	第 2 種 販 売 取 扱 所	2				2			
	移 送 取 扱 所								
	一 般 取 扱 所	35				35			

所属別危険物施設等現況及び査察状況

(令和元年度中)

施設 区分		政 令 危 険 物														少 量 危 険 物	指 定 可 燃 物		
		合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所							
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	移 送	一 般				
合 計		283	4	56	5	12	72	0	10	3	84	0	2	0	35	515	148		
所 属 別 施 設	西 宮	本 署	45		6	3	2	13		3		10		2		6	132	26	
		北夙川分署	8		1		1	1				4				1	17	1	
	鳴 尾	本 署	63	2	11		2	23				13				12	108	52	
		浜分署	73	2	20		4	11		2	2	20				12	90	28	
	瓦 木	本 署	19		7			5				6				1	42	2	
		甲東分署	14		3	1	3	4				2				1	16		
	北	本 署	22		2	1		3		5	1	8				2	34		
		山口分署	39		6			12				21					76	39	
査 察 状 況	査 察 実 施 数		227	3	39	6	6	38		8	4	92		2		29	134	32	
	消 防 局 (予防課)		53							8		45							
	西 宮	本 署	29		3	4		15				1		2		4	14	1	
		北夙川分署	4		1		1	1								1	2		
	鳴 尾	本 署	40	1	7		2	8				14				8	22	4	
		浜分署	37	2	14		1	1			3	5				11	40	4	
	瓦 木	本 署	11		4			2				5					5	2	
		甲東分署	7			1	2	1								3	8		
	北	本 署	11		3	1		2			1	2				2	13		
		山口分署	35		7			8				20					30	21	

液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況

(令和元年度中)

合 計	水 張 検 査				
	小 計	10kℓ以下	10 k ℓを超え 1,000 k ℓ以下	1,000 k ℓを超え 2,000 k ℓ以下	2,000 k ℓを超えるもの
	0				

0	水 圧 検 査				
	小 計	600ℓ以下	600ℓを超え 10 k ℓ以下	10 k ℓを超え 20 k ℓ以下	20 k ℓを超えるもの
	0				

危険物仮貯蔵・仮取扱承認状況

(令和元年度中)

合 計	仮 貯 蔵	仮 取 扱
37	1	36

少量危険物・指定可燃物・液化石油ガス等届出施設状況

(令和2年4月1日現在)

区 分	市条例関係					消防法第9条の3関係		
	少量危険物	指定可燃物	放 射 性 等 物 質	火 薬 類	高圧ガス (法9条の 3を除く)	圧 縮 アセチレン	液 化 石 油 ガ ス	毒 劇 物 質
施 設 数	515	148	15	5	50	24	251	12

住宅防災診断実施状況

(令和元年度中)

住宅防災診断実施数			合計
			2,511
訪問診断	実施数		留守宅数
	1,088		
			訪問診断小計
			2,511
自己診断	火災編	地震編	日常事故編
			自己診断小計

住宅防災診断指導件数

(令和元年度中)

内 容	指導件数
市火災予防条例で、台所・寝室・階段に住宅用火災警報器の設置が義務となっています。火災から命を守るため、設置してください。	385
住宅用火災警報器はきちんと作動するものに取り替えておきましょう。	191
コンセント火災の原因となります。コンセントにホコリがたまらないよう、まめに掃除しましょう。	123
火災の原因となることがあります。壊れかけている電気コードやガスホースは取り替えておきましょう。	26
暖房器具を使用していない時はスイッチを消しましょう。	28
火災の原因となることがあります。ストーブの上に洗濯物を干さないようにしましょう。	29
放火の要因となることがあります。家の周りにダンボールなどの燃えやすいものは置かないようにしましょう。	24
放火の要因となることがあります。ゴミは収集日の朝に出すようにしましょう。	15
避難の障害、放火の要因となることがあります。階段や廊下に荷物は置かないようにしましょう。	31
避難の障害となってしまいます。避難バルコニーのパーテーション付近には荷物を置かないようにしましょう。	6
消火器は必ず設置しておきましょう。	508
消火器の使い方を覚えておきましょう。	197
寝タバコをすると火事が起こりやすいのでやめましょう。	30
子供が遊びで使わないよう、マッチ・ライターは、子供の目や手の届かないところに保管しておきましょう。	16
火災の危険があります。料理で油を使用するときは、その場から離れないようにしましょう。	30
地震の揺れにより家具類が転倒・落下し怪我をしたり逃げ道をふさがれたりします。ぜひ対策しておきましょう。	179
いざという時のために非常持ち出し袋を用意しておきましょう。	258
避難生活や断水に備えて水を3日分は準備しておきましょう。	207
特に津波が発生した場合は避難が重要となります。地域の指定避難場所や津波避難ビルの場所を確認しておきましょう。	93
学校や勤務先などで被災した場合、誰がどこに避難するのかどのように連絡を取り合うのかなどを話し合っておくことで、安否確認がスムーズにできます。	142

火 災 統 計



建物火災

火災の概要

1 概況

令和元年中の火災は、85件で前年97件と比べ12件減少している。これは、過去10年間で最も少ない発生件数となっている。火災種別毎では、建物火災が55件（前年57件）、車両火災が9件（前年17件）、その他火災が21件（前年22件）となっている。

焼損棟数は58棟（前年58棟）、り災世帯数は40世帯（前年58世帯）、り災人員は96人（前年110人）、焼損面積は289㎡（前年382㎡）、火災損害額は3,356万円（前年1億4,602万3千円）となっている。火災損害額を1件当たりに換算すると39万5千円（前年150万5千円）となっている。

2 出火状況等

(1) 出火状況

令和元年中の火災は、4.3日に1件の割合で発生している。（前年3.8日に1件）人口1万人当りの出火件数は、1.7件（前年2.0件）である。

(2) 火災種別毎の出火件数

建物火災は、55件（65%）で最も多く、その他火災が21件（25%）、車両火災が9件（10%）の順となっている。

(3) 月別の出火件数

月別の出火件数は、4月が12件と最も多く発生し、続いて6月の10件、1月、2月、12月の8件となっている。出火件数の少ない月は、7月の3件となっている。

(4) 曜日別の出火件数

曜日別の出火件数は、日曜日が15件と最も多く、続いて月曜日、水曜日が14件の順となっている。出火件数の少ない曜日は、火曜日、木曜日、金曜日の10件となっている。

(5) 時間別の出火件数

時間別の出火件数は、18時台が9件と最も多く、続いて19時台が8件となっている。1時台、3時台、4時台、12時台は、火災が発生していない。

(6) 消防署別の出火件数

消防署別の出火件数は、西宮消防署が30件、鳴尾消防署が26件、瓦木消防署が20件、北消防署が9件となっている。

3 死者

火災による死者は、4人（前年0人）である。

死者の年齢は、65歳以上の方が2名で全体の50%を占めている。

死者が生じた内訳は、救助活動中、逃げ遅れが1人、その他が2人となっている。

4 負傷者

火災による負傷者は、8人で前年17人より9人減少している。

負傷者の年齢は、65歳以上の方が5名で全体の63%を占めている。

負傷者が生じた内訳は、消火中が4人、避難中が2人、作業中、その他が1人となっている。

負傷程度は、中等症5人、軽症3人となっている。

5 焼損棟数

焼損棟数は、58棟で前年58棟と同数である。

内訳は、全焼1件（前年1件）、半焼2件（前年0件）、部分焼15件（前年18件）、ぼや40件（前年39件）となっている。

6 リ災世帯・リ災人員

リ災世帯は40世帯で、前年58世帯と比べ18世帯減少し、リ災人員は96人で、前年110人と比べ14人減少している。

内訳は、全損3世帯4人、半損2世帯9人、小損35世帯83人となっている。

7 焼損面積

建物焼損面積は、289㎡で、前年382㎡と比べ93㎡減少している。

8 出火原因

出火原因は、「こんろ」が19件で最も多く、続いて、「放火（放火の疑い含む）」12件、「たばこ」10件の順となっている。

（1）第1位「こんろ」

こんろによる出火件数は19件で、焼損面積が48㎡（前年69㎡）、焼損表面積が90㎡（前年149㎡）、損害額が779万3千円（前年1,086万1千円）となっている。

燃料別に見ると、ガスこんろ等のガスを燃料とする機器が13件（前年15件）で、大半を占めている。

経過別に見ると、「放置する、忘れる」が10件（前年6件）と最も多く、こんろを火にかけてたが消し忘れたことによるものである。

（2）第2位「放火（放火の疑い含む）」

放火による出火件数は12件で前年11件と比べ1件増加している。内訳は、火災種別で見ると、建物火災が4件（前年7件）、その他火災が8件（前年4件）となっている。

（3）第3位「たばこ」

たばこによる出火件数は10件で、焼損面積が37㎡（前年9㎡）、焼損表面積が45㎡（前年0㎡）、損害額が374万4千円（前年11万4千円）となっている。

経過別に見ると、「不適當なところに捨てる」が5件（前年6件）で最も多く、続いて「残り火の処置が不十分」が4件（前年1件）の順となっており、主にたばこの不始末が原因となっている。

9 放火の曜日別及び時間別出火状況

曜日別は、月曜日の5件が最も多い。また、時間別では、19時台が最も多くなっている。

10 損害額

損害総額は、3,356万円で、前年1億4,602万3千円と比べ1億1,246万3千円減少している。また、建物損害額は、損害総額の80%に当たる2,668万8千円で、前年8,806万8千円と比べ6,138万円減少している。

火災の状況

(△印は減少)

区 分		単位	令和元年 A	平成30年 B	対前年増減数 A - B = C	増減率 C / B × 100 (%)	
出 火 件 数		件	85	97	△ 12	△ 12.4	
火災種別	建 物 火 災	件	55	57	△ 2	△ 3.5	
	林 野 火 災						
	車 両 火 災		9	17	△ 8	△ 47.1	
	船 舶 火 災			1	△ 1	△ 100.0	
	航 空 機 火 災						
	そ の 他 火 災		21	22	△ 1	△ 4.5	
焼損棟数	合 計	棟	58	58			
	全 焼		1	1			
	半 焼		2		2	200.0	
	部 分 焼		15	18	△ 3	△ 16.7	
	ぼ ぼ		40	39	1	2.6	
り災世帯	合 計	世帯	40	58	△ 18	△ 31.0	
	全 損		3	4	△ 1	△ 25.0	
	半 損		2	3	△ 1	△ 33.3	
	小 損		35	51	△ 16	△ 31.4	
り 災 人 員		人	96	110	△ 14	△ 12.7	
焼損面積	建 物	㎡	289	382	△ 93	△ 24.3	
	1 件 当 り		5.3	6.7	△ 1.4		
	林 野	a					
1 件 当 り							
損 害 額	総 額	千円	33,560	146,023	△ 112,463	△ 77.0	
	火災 1 件 当 り		395	1,505	△ 1,110		
	市民 1 人 当 り		円	69	299	△ 230	
	建 物	千円	26,688	88,068	△ 61,380	△ 69.7	
			建 築 物	18,640	33,513	△ 14,873	△ 44.4
			収 容 物	8,048	54,555	△ 46,507	△ 85.2
	建 物 1 件 当 り		485	1,545	△ 1,060		
	林 野						
	車 両		6,564	57,149	△ 50,585	△ 88.5	
	船 舶			570	△ 570	△ 100.0	
	航 空 機						
そ の 他		308	236	72	30.5		
爆 発							
死 者		人	4		4	4.0	
負 傷 者			8	17	△ 9	△ 52.9	
一 日 当 り	火 災 件 数	件	0.2	0.3	△ 0.1	西宮市推計人口 令和2年1月1日現在 487,412 人 平成31年1月1日現在 488,244 人	
	建 物 火 災		0.2	0.2			
	建 物 焼 損 面 積	㎡	0.8	1.0	△ 0.2		
	損 害 額	千円	92	400	△ 308		
人口1万人当りの 出火件数(出火率)		件	1.7	2.0	△ 0.3		

火災状況の推移

区分 年別	出火件数 (件)	損害額 (千円)	建物焼損面積 (㎡)	死者 (人)	負傷者 (人)
平成22年	157	99,921	1,297	3	19
平成23年	144	150,134	1,069	3	20
平成24年	113	77,330	686		25
平成25年	112	91,106	513	3	8
平成26年	117	178,809	964	2	25
平成27年	110	57,718	541	1	13
平成28年	86	262,394	2,557		15
平成29年	96	34,569	371		10
平成30年	97	146,023	382		17
令和元年	85	33,560	289	4	8
10年間平均	112	113,156	867	2	16

署別火災発生状況

区分 署別	出火件数							焼損棟数					り災世帯数				り 災 人 員	焼損面積		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	損害額 (千円)
	合 計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 火 災	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	全 損	半 損	小 損		建 物 (㎡)	林 野 (a)			
西宮消防署	30	22		1		7	22		1	6	15	14	1	1	12	31	80		3	2	13,399	
西宮	21	16		1		4	16		1	5	10	8	1	1	6	17	80		3	1	13,244	
北夙川	9	6				3	6			1	5	6			6	14				1	155	
鳴尾消防署	26	15		3		8	17	1	1	4	11	10	1	1	8	23	158		1	2	9,171	
鳴尾	20	12		2		6	14	1	1	4	8	9	1	1	7	22	158		1	1	8,978	
浜	6	3		1		2	3				3	1			1	1				1	193	
瓦木消防署	20	15				5	15			4	11	13	1		12	33	47			4	4,783	
瓦木	12	9				3	9			2	7	5			5	9	8			2	985	
甲東	8	6				2	6			2	4	8	1		7	24	39			2	3,798	
北消防署	9	3		5		1	4			1	3	3			3	9	4				6,207	
北	3	1		2		1	3				1	1			1	4					2,667	
山口	6	2		3		1	3			1	2	2			2	5	4				3,540	
合計	85	55		9		21	58	1	2	15	40	40	3	2	35	96	289		4	8	33,560	

月別火災発生状況

出火件数	合計											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	8	8	6	12	7	10	3	5	7	7	4	8
建物	7	6	5	5	4	6	2	2	4	5	4	5
林野												
車両	1			2		2	1	1	1			1
船舶												
航空機												
その他		2	1	5	3	2		2	2	2		2
合計	8	6	5	5	4	6	2	2	4	5	4	7
全焼												1
半焼		1		1								
部分焼	4	1	3			1				1	1	4
ぼや	4	4	2	4	4	5	2	2	4	4	3	2
合計	6	3	6	2	4	3		2	2	5	3	4
全損	1		1									1
半損	1	1										
小損	4	2	5	2	4	3		2	2	5	3	3
合計	14	9	19	8	8	10		2	6	8	8	4
全損	1		2									1
半損	6	3										
小損	7	6	17	8	8	10		2	6	8	8	3
合計	5,923	10,609	3,726	1,838	14	3,267	210	2,759	831	110	198	4,075
建物小計	5,712	10,590	3,726	1,485	11	586	46	11	346	110	198	3,867
建物	512	10,380	3,611	1,364	2	469		1		54	93	2,154
収容物	5,200	210	115	121	9	117	46	10	346	56	105	1,713
林野												
車両	161			335		2,600	164	2,748	350			206
船舶												
航空機												
その他	50	19		18	3	81			135			2
爆発												
損害見積額(千円)												

曜日別火災発生件数

曜日 種別	合計	日	月	火	水	木	金	土	不明
建物火災	55	11	8	8	8	3	8	9	
林野火災									
車両火災	9	3	2	1	1	1		1	
船舶火災									
航空機火災									
その他火災	21	1	4	1	5	6	2	2	
合計	85	15	14	10	14	10	10	12	

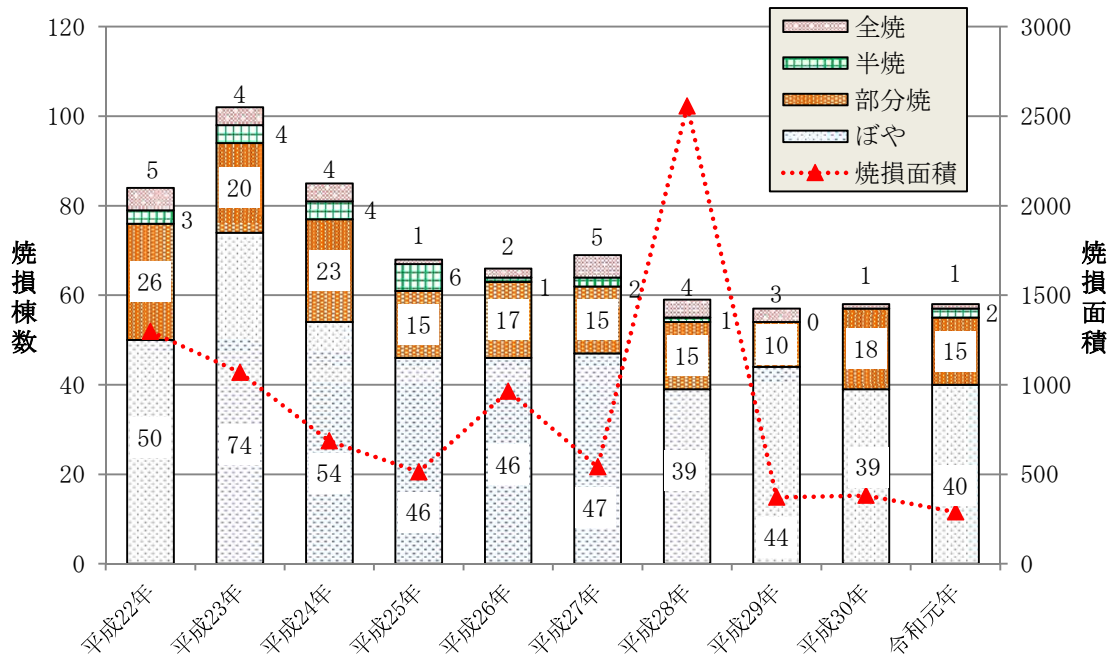
時間別火災発生件数

時間 種別	合計	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明
建物火災	55	4					2	1	1	6	1	1	3		3	2	1	3	4	7	4	3	5	1	2	1
林野火災																										
車両火災	9											3						1	1	1			1	2		
船舶火災																										
航空機火災																										
その他火災	21	1		1						1		2			4	2	1	1	1	1	4		1		1	
合計	85	5		1			2	1	1	7	1	6	3		7	4	2	5	6	9	8	3	7	3	3	1

覚知方法別火災発生件数

覚知方法 種別	出火件数							比率 (%)
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
専用電話（IP）	11	8		1			2	13
専用電話（固定）	5	2		2			1	6
専用電話（携帯）	33	20		4			9	39
加入電話（固定）	9	5					4	11
加入電話（携帯）								
駆け付け通報								
事後聞知	26	19		2			5	30
その他	1	1						1
合計	85	55		9			21	100

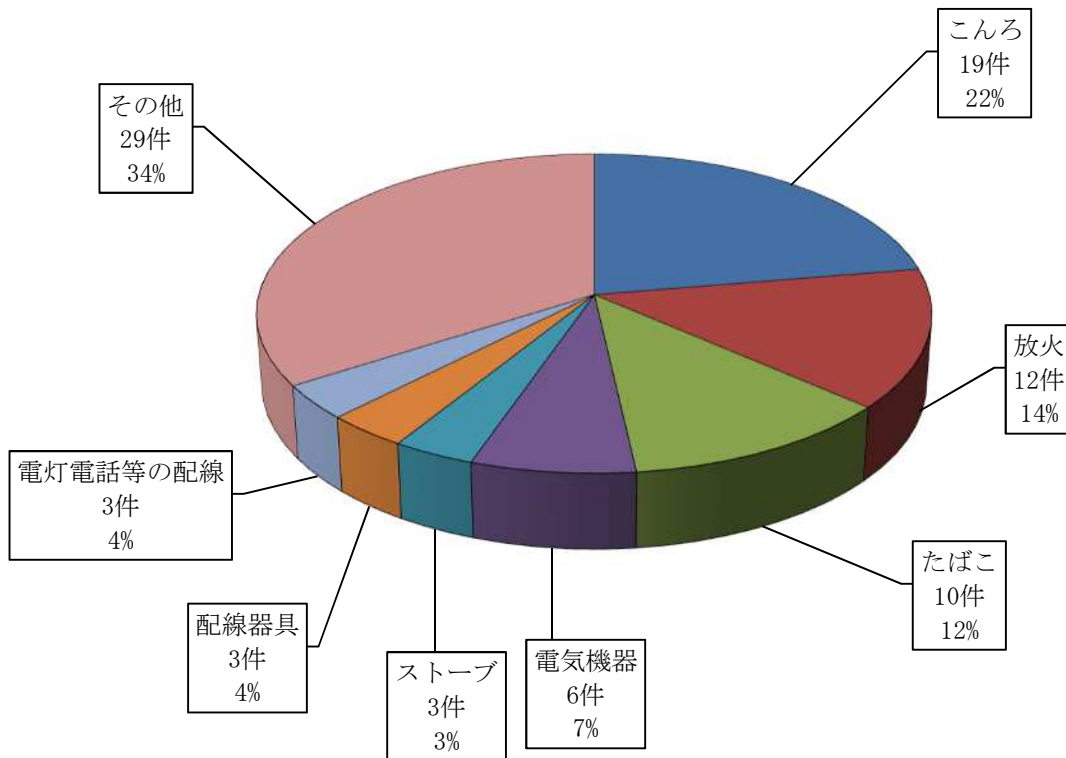
10年間の建物焼損棟数・焼損面積



火災種別毎の損害額の割合（前年比較）

年 別 区分 種別	令和元年				平成30年			
	件数	損害額 (千円)	割合 (%)	1件当りの 損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	割合 (%)	1件当りの 損害額 (千円)
建 物 火 災	55	26,688	80	485	57	88,206	60	1,547
林 野 火 災								
車 両 火 災	9	6,804	20	756	17	57,175	39	3,363
船 舶 火 災					1	570		570
航 空 機 火 災								
そ の 他 火 災	21	68		3	22	72		3
合 計	85	33,560	100	395	97	146,023	100	1,505

令和元年の出火原因



※放火には放火の疑いを含む

10年間の主な出火原因

	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年
1位	放火 62	放火 43	放火 25	放火 33	放火 35	放火 29	たばこ 21	放火 26	こんろ 16	こんろ 19
2位	たばこ 21	たばこ 23	こんろ 21	たばこ 14	たばこ 22	たばこ 15	こんろ 17	こんろ 18	配線器具 12	放火 12
3位	こんろ 16	こんろ 21	たばこ 20	こんろ 火遊び 各12	こんろ 19	こんろ 13	放火 11	たばこ 8	放火 11	たばこ 10
4位	火遊び 7	ストーブ 6	火遊び 4		配線器具 5	ストーブ 7	火遊び 5	電気機器 7	たばこ 9	電気機器 6
5位	配線器具 6	配線器具 5	マッチ・ ライター 3	電気機器 配線器具 溶接機・溶断機 灯火 各4	排気管 電気装置 電灯電話等の配線 各3	火入れ 6	電気機器 4	ストーブ 5	電気機器 灯火 各4	ストーブ 配線器具 電灯電話等の配線 各3

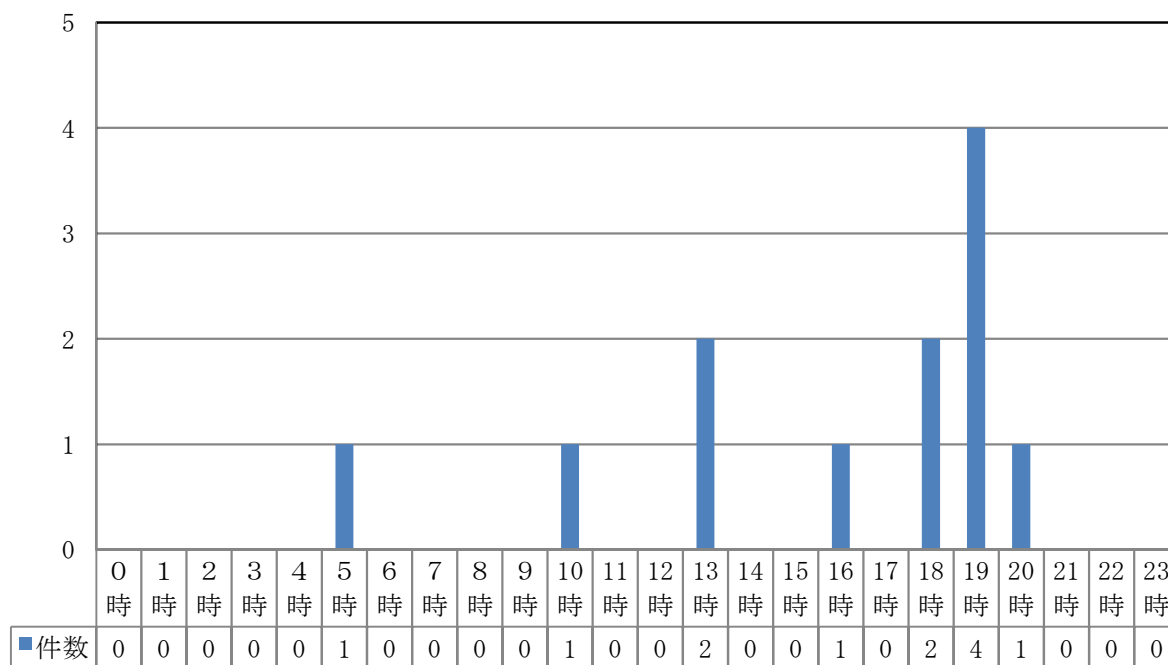
放火件数の推移

年 件数	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	平 均
件 数	62	43	25	33	35	29	11	26	11	12	29

放火の曜日別火災発生件数

曜日 件数	合計	日	月	火	水	木	金	土	不明
件 数	12		5		3	3	1		

放火の時間別火災発生件数



放火による着火物

着 火 物	件 数
落葉	2
繊維製品	1
袋及び紙製品	1
木材及び木製品（家具調度を除く）	1
合成樹脂と成形品	1
紙屑，わら屑	1
枯草（生えたまま枯れたもの）	1
立木	1
枯草	1
その他	2

主な火災発生状況

① 損害額 1,000万円以上 ② 焼損面積 建物300㎡、林野200 a 以上 ③ 即報、詳報に該当する火災 ④ 消防長が必要と認める火災										
No.	月 日	種 別	出 火 時 間	鎮 火 時 間	覚 知	発生場所	火元用途	死 者	負傷者	焼損状況
1	2月10日	建物	23時00分	1時30分	専用電話 (携帯電話)	甲子園口 4丁目	共同住宅	3		鉄骨造3階建共同住宅1棟のうち、1室を全焼し、その他の住戸の一部及び外壁の一部を焼損、水損したものの。

隣接都市火災応援(被応援)出動状況

	出動回数	出動台数	出動人員
合 計	1	1	3
	2	7	26
尼崎市	1	1	3
	1	4	15
宝塚市	1	3	11
芦屋市			
神戸市			

※上段は応援、下段は被応援を示す。

高速道路における隣接都市火災応援(被応援)出動状況

	出動回数	出動台数	出動人員
合 計	2	7	26
尼崎市	1	4	15
宝塚市	1	3	11
芦屋市			
神戸市			

※上段は応援、下段は被応援を示す。

消防局消防活動状況

区 分		合計	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災	
出 動 件 数	事後聞知	26	19		2			5	
	第 1 出 動	59	36		7			16	
	第 2 出 動								
	第 3 出 動								
	合 計	85	55		9			21	
出 動 台 数 ・ 人 員	事後聞知	台数	28	19	4			5	
		人員	120	83	14			23	
	第 1 出 動	台数	361	299	18			44	
		人員	1,310	1,079	66			165	
	第 2 出 動	台数							
		人員							
	第 3 出 動	台数							
		人員							
	特命出動	台数	14	11	3				
		人員	40	31	9				
	合 計	台数	403	329	25			49	
		人員	1,470	1,193	89			188	
	放 水 台 数	第 1 出 動	55	37		9			9
		第 2 出 動							
第 3 出 動									
特 命 出 動		3	1		2				
合 計		58	38		11			9	
放 水 時 間	5 分 未 満	12	7		2			3	
	5 ～ 10 分	3			1			2	
	11 分 以 上	43	31		8			4	
使用水管数		298	216		38			44	
現 場 ま で の 所 要 時 間	5 分 未 満	22	19		1			2	
	5 ～ 10 分	36	17		6			13	
	11 分 以 上	1						1	

※ 放水時間は、放水開始時刻から放水完了時刻までを計上。
現場までの所要時間は、事後聞知を除く。

その他災害統計



緊急消防援助隊 近畿ブロック訓練

そ の 他 災 害 の 概 要

1 概 況

令和元年中のその他災害発生件数は、前年より43件増加し、1,056件発生している。

内訳は、「緊急確認」361件（34%）が最も多く、「支援活動」251件（24%）、「補完」240件（23%）「緊急措置」123件（12%）、「その他」81件（8%）となっている。

消防署別では、西宮消防署で279件、鳴尾消防署で238件、瓦木消防署で208件、北消防署で331件発生している。

2 出動状況

令和元年中のその他災害による出動は、1,218台の4,632人となっている。

消防署別出動状況は、西宮消防署が337台の1,356人（本署～225台、902人、北夙川～112台、454人）、鳴尾消防署が302台の1,191人（本署～210台、829人、浜～92台、362人）、瓦木消防署が235台の943人（本署～157台、630人、甲東～78台、313人）、北消防署が344台の1,142人（本署～157台、525人、山口～187台、617人）となっている。

3 災害内容

発生件数1,056件の災害内容の主な内訳は、「自火報・警報ベル・非常ベルの鳴動」272件（26%）、「出動により消防車両が不足した地域への救急隊の移動配備」199件（19%）、「道路上における活動隊の安全確保」181件（17%）、「危険物漏洩処理、車両等からの油流し」84件（8%）、「救急隊の支援に携わった事案」62件（6%）となっている。

所属別その他災害発生状況

区分	所属別 合計	西宮消防署			鳴尾消防署			瓦木消防署			北消防署			
		小計	本署	北夙川	小計	本署	浜	小計	本署	甲東	小計	本署	山口	
緊急措置	火災通報により出動したが、火災ではなかった事案	27	8	5	3	12	8	4	3	1	2	4	3	1
	危険物漏洩処理、車両等からの油流し	84	30	20	10	19	13	6	22	15	7	13	3	10
	ガス漏れ	8	5	3	2	1		1	2	1	1			
	その他緊急対応措置が必要な事案	4	3	2	1				1	1				
	小計	123	46	30	16	32	21	11	28	18	10	17	6	11
緊急確認	火災と紛らわしい煙の確認	31	7	1	6	5	4	1	8	6	2	11	6	5
	異臭・異音	29	8	8		5	3	2	15	6	9	1		1
	自火報・警報ベル・非常ベルの鳴動	272	104	80	24	78	60	18	77	50	27	13	4	9
	ガス・電気等の消し忘れ	0												
	火災調査のため出動したが、火災ではなかった事案	8	3	1	2	4	2	2				1	1	
	その他緊急確認が必要な事案	21	9	6	3	3	1	2	6	2	4	3	3	
小計	361	131	96	35	95	70	25	106	64	42	29	14	15	
支援活動	救急隊の支援に携わった事案	62	16	11	5	26	24	2	11	6	5	9	4	5
	道路上における活動隊の安全確保	181	58	34	24	44	26	18	45	39	6	34	22	12
	上記に該当しない支援活動	8				8		8						
	小計	251	74	45	29	78	50	28	56	45	11	43	26	17
その他	自然災害対応	3	1	1					2	1	1			
	飼育動物等の保護 危険生物等の排除	10	5	2	3	3	3		2	1	1			
	焚き火、野焼き、火遊び等	2				1	1					1	1	
	高齢者、身体障害者等の介助	60	22	13	9	26	23	3	11	10	1	1		1
	その他社会的危険が考えられる事案	6				3	2	1	1	1		2	2	
	小計	81	28	16	12	33	29	4	16	13	3	4	3	1
補充	出動により消防車両が不足した地域への救急隊の移動配備	199							2	2		197	96	101
	出動により消防車両が不足した地域への消火隊の移動配備	41										41	2	39
	小計	240	0	0	0	0	0	0	2	2	0	238	98	140
合計	1,056	279	187	92	238	170	68	208	142	66	331	147	184	
出動台数	1,218	337	225	112	302	210	92	235	157	78	344	157	187	
出動人員	4,632	1,356	902	454	1,191	829	362	943	630	313	1,142	525	617	

水防統計



水防工法訓練

水 防 災 害 活 動 状 況

(令和元年中)

No.	月 日	原 因	対 策	活 動	備 考
1	7月23日(火)	時間雨量30mm超	各署巡らを実施	巡ら：8回 8台 27名	
2	8月15日(木) ～ 8月16日(金)	台風10号	水防警戒指令	巡視：35回 35台 107名 その他災害：5回 5台21名	
3	9月23日(月)	暴風波浪警報	警防課班別		
4	10月12日(土)	台風19号	水防警戒指令		

救 急 統 計



令和元年度救急技術指導会

救 急 の 概 要

1 概況

令和元年中の救急出動件数は25,091件、搬送人員は22,793人で、前年に比べ出動件数は368件、搬送人員は134人増加している。

出動件数のうち主な事故種別の構成比は「急病」が全体の64.0%を占め、「一般負傷」が16.6%、「交通事故」が7.0%となっている。

また1日の平均出動件数は68.7件で21分に1回救急車が出動し、西宮市民の19人に1件の割合で救急要請したこととなる。

2 応急手当普及啓発

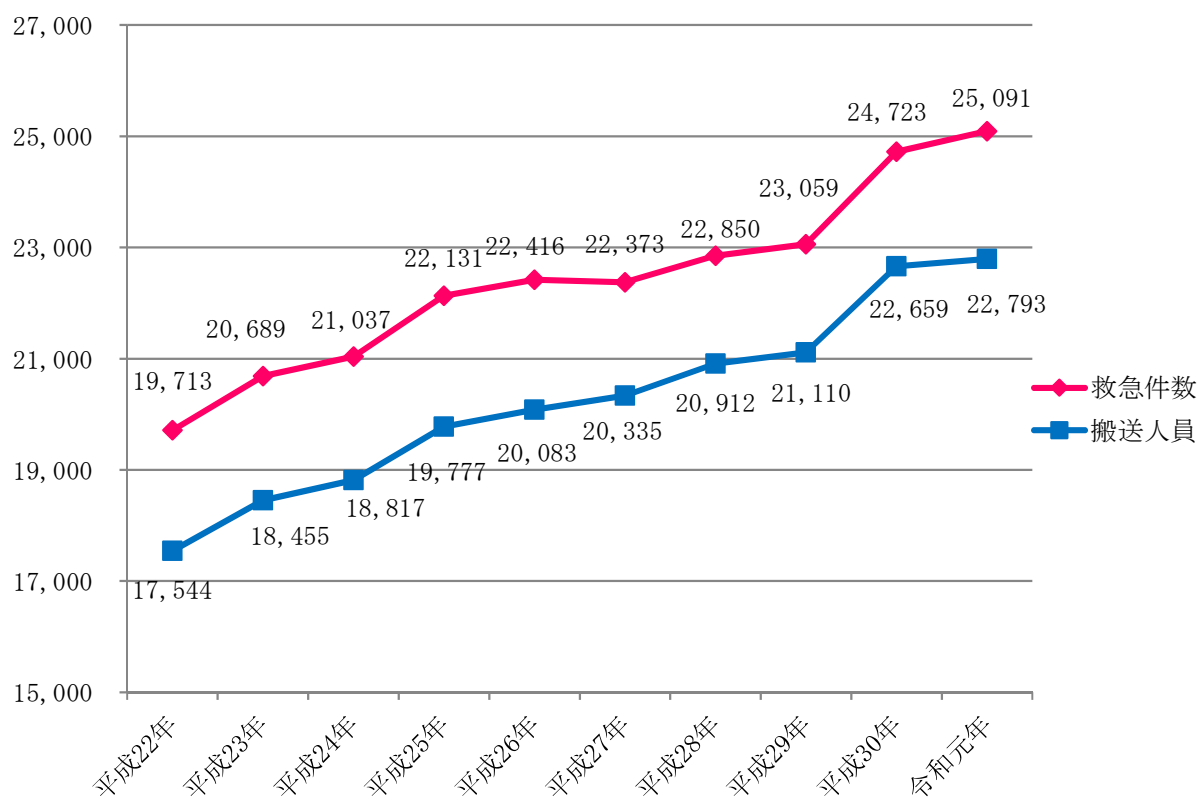
応急手当の普及促進については、中学生に対する応急手当普及啓発を充実させるなど各種救急講習会を積極的に開催するとともに、応急手当普及員の育成を推進し、市民による病院前救護体制の強化を図り救命効果の向上に努めた。

また、AEDを含めた「応急手当の必要性」や「救急車の適正利用」など、救急業務への理解と協力を求めるために市ホームページに加え、市公式フェイスブックやツイッターなどのSNSを活用し、市民への普及啓発に努めた。

救 急 出 動 件 数

区 分	令和元年	平成30年	前 年 比 較	
	A	B	増 減 数 A - B = C	増 減 率 C ÷ B
出 動 件 数	25,091 件	24,723 件	368 件	1.5 %
傷 病 者 搬 送 人 員	22,793 人	22,659 人	134 人	0.6 %
1 日 平 均 出 動 件 数	68.7 件	67.7 件	西 宮 市 推 計 人 口 平成31年 1 月 1 日 現 在 488,244 人 令和 2 年 1 月 1 日 現 在 487,412 人 前 年 比 -832 人	
時 間 に 対 す る 出 動 件 数	21 分 に 1 件	21 分 に 1 件		
人 口 に 対 す る 出 動 件 数	19 人 に 1 件	20 人 に 1 件		
人 口 に 対 す る 搬 送 人 員	21 人 に 1 人	22 人 に 1 人		
人 口 1 万 人 あ た り の 出 動 件 数	515 件	506 件		

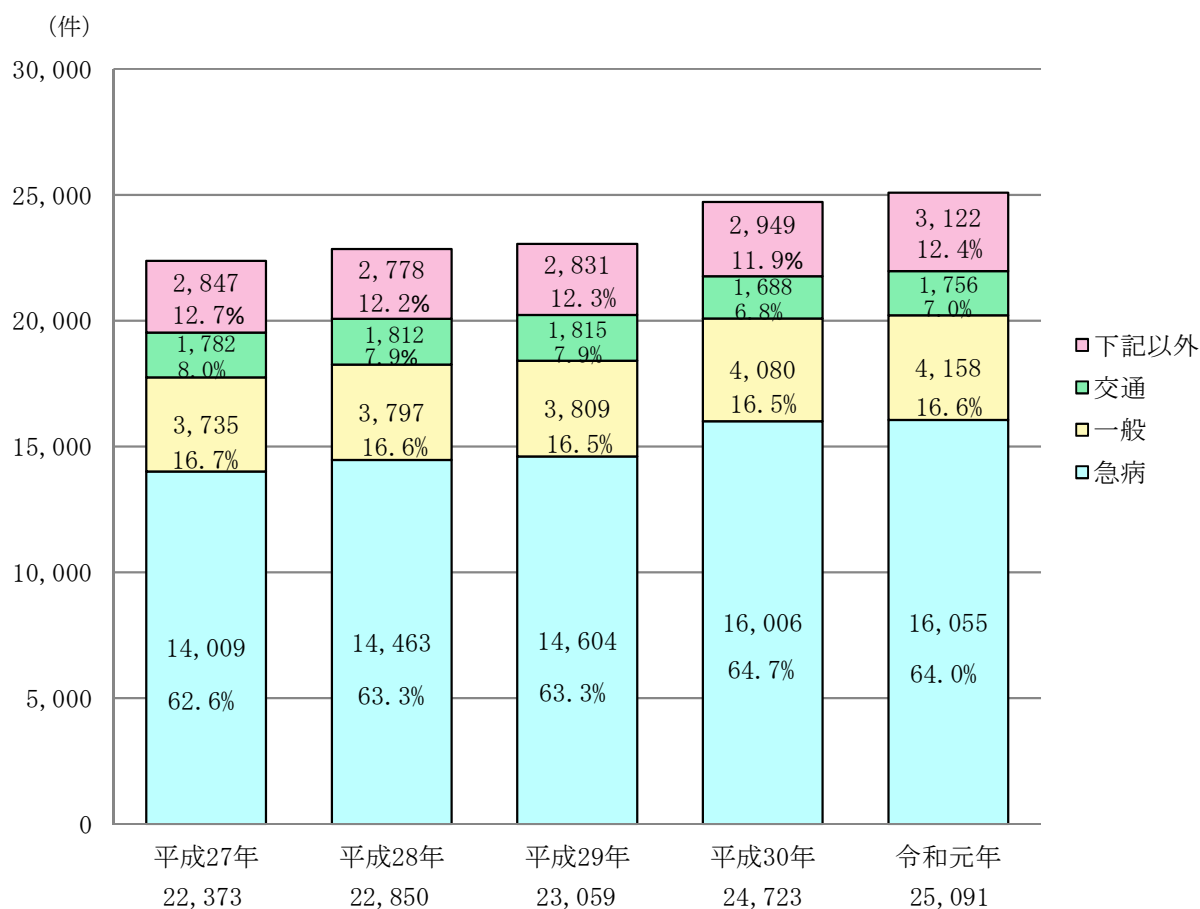
救急出動件数・搬送人員の推移



事故種別出動件数及び搬送人員

	合計	急病	交通事故	一般負傷	自損行為	労働災害	加害	運動競技	火災	水難	自然災害	その他
出動件数(件)	25,091	16,055	1,756	4,158	187	156	75	211	8	4	0	2,481
構成比(%)	100	64.0	7.0	16.6	0.7	0.6	0.3	0.8	0.0	0.0	0.0	9.9
搬送人員(人)	22,793	15,023	1,666	3,903	139	154	64	213	8	1	0	1,622
構成比(%)	100	65.9	7.3	17.1	0.6	0.7	0.3	0.9	0.0	0.0	0.0	7.1

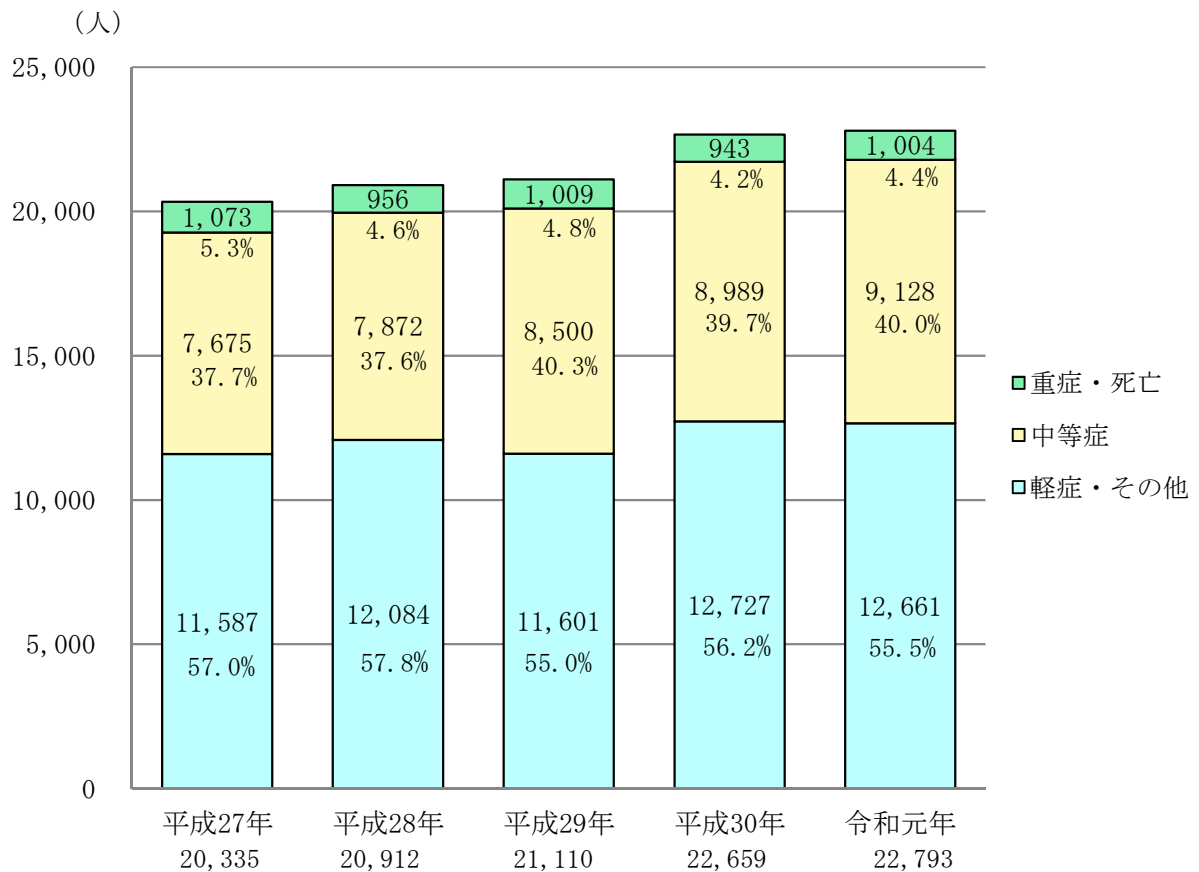
事故種別出動件数の推移



事故種別傷病程度別搬送人員

		計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
急病	搬送人員(人)	15,023	91	299	6,404	8,229	0
	構成比(%)	100	0.6	2	42.6	54.8	0.0
交通事故	搬送人員(人)	1,666	2	48	286	1,330	0
	構成比(%)	100	0.1	2.9	17.2	79.8	0.0
一般負傷	搬送人員(人)	3,903	4	401	889	2,609	0
	構成比(%)	100	0.1	10.3	22.8	66.8	0.0
その他	搬送人員(人)	2,201	26	133	1,549	493	0
	構成比(%)	100	1.2	6	70.4	22.4	0.0
計	搬送人員(人)	22,793	123	881	9,128	12,661	0
	構成比(%)	100	0.5	3.9	40	55.5	0.0

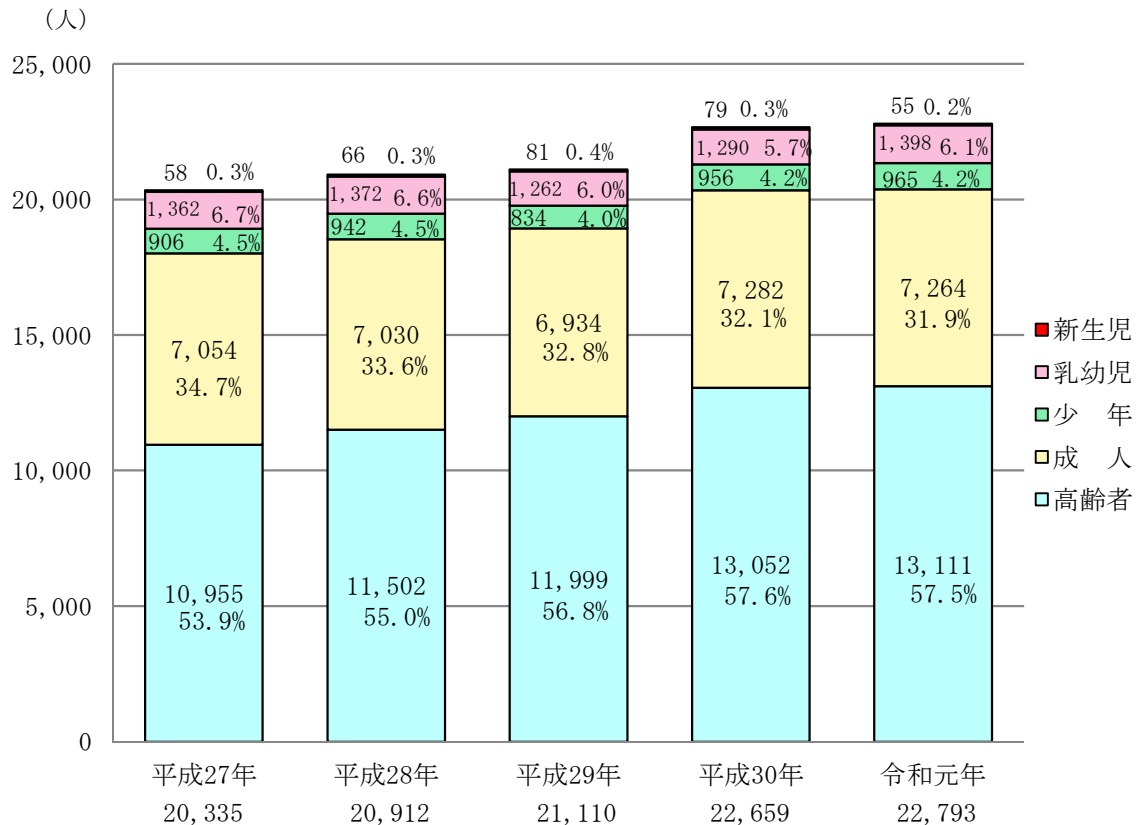
傷病程度別搬送人員の推移



事故種別年齢区分別搬送人員

		計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
急病	搬送人員(人)	15,023	14	907	519	4,736	8,847
	構成比(%)	100	0.1	6.0	3.5	31.5	58.9
交通事故	搬送人員(人)	1,666	0	41	147	981	497
	構成比(%)	100	0.0	2.5	8.8	58.9	29.8
一般負傷	搬送人員(人)	3,903	0	398	139	701	2,665
	構成比(%)	100	0.0	10.2	3.6	18.0	68.3
その他	搬送人員(人)	2,201	41	52	160	846	1,102
	構成比(%)	100	1.9	2.4	7.3	38.4	50.1
計	搬送人員(人)	22,793	55	1,398	965	7,264	13,111
	構成比(%)	100	0.2	6.1	4.2	31.9	57.5

年齢区分別搬送者の推移



新生児：生後28日未満

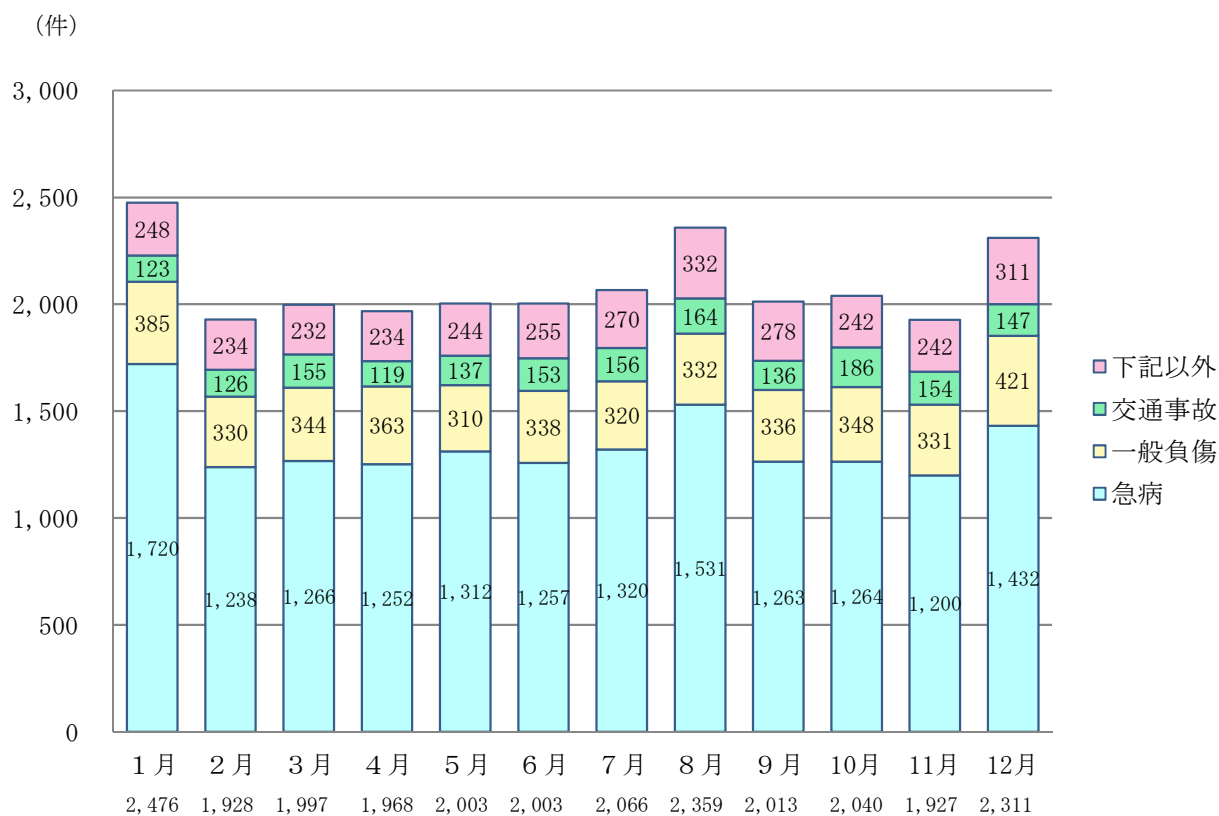
成人：満18歳以上満65歳未満

乳幼児：生後28日以上満7歳未満

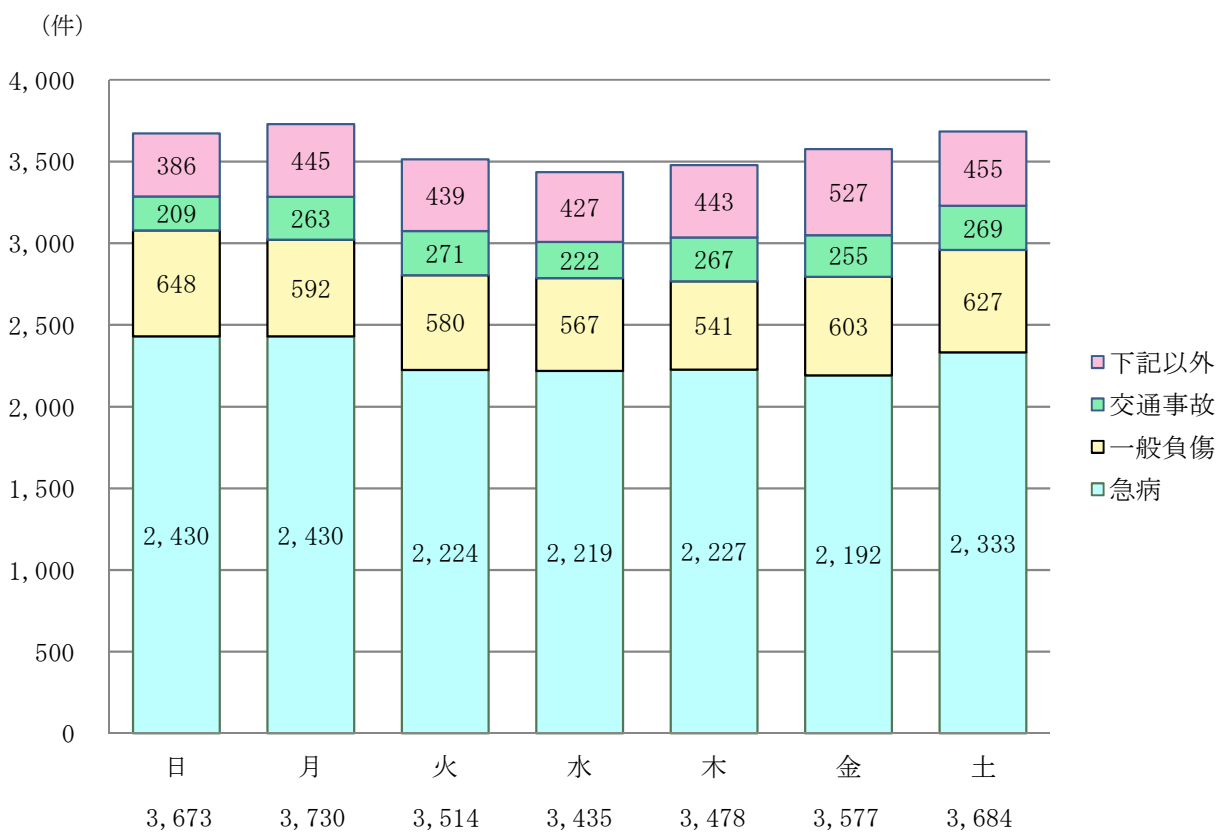
高齢者：満65歳以上

少年：満7歳以上満18歳未満

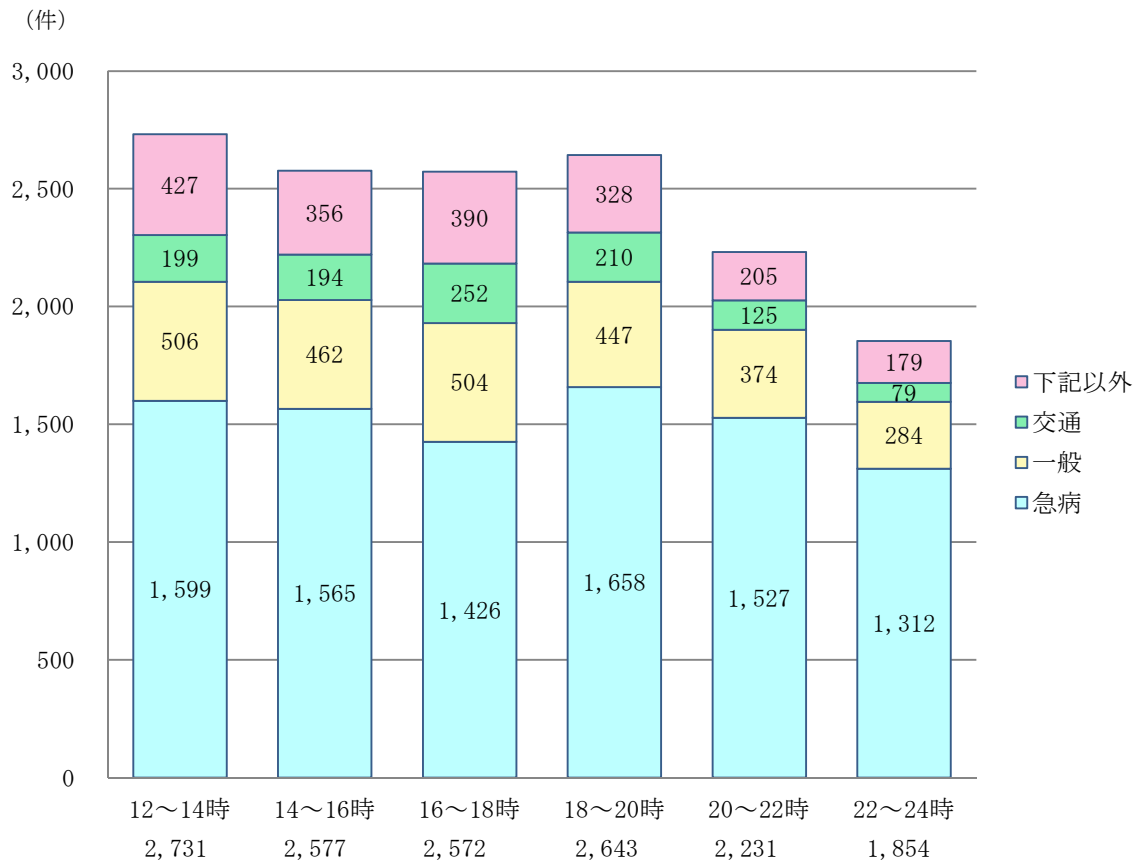
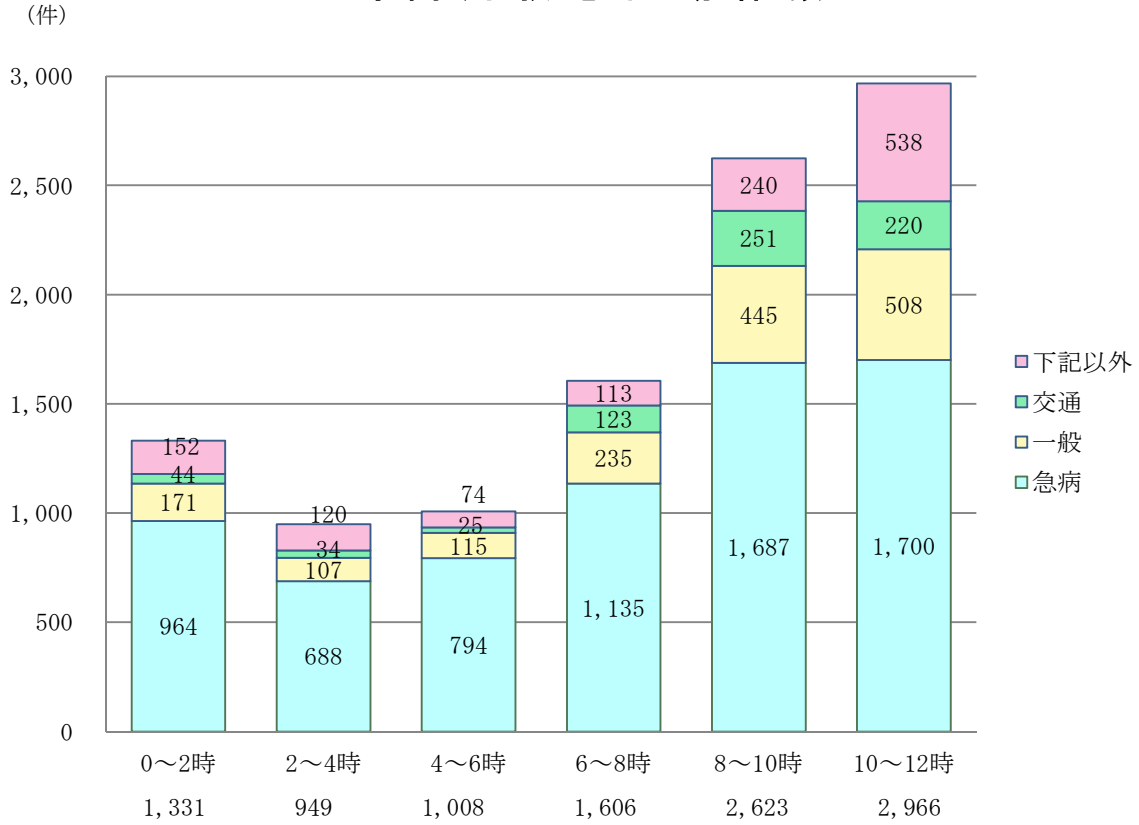
月別救急出動件数



曜日別救急出動件数



時間別救急出動件数



医療機関別搬送状況

医療機関別 区分	合計	その他の場所	医療機関					救急告示医療機関				その他の医療機関			
			国・公立	公 的	私 的		計	国・公立	公 的	私 的		国・公立	公 的	私 的	
					病 院	診 療 所				病 院	診 療 所			病 院	診 療 所
			計	計	計	計	計	計	計	計					
計	22,793	0	6,883	12	15,724	174	22,793	5,830	10	9,887	2	1,053	2	5,837	172
比率	100%	0.0%	30.3%		69.7%		100%	69.0%				31.0%			
市内	19,098	0	4,561	0	14,378	159	19,098	4,548	0	8,838	0	13	0	5,540	159
市外	3,695	0	2,322	12	1,346	15	3,695	1,282	10	1,049	2	1,040	2	297	13

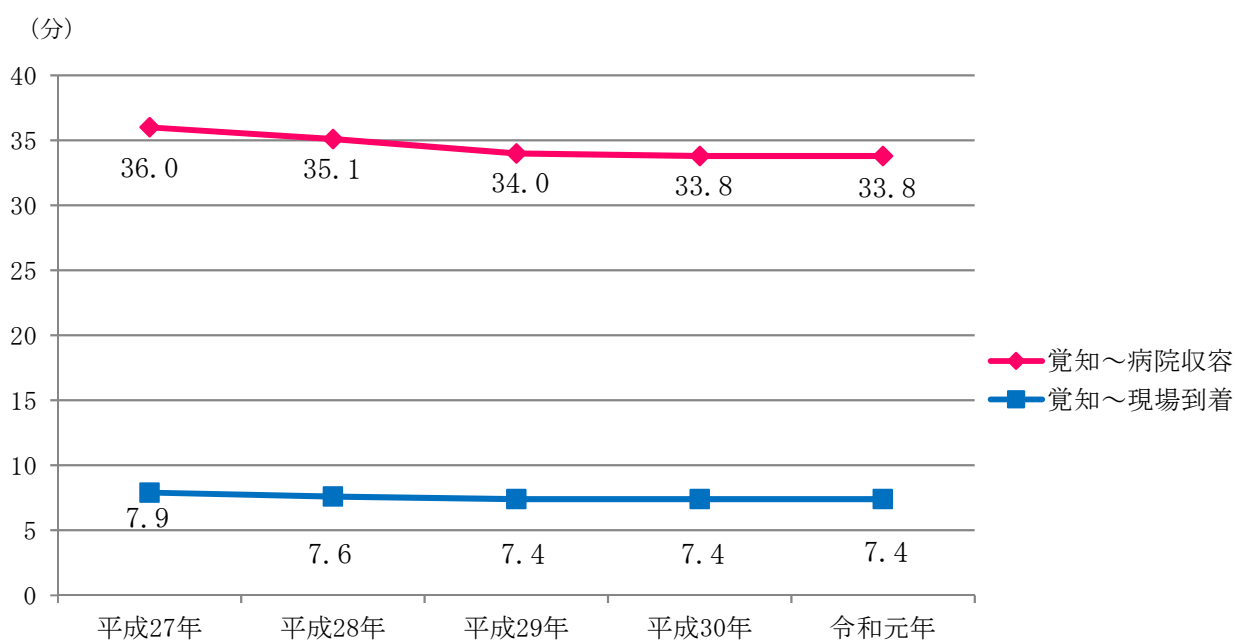
隣接都市救急応援（被応援）出動状況

		出動件数	出動人員	出動台数
合計	応援	29	87	29
	被応援	24	72	24
尼崎市	応援	5	15	5
	被応援	4	12	4
宝塚市	応援	11	33	11
	被応援	11	33	11
芦屋市	応援	7	21	7
	被応援	7	21	7
神戸市	応援	6	18	6
	被応援	1	3	1
その他	応援	0	0	0
	被応援	1	3	1

現場到着及び病院収容所要平均時間

隊 別 区 分	市 計	西宮市消防局	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
			本 署	北 夙 川 分 署	本 署	浜 分 署	本 署	甲 東 分 署	本 署	山 口 分 署
覚知～現場到着	7.4		7.2	7.8	6.9	7.6	7.4	8.1	9.4	8.0
覚知～病院収容	33.8		30.6	35.1	33.3	34.2	33.8	35.2	47.6	42.2

現場到着及び病院収容所要平均時間の推移



応急処置等の状況

応急処置	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置対象人員	22,767	15,017	1,665	3,890	2,195
止血	365	89	47	199	30
固定	713	29	381	195	108
人工呼吸	66	46	2	3	15
胸骨圧迫	2	0	0	0	2
心肺蘇生	363	266	8	30	59
酸素吸入	3,635	2,778	114	164	579
気道確保	553	416	12	42	83
経鼻エアウェイ	2	1	0	0	1
喉頭鏡等を使用した異物除去	11	4	0	6	1
ラリングアルチューブ等	23	18	1	3	1
気管挿管	10	1	0	7	2
保温	165	72	40	19	34
被覆	1,619	61	449	974	135
在宅療法継続	33	28	0	5	0
除細動	21	20	0	0	1
薬剤投与	31	25	2	3	1
その他の応急処置	19,933	13,183	1,474	3,356	1,920
血圧測定	21,234	14,024	1,621	3,545	2,044
聴診器による心音・呼吸音の聴取	5,400	4,315	364	351	370
血中酸素飽和度の測定	22,342	14,730	1,660	3,823	2,129
心電図	9,603	7,916	244	672	771
静脈路確保	106	94	2	7	3
うちC P A前	48	47	0	1	0
うちC P A後	58	47	2	6	3
血糖測定	368	348	0	9	11
エピペン投与	1	1	0	0	0
ブドウ糖投与	30	30	0	0	0

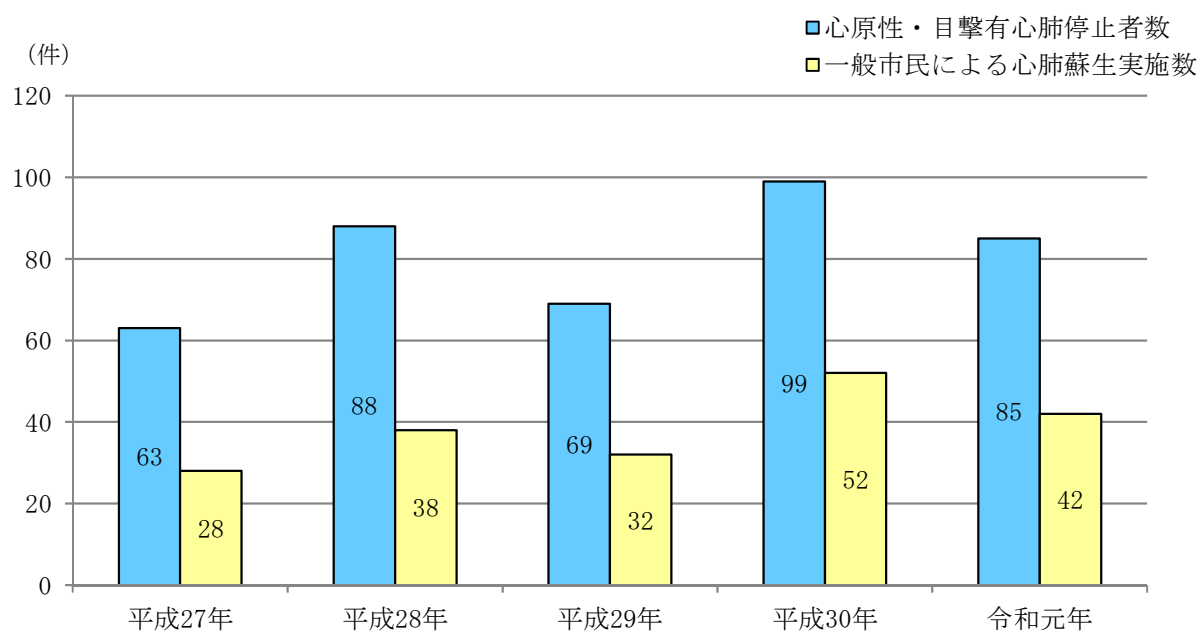
西宮市医師同乗制度の状況（ドクターカーシステム）

	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
出動件数	41	25	0	2	14
対象者数	41	25	0	2	14
医療機関収容者数	26	16	0	1	9

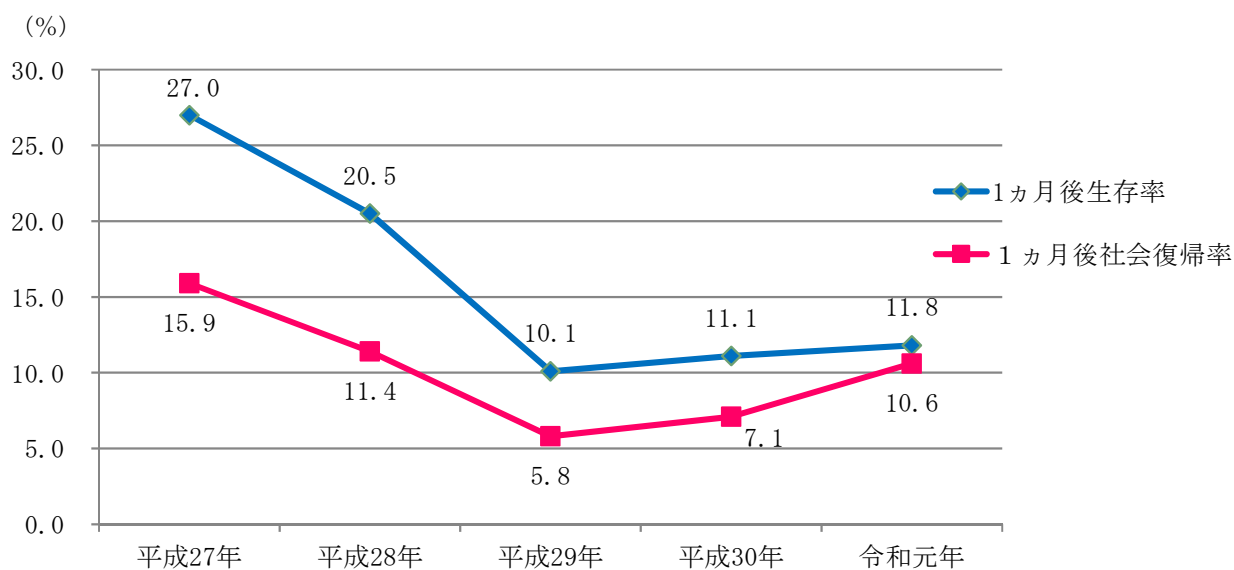
心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数

心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数	
85	
1ヵ月後生存数	1ヵ月後社会復帰数
10	9

心原性かつ一般市民による目撃のあった心肺停止者数と一般市民による心肺蘇生実施数の推移



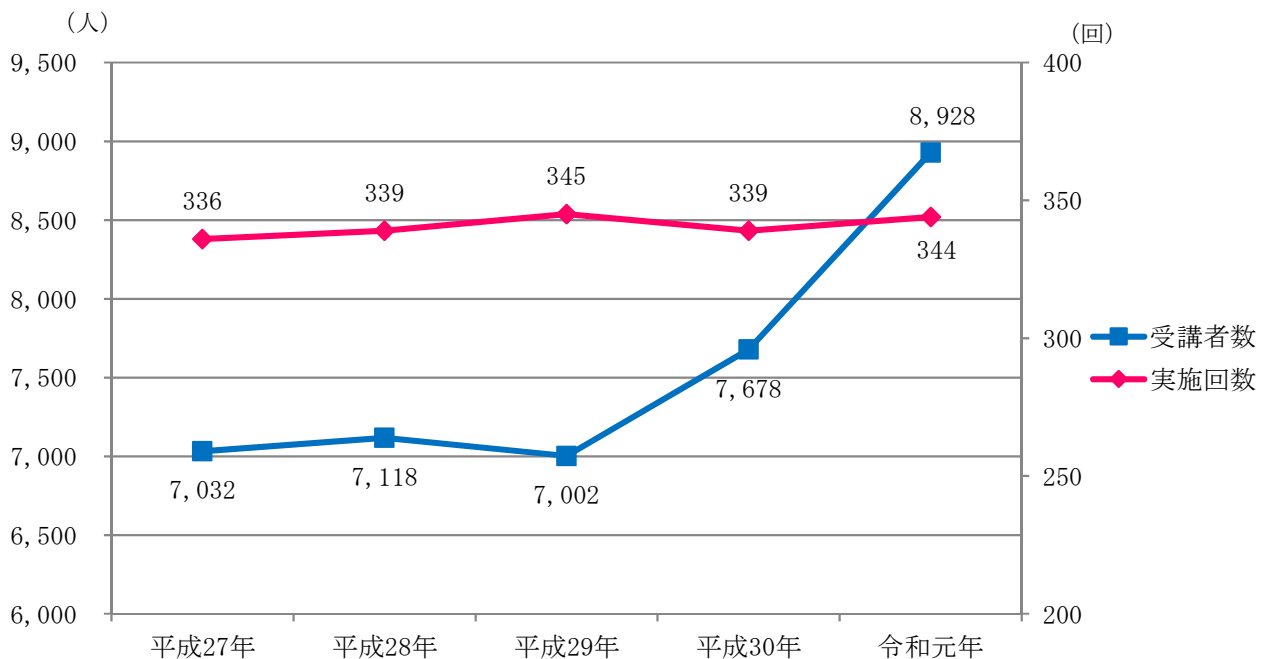
心原性かつ一般市民による目撃のあった症例の1ヵ月後の生存率及び社会復帰率の推移



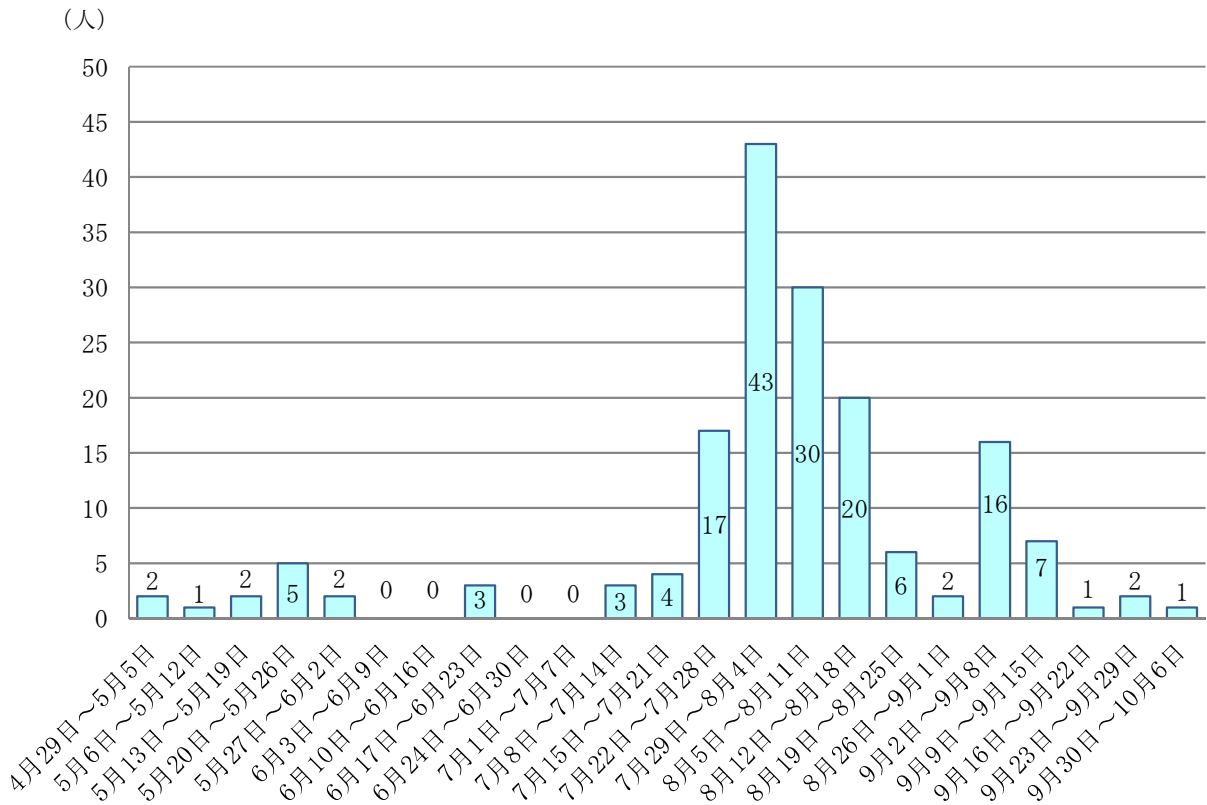
所属別救急講習実施状況

区 分		隊 別	合 計	西宮市消防局	西宮消防署		鳴尾消防署		瓦木消防署		北消防署	
					本署	北夙川分署	本署	浜分署	本署	甲東分署	本署	山口分署
指導員講習	回数		1	1								
	人数		23	23								
普及員講習	回数		31	31								
	人数		156	156								
普通救命講習	回数		95	34	12	3	9	8	13	9	3	4
	人数		1,151	553	162	16	95	92	130	66	19	18
救命入門コース	回数		114	12	11	15	13	5	17	12	14	15
	人数		2,899	263	283	331	282	233	481	262	408	356
その他の講習	回数		103	12	15	12	16	1	12	15	10	10
	人数		4,699	1,371	550	257	1,092	18	407	334	482	188
合 計	回数		344	90	38	30	38	14	42	36	27	29
	人数		8,928	2,366	995	604	1,469	343	1,018	662	909	562

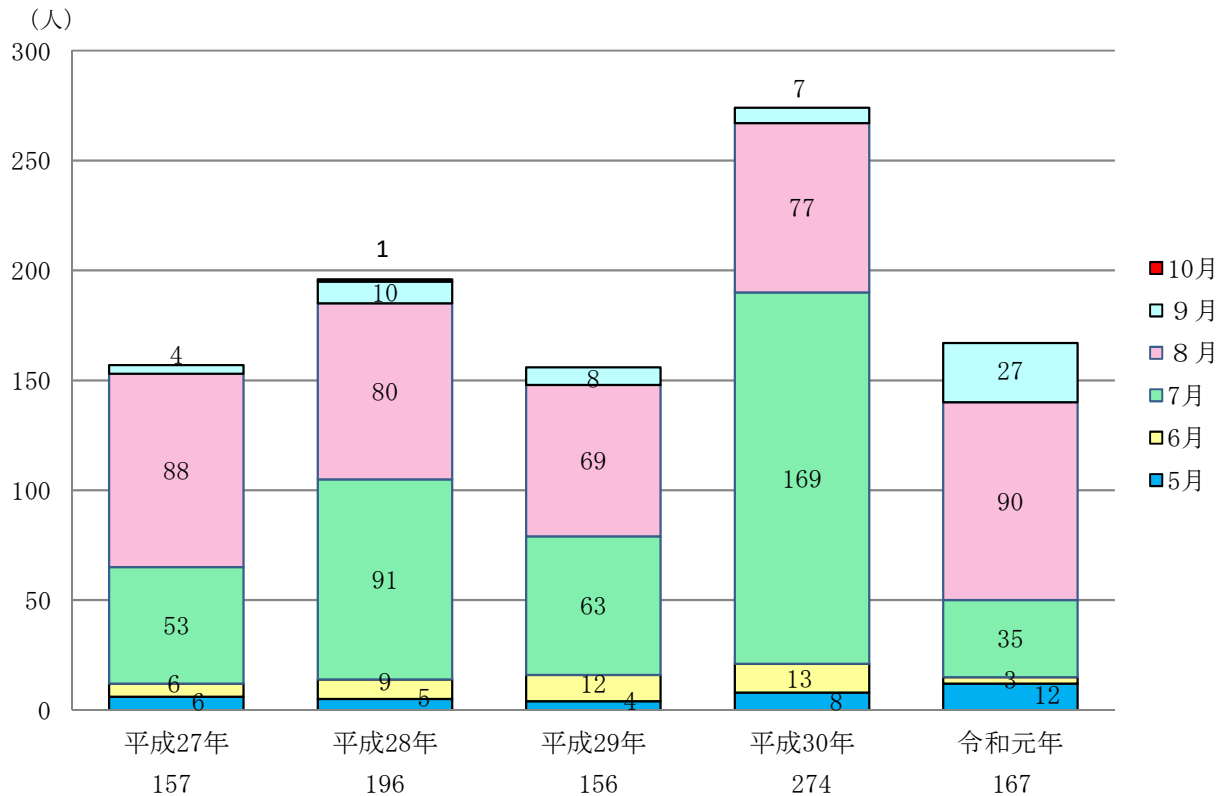
救急講習実施回数及び受講者数の推移



熱中症による救急搬送状況の週別推移



熱中症による救急搬送状況の推移



救 急 出 動 状 況

区 分 事故種別	出 動 件 数	傷 病 者 搬 送 件 数	傷 病 者 不 搬 送 件 数	搬 送 人 員			傷 病 程 度				出 動 人 員
				合 計	男	女	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	
合 計	25,091	22,642	2,449	22,793	10,985	11,808	123	881	9,128	12,661	75,540
火 災	8	8		8	3	5		1	4	3	24
自 然 災 害											
水 難	4	1	3	1	1			1			12
交 通	1,756	1,576	180	1,666	961	705	2	48	286	1,330	5,282
労 働 災 害	156	151	5	154	129	25		8	43	103	468
運 動 競 技	211	207	4	213	153	60			43	170	634
一 般 負 傷	4,158	3,890	268	3,903	1,696	2,207	4	401	889	2,609	12,525
加 害	75	62	13	64	28	36		1	9	54	226
自 損 行 為	187	139	48	139	45	94	15	20	73	31	565
急 病	16,055	14,987	1,068	15,023	7,165	7,858	91	299	6,404	8,229	48,339
そ の 他	2,481	1,621	860	1,622	804	818	11	102	1,377	132	7,465

救急隊別出動状況

隊別	区分	出動件数	傷病者搬送件数	傷病者不搬送件数	搬送人員			傷病程度				出動人員
					合計	男	女	死亡	重症	中等	軽症	
合計		25,091	22,642	2,449	22,793	10,985	11,808	123	881	9,128	12,661	75,540
西宮市消防局												
小計		10,200	9,016	1,184	9,086	4,317	4,769	38	299	3,259	5,490	30,699
西宮消防署		7,803	6,827	976	6,878	3,322	3,556	22	226	2,309	4,321	23,449
北夙川分署		2,397	2,189	208	2,208	995	1,213	16	73	950	1,169	7,250
小計		7,729	7,049	680	7,082	3,362	3,720	52	299	2,946	3,785	23,235
鳴尾消防署		5,835	5,273	562	5,300	2,511	2,789	42	235	2,186	2,837	17,527
浜分署		1,894	1,776	118	1,782	851	931	10	64	760	948	5,708
小計		5,353	4,912	441	4,942	2,470	2,472	18	206	2,188	2,530	16,164
瓦木消防署		3,334	3,033	301	3,052	1,522	1,530	10	110	1,086	1,846	10,074
甲東分署		2,019	1,879	140	1,890	948	942	8	96	1,102	684	6,090
小計		1,809	1,665	144	1,683	836	847	15	77	735	856	5,442
北消防署		920	849	71	859	424	435	11	42	348	458	2,771
山口分署		889	816	73	824	412	412	4	35	387	398	2,671

月別・曜日別救急出動状況

区分 事故種別	月別												曜日別						
	合 計												合 計						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
合計	2,476	1,928	1,997	1,968	2,003	2,003	2,066	2,359	2,013	2,040	1,927	2,311	3,673	3,730	3,514	3,435	3,478	3,577	3,684
火災	1		3	1		2				1			1	1	1	3			2
自然災害																			
水難	4	1	1				1		1					2				1	1
交通	123	126	155	119	137	153	156	164	136	186	154	147	209	263	271	222	267	255	269
労働災害	8	10	8	13	12	13	16	19	17	18	13	9	15	17	22	27	34	23	18
運動競技	5	12	17	16	15	13	19	41	29	11	16	17	66	14	18	24	14	23	52
一般負傷	385	330	344	363	310	338	320	332	336	348	331	421	648	592	580	567	541	603	627
加害	8	5	7	10	9	7	4	7	3	3	5	7	17	7	7	10	9	12	13
自損行為	10	12	11	17	14	20	18	11	11	20	17	26	26	25	27	24	36	25	24
急病	1,720	1,238	1,266	1,252	1,312	1,257	1,320	1,531	1,263	1,264	1,200	1,432	2,430	2,430	2,224	2,219	2,227	2,192	2,333
その他	216	194	185	177	194	200	212	254	217	189	191	252	261	379	364	339	350	443	345

救 助 統 計



第48回消防救助技術近畿地区指導会

救 助 の 概 要

1 概況

令和元年中の救助出動件数は436件、救助活動件数は282件、救助人員は242人となっている。

前年と比較すると、出動件数は24件、活動件数は21件、救助人員は17名減少している。

2 出動件数

出動件数を事故種別で見ると、火災8件(2%)、交通事故40件(9%)、水難事故4件(1%)、機械事故2件(1%)、建物事故202件(45%)、ガス・酸欠事故1件(1%)、その他の事故179件(41%)となっている。

前年と比較すると、交通事故で4件増加し、建物事故で3件、水難事故で7件、自然災害で5件、機械事故で10件、その他の事故で3件減少している。

3 活動件数

活動件数を事故種別で見ると、火災8件(3%)、交通事故20件(7%)、水難事故3件(1%)、機械事故1件(1%)、建物事故169件(60%)、ガス・酸欠事故1件(1%)、その他の事故80件(27%)となっている。

前年と比較すると、ガス・酸欠事故で1件、その他の事故で3件増加し、水難事故で6件、自然災害で3件、機械事故で7件、建物事故で9件減少している。

4 救助人員

救助人員を事故種別で見ると、火災で7人(3%)、交通事故27人(11%)、水難事故3人(1%)、機械事故1人(1%)、建物事故169人(69%)、ガス・酸欠事故1人(1%)、その他の事故34人(14%)となっている。

前年と比較すると、火災で3人、ガス・酸欠事故で1人増加し、水難事故で3人、自然災害で2人、機械事故で7人、建物事故で5人、その他の事故で4人減少している。

救 助 出 動 状 況

事故種別 管轄署別		合	火	交	水	自	機	建	ガ	破	そ
		計	災	通	難	然	械	物	ス	裂	の
			故	事	事	災	事	事	酸	事	事
			故	故	害	害	故	故	欠	故	故
合 計	出動件数	436	8	40	4		2	202	1		179
	活動件数	282	8	20	3		1	169	1		80
	救助人員	242	7	27	3		1	169	1		34
	出動台数	1,043	103	138	20		3	391	2		386
	出動人員	3,800	478	497	72		10	1,381	6		1,356
西 宮	出動件数	146	4	14				70			58
	活動件数	87	4	4				55			24
	救助人員	73	3	5				57			8
	出動台数	348	51	44				137			116
	出動人員	1,339	208	173				515			443
鳴 尾	出動件数	149	2	5	3		2	74			63
	活動件数	101	2	2	2		1	63			31
	救助人員	82	2	3	2		1	63			11
	出動台数	345	26	17	15		3	143			141
	出動人員	1,244	134	62	54		10	484			500
瓦 木	出動件数	105	2	7	1			51	1		43
	活動件数	70	2	6	1			45	1		15
	救助人員	58	2	7	1			43	1		4
	出動台数	240	26	20	5			98	2		89
	出動人員	860	136	67	18			340	6		293
北	出動件数	36		14				7			15
	活動件数	24		8				6			10
	救助人員	29		12				6			11
	出動台数	110		57				13			40
	出動人員	357		195				42			120

発 生 場 所 別 出 動 状 況

発生場所別		事故種別 合 計	火 災		交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	
			建 物	建 物 以 外									
合 計		436	8		40	4		2	202	1		179	
屋 内	住 居	339	7						192	1		139	
	その他の屋内	17	1					2	6			8	
屋 外	道 路	名 神 高 速											
		中国自動車道	7		7								
		山陽自動車道											
		阪 神 高 速	1		1								
		一 般 道 路	27		24								3
	内 水 面	河 川	9				3						6
		湖 ・ 沼											
		池											
		プ ー ル											
		そ の 他											
	外 水 面	海	3				1						2
		そ の 他											
		山 岳	3		1								2
		そ の 他	29		6				4				19
	地 下												
	そ の 他	1		1									

月別救助出動状況

区分 月別	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	事 故 種 別									覚 知 別			
				火 災	交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス ・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	1 1 9	加 入	駆 付	そ の 他
合計	436	282	242	8	40	4		2	202	1		179	335	91	2	8
1月	39	28	23	2	2				20			15	33	6		
2月	38	28	25	1	3	1			18			15	31	6	1	
3月	42	33	31	2	4	1		1	23			11	25	16		1
4月	34	25	20		1				19	1		13	28	6		
5月	32	22	21		5				16			11	29	3		
6月	24	18	14						12			12	20	2		2
7月	28	14	12		2	1			12			13	20	6		2
8月	58	35	27		7			1	18			32	44	13		1
9月	27	13	12		1	1			12			13	19	8		
10月	39	20	20	1	5				17			16	32	6		1
11月	35	22	18		6				13			16	28	7		
12月	40	24	19	2	4				22			12	26	12	1	1

救助出動状況の推移

年 別 区 分		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年	
		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年	
出 動 件 数		416 件		436 件		452 件		460 件		436 件	
事 故 種 別	火 災	2	0.5%	4	0.9%	3	0.7%	8	1.7%	8	1.8%
	交 通	38	9.1%	42	9.6%	40	8.8%	36	7.8%	40	9.2%
	水 難	9	2.2%	13	3.0%	13	2.9%	11	2.4%	4	0.9%
	自 然		0.0%		0.0%		0.0%	5	1.1%		0.0%
	機 械	8	1.9%	7	1.6%	6	1.3%	12	2.6%	2	0.5%
	建 物	182	43.8%	166	38.1%	197	43.6%	205	44.6%	202	46.3%
	ガス・酸欠	1	0.2%	4	0.9%	2	0.4%	1	0.2%	1	0.2%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	176	42.3%	200	45.9%	191	42.3%	182	39.6%	179	41.1%
活 動 件 数		247 件		255 件		292 件		303 件		282 件	
事 故 種 別	火 災	2	0.8%	4	1.6%	3	1.0%	8	2.6%	8	2.8%
	交 通	14	5.7%	13	5.1%	18	6.2%	20	6.6%	20	7.1%
	水 難	6	2.4%	9	3.5%	10	3.4%	9	3.0%	3	1.1%
	自 然		0.0%		0.0%		0.0%	3	1.0%		0.0%
	機 械	5	2.0%	5	2.0%	4	1.4%	8	2.6%	1	0.4%
	建 物	150	60.7%	136	53.3%	164	56.2%	178	58.7%	169	59.8%
	ガス・酸欠	1	0.4%	2	0.8%	2	0.7%		0.0%	1	0.4%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	69	27.9%	86	33.7%	91	31.2%	77	25.4%	80	28.4%
救 助 人 員		214 人		196 人		236 人		259 人		242 人	
事 故 種 別	火 災		0.0%	2	1.0%	1	0.4%	4	1.5%	7	2.9%
	交 通	18	8.4%	15	7.7%	21	8.9%	27	10.4%	27	11.2%
	水 難	5	2.3%	5	2.6%	9	3.8%	6	2.3%	3	1.2%
	自 然		0.0%		0.0%		0.0%	2	0.8%		0.0%
	機 械	10	4.7%	11	5.6%	4	1.7%	8	3.1%	1	0.4%
	建 物	146	68.2%	127	64.8%	158	66.9%	174	67.2%	169	69.9%
	ガス・酸欠	1	0.5%	2	1.0%	2	0.8%		0.0%	1	0.4%
	破 裂		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
	そ の 他	34	15.9%	34	17.3%	41	17.4%	38	14.7%	34	14.0%
内 訳	男 性	113 人		90 人		131 人		113 人		114 人	
	女 性	101 人		106 人		105 人		146 人		128 人	
出 動 台 数		961 台		1,066 台		1,045 台		1,088 台		1,043 台	
出 動 人 員		3,429 人		3,811 人		3,753 人		3,914 人		3,800 人	

隣接都市救助応援(被応援)出動状況

都市名	区分	出動件数	出動台数	出動人員	救助人員
合計		3	12	42	3
		8	30	109	16
尼崎市		1	5	18	
		2	10	35	
宝塚市		1	5	18	2
		5	17	63	14
芦屋市					
		1	3	11	2
神戸市		1	2	6	1

※上段は応援、下段は被応援を示す

所属別消防用空気・酸素等容器保有状況

(令和2年4月1日現在)

所属別		容器別	空気容器					酸素容器			アセチレン
		合計	4.7ℓ	6.8ℓ	8.4ℓ	10ℓ	15ℓ	合計	4ℓ	6ℓ	3ℓ
合計		424	20	351		33	20	7	1	6	
局		7	7								
西宮	本署	15				10	5	2		2	
		62	7	55							
	北夙川	26	2	24							
鳴尾	本署	10				5	5	2		2	
		59		59							
	浜	25		25							
瓦木	本署	16				12	4	1	1		
		68		68							
	甲東	28		28							
北	本署	12				6	6	2		2	
		66	2	64							
	山口	30	2	28							

※下段は軽量容器を示す

主な救助器具配置状況

(令和2年4月1日現在)

救助器具	合計	局	西宮	鳴尾	瓦木	北
かぎ付はしご	18	2	4	4	4	4
三連はしご	21	2	5	4	5	5
金属製折りたたみはしご等	4		1	1	1	1
空気式救助マット	4		1	1	1	1
救命索発射銃	4		1	1	1	1
救助用縛帯	45	8	9	13	9	6
油圧ジャッキ	16		5	4	4	3
油圧スプレッダー	19	1	6	5	5	2
可搬式ウインチ	11	3	2	2	2	2
マンホール救助器具	7	3	1	1	2	
エンジンカッター	28	1	9	6	7	5
ガス溶断機	3		1	1	1	
チェーンソー	24		5	6	7	6
各種ガス酸素濃度測定器	21	2	7	3	3	6
危険物同定装置一式	1		1			
空気呼吸器	224	18	60	44	51	51
投光器一式	18		4	3	8	3
隊員用自動携帯警報器	241	18	64	49	58	52
画像探索機Ⅰ型	1		1			
画像探索機Ⅱ型	4	1	1	1	1	
地中音響探索機	1		1			
熱画像直視装置	12		3	3	3	3
夜間用暗視装置	2	1	1			
電磁波探查装置	1		1			
地震警報器	1		1			
放射線防護服	6		2	4		
潜水器具一式	27	8	5	5	5	4
救命ボート	14	1	3	3	3	4
船外機	4	1	1	1	1	
バスケット担架	10	2	2	2	3	1
マット型空気ジャッキ	4		1	1	1	1
大型油圧スプレッダー	4		1	1	1	1
大型油圧切断機	4		1	1	1	1
削岩機	17		5	4	4	4
ハンマードリル	17	1	4	4	5	3
携帯コンクリート破壊器具	6		1	2	1	2
*放射線測定器	60	42	9			9
*化学防護服	20		5	5	5	5
送排風機	6		3	1	1	1
緩降機	10		3	3	1	3
*除染シャワー	2		1			1
チェーンブロック	1				1	
簡易画像探索機	3		2			1
*有毒ガス検知管	4	1	1			2

*については、消防庁から借受しているものも含む

消 防 通 信



通信指令業務

指令業務の概要

1 通信施設保守整備の推進

(1) 無線設備

ア 署活動用無線機21台を更新し、5台を新規購入した。(総数266台)

イ バッテリーの老朽化に伴い、署活動用無線機用バッテリー42個を更新した。

ウ 平成27年度から運用を開始している消防救急デジタル無線の令和元年度における保守について、無線設備の適正な維持管理を継続するため、保守契約を締結した。

(2) 有線設備

情報送受信等における通信網確保のため、老朽化した浜分署のファクシミリを更新した。

2 通信業務対応能力の向上

(1) 各種システムの取扱い

救急医療情報システム及び位置情報通知システム等により、迅速かつ正確な情報収集及び伝達を図った。

(2) 研修

ア 口頭指導技術の向上を図るため、救急救命士による研修とともに阪神地区消防長会救急隊員研修会の受講及び外部講師を招いての口頭指導研修並びに口頭指導シミュレーション訓練を行った。

イ 発生した災害をもとに検討会を実施し、災害対応力の強化を図った。

ウ 各種災害を想定したシミュレーション訓練を実施した。

エ 消防緊急情報システムの円滑な取扱技術を習得するため、各種機器の取扱研修を実施した。

オ 消防局内職員を対象とした非常順次通報装置による非常招集伝達訓練を実施し、機器の取扱い及び応答要領等の習熟に努めた。

カ 各署の月別警防訓練に併せて、出動指令及び無線交信訓練等を実施し、災害対応能力の向上に努めた。

キ 異動者を対象に各種機器の操作研修を実施し、技術の早期習熟を図った。

ク 119番分散受信訓練を実施し、119番回線遮断時の対応能力の習得を図った。

ケ 指令課実務研修を実施し、指令課と各所属との意思疎通及び連携体制の強化を図った。

(3) 広報

消防情報（災害情報、119番のかけ方等）、病院情報等を消防テレホンサービスや市政ニュース、さくらFM等の媒体を利用した広報を行い、適正な119番通報の認識の普及に努めた。

3 消防緊急情報システムの運用管理等

(1) 消防緊急情報システムの運用管理

消防緊急情報システムの全ての機能を最大限に活用できるように、運用要領の見直しを実施して危機管理体制の向上を図り、効率的な指令体制を構築した。

(2) 各種支援情報の更新及び維持

各署と連携して防火対象物や水利、道路情報等の各種支援情報を随時更新し、地図データを常に最新の状態に保った。

(3) 消防緊急情報システムの維持

年間計画により、システム機器類の定期点検を確実に行って障害発生の予防を図り、システム機器の機能維持を図った。

消防通報用電話（119番）受信状況

(令和元年中)

種別 月	緊急通報							照会							その他				総 受 信 件 数	1 日 平 均	テ ス ト	テ ス ト を 含 む 総 計	1 日 平 均	
	小 計	火 災	救 急	救 助	水 防	そ の 他 災 害	そ の 他	小 計	火 災	救 急	救 助	水 防	そ の 他 災 害	そ の 他	病 院 照 会	小 計	間 違 い	いた ず ら						そ の 他
1月	2,498	11	2,391	30		48	18	477	4	19				1	453	423	128	21	274	3,398	109.6	36	3,434	110.8
	761	2	743	2		12	2	113	1	5					107	49	14	1	34	923		5	928	
	1,147	6	1,083	24		26	8	306	1	12				1	292	210	91	7	112	1,663		4	1,667	
2月	1,957	10	1,865	26		33	23	272	1	9	1				261	406	130	25	251	2,635	94.1	33	2,668	95.3
	593	2	579			7	5	61	1	2				58	56	17	2	37	710	9		719		
	922	7	864	22		20	9	176		4	1				171	197	82	12	103	1,295		5	1,300	
3月	2,008	18	1,928	22		24	16	291		22					269	520	143	38	339	2,819	90.9	66	2,885	93.1
	624	9	606	3		5	1	88		6				82	70	16	1	53	782	13		795		
	936	9	888	15		15	9	175		11					164	263	109	25	129	1,374		12	1,386	
4月	1,987	16	1,904	21		23	23	292	2	23			1	7	259	411	101	7	303	2,690	89.7	51	2,741	91.4
	587	3	578			6		71		9			1	2	59	48	15		33	706		5	711	
	687	7	649	13		6	12	187	2	10				3	172	198	64	6	128	1,072		4	1,076	
5月	2,030	19	1,954	25		23	9	340	3	18	2			5	312	465	165	17	283	2,835	91.5	107	2,942	94.9
	594	3	582	5		3	1	69		2				1	66	71	14	1	56	734		18	752	
	967	14	920	16		13	4	222	2	12	2			3	203	218	118	7	93	1,407		8	1,415	
6月	2,025	12	1,954	16		32	11	267	2	11			1	5	248	456	136	26	294	2,748	91.6	63	2,811	93.7
	595	1	581	2		8	3	69		5				1	63	69	12	6	51	733		13	746	
	1,016	7	974	12		18	5	160	1	5				3	151	229	106	7	116	1,405		5	1,410	
7月	2,069	5	1,989	15		49	11	276	3	9				1	263	547	171	25	351	2,892	93.3	76	2,968	95.7
	559		549			9	1	66	1	2					63	75	18	3	54	700		2	702	
	1,060	5	1,014	12		21	8	175	2	3				1	169	269	118	10	141	1,504		4	1,508	
8月	2,346	3	2,243	39		52	9	371	3	11	1				356	560	180	20	360	3,277	105.7	30	3,307	106.7
	653	1	640	3		7	2	90		2					88	56	19		37	799		7	806	
	1,148	2	1,071	33		37	5	231	1	7	1				222	307	121	7	179	1,686		1	1,687	
9月	1,996	15	1,919	16		35	11	275	2	9	3				261	504	172	21	311	2,775	92.5	68	2,843	94.8
	630	7	609	1		12	1	65	1	1					63	76	29	2	45	771		10	781	
	936	8	890	15		15	8	181	1	5	3				172	224	101	12	111	1,341		8	1,349	
10月	2,027	3	1,947	27		41	9	268		7	1		1	1	258	481	135	21	325	2,776	89.5	66	2,842	91.7
	557	1	544	2		7	3	69		2				1	66	75	23	2	50	701		9	710	
	1,030	2	973	23		30	2	172		4	1		1		166	225	93	12	120	1,427		4	1,431	
11月	1,906	4	1,833	18		29	22	274	1	11	1		1		260	525	150	14	361	2,705	90.2	56	2,761	92.0
	602		588	2		6	6	66		3					63	89	13	2	74	757		16	773	
	925	4	887	13		13	8	172	1	7	1		1		162	246	110	8	128	1,343		3	1,346	
12月	2,297	31	2,180	24		36	26	370		18					351	502	146	24	332	3,169	102.2	39	3,208	103.5
	710	8	685	5		5	7	94		6					88	67	18	2	47	871		7	878	
	1,124	22	1,050	16		23	13	238		10			1		227	257	108	16	133	1,619		5	1,624	
合計	25,146	147	24,107	279		425	188	3,773	21	167	9		5	20	3,551	5,800	1,757	259	3,784	34,719	95.1	691	35,410	97.0
	7,465	37	7,284	25		87	32	921	4	45			1	5	866	801	208	22	571	9,187		114	9,301	
	11,898	93	11,263	214		237	91	2,395	11	90	9		3	11	2,271	2,843	1,221	129	1,493	17,136		63	17,199	
1日平均	68.9	0.4	66.0	0.8		1.2	0.5	10.3	0.1	0.5				0.1	9.7	15.9	4.8	0.7	10.4	95.1		1.9	97.0	
割合%	72.4	0.4	69.4	0.8		1.2	0.5	10.9	0.1	0.5	0.0		0.0	0.1	10.2	16.7	5.1	0.7	10.9	100.0		2.0		

(注) ※ 上段は119番総受信件数、中段はIP電話の119番受信件数内数、下段は携帯電話の119番受信件数内数
 ※ 種別～その他のその他は、通報訓練・緊急通報のテスト及び誤作動等
 ※ 「水防」は、防災指令第1号以上発令時の件数
 ※ 最下段の1日平均及び割合については、小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位までの表示

消防通信施設の状況

令和2年4月1日現在

区分 所属	119 報知専用 電話線	119 転送回線	加入電話			携帯衛星		消防電話			指令					単独 消防団 緊急伝達 装置	位置情報 通知システム (統合型)	高所監視 カメラ システム	現場映像 伝送装置	気象情報 システム	衛星通信・ 県災害対応・ 県救急システム	無線設備												
			一般	消防 テレホン サービス	非常 順次通 報装置	交換機	自動 交換機	業務 回線	指令 台	指令 端末 電	指令 回線	直通 回線	消防 回線	陸上移動局								携帯局 (署活動用)	衛星通信 可搬型 VSAT											
														固定型 デジタル	車載型 デジタル									可搬型 デジタル	可搬型 デジタル アナログ	携帯型 デジタル	携帯型 アナログ	携帯型 (署活動用)						
																													基地局	固定型 デジタル	車載型 デジタル	可搬型 デジタル	可搬型 デジタル アナログ	携帯型 デジタル
合計	18	4	75	14	5	29	73	3	1	273	36	6	9	9	5	38	6	1	1	2	1	3	3	6	115	7	2	87	22	266	26	2		
消防局	18	4	36	5	5	29	12	2	1	82		6	1	1		1						3	1		9	3	1	24	6	39		1		
整備センター			3	1			8			6	2														9			8			1			
西宮			5	1			9			34	2		1	1											1	10	1		12	2	46	1		
北夙川			4	1			5			15	2		1	1											1	5			6	2	22	1		
鳴尾			5	1			9			26	2		1	1											1	9	1		2	39	12			
浜			4	1			4			15	4		1	1											1	6			1	2	17	7		
瓦木			5	1			7			22	2		1	1											1	9	1		11	2	33	1		
甲東			4	1			5			14	2		1	1											1	5			6	2	22	1		
北			5	1			9	1		25	2		1	1										1	9	1		13	2	31	1	1		
山口			4	1			5			15	2		1	1										1	5		1	6	2	17	1			
市役所																2																		
水道局														1																				
消防団															37											39								
医療機関										17	16																							
警察署														2																				
大阪ガス														1																				
高速道路																2																		
西宮北有料道路																1																		
西宮市医師会																1																		
その他										2					1																			

- ※ 一般加入には、発信及び着信専用含む
- ※ 一般加入の下段は、分散受信システム回線数(内数)
- ※ 119転送回線は、受信専用回線

気象情報等月別発令状況

種別	月別		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
警 報	大	雨	5								5							
	洪	水	0															
	暴	風	10								6	1	3					
	波	浪	10								6	1	3					
	高	潮	3								3							
	大	雪	0															
	津	波	0															
	小	計	28	0	0	0	0	0	0	0	20	2	6	0	0			
注 意 報	大	雨	27					1	5	9	6	3	3					
	洪	水	4								3		1					
	強	風	144	10	4	18	15	13	16	17	12	6	16	9	8			
	波	浪	146	11	4	18	15	13	16	17	13	6	16	9	8			
	高	潮	10			2				1	5	1	1					
	津	波	0															
	大	雪	1	1														
	風	雪	0															
	着	雪	0															
	な	だ	れ	0														
	濃	霧	18	1	2	3	1			1	1		2	1	6			
	低	温	0															
	雷		164	3	1	18	9	10	23	33	29	17	13	5	3			
	霜		22			17	5											
乾	燥	90	13	6	24	14	16	1			2	2	8	4				
着	氷	0																
	小	計	626	39	17	100	59	53	61	78	69	35	54	32	29			
情 報	雨		40						17	15	4		4					
	雪		33	6		11		6		2			3	5				
	雷		84			10		6	20	18	16		9	5				
	高	波	3	3														
	低	温	0															
	高	温	32				3			5	17	7						
	台	風	42							6	16	7	13					
	梅	雨	0															
	強	風	89			14		6	18	18	16	2	11	4				
	寒	気	0															
	春	一	番	0														
	気	圧	配	置	0													
	津	波	0															
	地	震	0															
	日	照	不	足	0													
そ	の	他	5						3		2							
火	災	気	象	通	報	108	11	4	14	10	13	5	4	5	4	10	16	12
光	化	学	ス	モ	グ	2				1		1						
	小	計	438	20	4	49	10	35	63	68	77	20	50	30	12			
合	計		1,092	59	21	149	69	88	124	146	166	57	110	62	41			

発令された防災指令等

災 害 警 戒 指 令	0														
防 災 指 令 第 1 号	0														
防 災 指 令 第 2 号	0														
防 災 指 令 第 3 号	0														
水 防 警 戒 指 令	2										1		1		
水 防 指 令 第 1 号	0														
水 防 指 令 第 2 号	0														
水 防 指 令 第 3 号	0														
国 土 大 臣 が 発 する 水 防 警 報	0														
火 災 警 報	0														
火 災 注 意 報	0														
合 計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0

消防テレホンサービス利用状況

月別	利用件数	1日平均 利用件数	利 用 状 況		
			災害情報利用数	病院情報利用数	消防情報利用数
1月	475	15	201	200	74
2月	427	15	241	113	73
3月	501	16	260	131	110
4月	405	14	244	117	44
5月	434	14	205	172	57
6月	580	19	335	152	93
7月	428	14	196	133	99
8月	411	13	194	151	66
9月	471	16	234	148	89
10月	323	10	163	108	52
11月	370	12	188	123	59
12月	511	16	287	167	57
合 計	5,336	15	2,748	1,715	873

- 1 災 害 情 報 災害(建物・林野火災)発生時随時
- 2 病 院 情 報 【平日】17:00～翌朝8:00
【土曜】11:00～翌朝8:00
【日曜・祝日】8:00～翌朝8:00
- 3 消 防 情 報 24時間

車 両 整 備



消防車両の整備

車 両 整 備 の 概 要

令和元年度においては、車両の購入に伴う車両の設計及び配置と車両継続検査及び定期点検等の自家整備を実施し整備業務の充実を図った。

車 両 の 購 入

車両更新計画に基づき、高規格救急自動車1台、活動支援車1台、災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台、特殊災害対応支援車1台及び消防ポンプ自動車1台を更新し、消防及び救急体制の充実強化を図った。

- 1 高規格救急自動車
鳴尾消防署に高規格救急自動車を購入した。
- 2 活動支援車
鳴尾消防署浜分署に活動支援車を購入した。
- 3 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車
北消防署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を購入した。
- 4 特殊災害対応支援車
西宮消防署に特殊災害対応支援車を購入した。
- 5 消防ポンプ自動車
西宮消防署北夙川分署に消防ポンプ自動車を購入した。

車 種 別	車 名	配 置 年 月 日	配 置 場 所	購 入 別
高 規 格 救 急 自 動 車	鳴尾19	令和元年11月29日	鳴尾消防署	更 新
活 動 支 援 車	浜 5	令和元年12月11日	浜 分 署	更 新
災 害 対 応 特 殊 水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	北 2	令和2年2月21日	北 消 防 署	更 新
特 殊 災 害 対 応 支 援 車	西宮5	令和2年3月6日	西宮消防署	更 新
消 防 ポ ン プ 自 動 車	北夙川1	令和2年3月13日	北夙川分署	更 新

点 検 整 備 等

(単位：台)

整備別 所属別		車検整備	定 期 点 検 整 備			毎月点検整備
			大 型	普通・軽	計	
合 計		37	70	78	148	727
消 防 局		9	11	19	30	177
西 宮	小 計	9	13	14	27	144
	本 署	5	10	10	20	95
	北夙川	4	3	4	7	49
鳴 尾	小 計	8	17	15	32	140
	本 署	6	10	8	18	84
	浜	2	7	7	14	56
瓦 木	小 計	5	16	15	31	132
	本 署	3	16	7	23	82
	甲 東	2	/	8	8	50
北	小 計	6	13	15	28	134
	本 署	5	9	8	17	86
	山 口	1	4	7	11	48

消 防 団



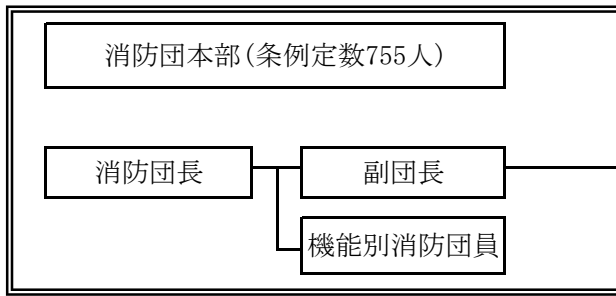
西宮市消防団 更新車両の配車式

西宮市消防団の沿革

明治初期	西宮港沖仲仕が消防組的作業に従事
明治10年 4 月	沖仲仕と大工組合合同で西宮町火防組設置
明治20年	西宮町公認により、西宮警察署長の指揮下に属す。 役員、組織等を完備し、用具、服装の整備を町費で維持
明治27年 2 月	勅令（第15号）消防組規則施行に基づき西宮町消防組創設
大正14年 4 月	市制施行に基づき西宮市消防組と改称
昭和14年 7 月	勅令（第20号）警防団令施行に基づき西宮市警防団に改組。本部は西宮警察署に設置、9分団で発足。
昭和16年 2 月	武庫郡甲東村と合併、西宮市警防団11分団となる。
昭和17年 5 月	武庫郡瓦木村と合併、西宮市警防団14分団となる。
昭和22年 9 月	警防団を廃止、西宮市消防団結成
昭和26年 4 月	武庫郡鳴尾村、有馬郡山口村、塩瀬村が西宮市と合併、西宮市消防団26分団となる。
昭和40年 4 月	西宮市消防団甲東分団を3分団に改編、28分団となる。
昭和53年 4 月	西宮市消防団水上分団を廃止し、1本部27分団となる。
昭和56年 4 月	西宮市消防団夙川・甲東第1・甲東第2・甲東第3・瓦木・東北分団を改編し、1本部33分団となる。
平成2年 4 月	消防団組織強化のため、分団所管地区を7地区に改編
平成5年 3 月	被服等貸与規程を改正し、法被を廃止
平成8年 4 月	消防団事務を市民局から消防局に移管
平成8年 11 月	瓦木分団車庫竣工
平成9年 4 月	消防団車両に車載無線機(消防第2市波)を装備 消防緊急情報システムに連動した消防団緊急伝達装置を導入
平成10年 9 月	防災資機材(8品目)を33分団に配置完了(4年計画)
平成11年 2 月	建石分団車庫竣工
平成11年 3 月	高木分団車庫竣工
平成12年 2 月	甲子園口分団車庫竣工
平成15年 3 月	名塩分団木之元班車庫竣工

平成16年 3 月	浜脇分団車庫竣工
平成17年 4 月	消防署の管轄区域に準じ、分団所管地区を改編
平成18年 12 月	生瀬分団西車庫竣工
平成20年 6 月	機能別消防団員制度発足
平成21年 8 月	ゴムボートを13分団に配置
平成22年 3 月	越木岩分団車庫竣工
平成23年 12 月	下山口分団車庫竣工
平成25年 6 月	西宮市消防団に初の女性消防団員が入団
平成25年 12 月	津門分団車庫竣工
平成26年 12 月	鳴尾北分団車庫竣工
平成28年 12 月	段上分団車庫竣工
平成29年 10 月	船坂分団車庫竣工
平成30年 12 月	中野分団車庫竣工
平成31年 3 月	門戸分団車庫竣工
令和 2 年 3 月	用海分団車庫竣工 生瀬分団新車庫竣工

消防団の組織



消防分団配置状況



- | | |
|--------|-------|
| 浜脇分団 | 本庁南地区 |
| 用海分団 | |
| 建石分団 | |
| 今津分団 | |
| 津門分団 | 本庁北地区 |
| 安井分団 | |
| 大社分団 | |
| 芦原分団 | |
| 夙川分団 | 甲東地区 |
| 越木岩分団 | |
| 段上分団 | |
| 門戸分団 | |
| 上ヶ原分団 | 瓦木地区 |
| 下大市分団 | |
| 神呪分団 | |
| 上大市分団 | |
| 高木分団 | 鳴尾地区 |
| 瓦木分団 | |
| 甲子園口分団 | |
| 上甲子園分団 | |
| 鳴尾中分団 | 山口地区 |
| 鳴尾西分団 | |
| 鳴尾北分団 | |
| 小松分団 | |
| 小曾根分団 | 塩瀬地区 |
| 鳴尾東分団 | |
| 名来分団 | |
| 下山口分団 | |
| 上山口分団 | |
| 中野分団 | |
| 船坂分団 | |
| 生瀬分団 | |
| 名塩分団 | |

消防団自動車現況

(令和2年4月1日現在)

区分 分団	車名年式	購入年月日	車 齡 (年)	車両総重量 (kg)	ポンプ性能	小型動力ポンプ
団 本 部	トヨタ 令和元	1. 7. 3	0	1,875	司令車	
浜 脇 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	8	4,800	A-2級	
用 海 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	8	4,800	〃	
建 石 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	7	4,640	〃	
今 津 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	3	4,620	〃	
津 門 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	2	4,770	〃	
安 井 分 団	いすゞ 平成23	24. 1. 27	8	4,800	〃	
大 社 分 団	日 野 平成27	27. 10. 16	4	4,490	〃	
芦 原 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	6	4,770	〃	
夙 川 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	7	4,640	〃	
越 木 岩 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	6	4,770	〃	
段 上 分 団	日 野 平成27	27. 10. 16	4	4,540	〃	
門 戸 分 団	いすゞ 平成30	30. 11. 2	1	4,930	〃	
上 ヶ 原 分 団	いすゞ 平成30	30. 11. 2	1	4,930	〃	
下 大 市 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	2	4,820	〃	
神 呪 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	3	4,620	〃	
上 大 市 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	5	4,690	〃	
高 木 分 団	日 野 平成24	24. 11. 1	7	4,640	〃	
瓦 木 分 団	いすゞ 平成30	30. 11. 2	1	4,930	〃	
甲 子 園 口 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	5	4,720	〃	
上 甲 子 園 分 団	いすゞ 平成25	25. 10. 18	6	4,770	〃	
鳴 尾 中 分 団	いすゞ 平成21	21. 9. 9	10	4,710	〃	
鳴 尾 西 分 団	いすゞ 平成26	26. 10. 30	5	4,720	〃	
鳴 尾 北 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	9	4,710	〃	
小 松 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	3	4,620	〃	
小 曾 根 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	9	4,710	〃	
鳴 尾 東 分 団	トヨタ 平成29	29. 1. 20	3	4,620	〃	
名 来 分 団	いすゞ 平成20	20. 9. 24	11	4,680	〃	シバウラ T F 516SH
下 山 口 分 団	いすゞ 平成16	16. 10. 22	15	4,530	〃	シバウラ T F 516SH
上 山 口 分 団	トヨタ 令和2	2. 2. 3	0	4,730	〃	シバウラ F T 300M
〃 金仙寺班	いすゞ 平成21	21. 9. 9	10	4,710	〃	シバウラ T F 520SH
中 野 分 団	いすゞ 平成20	20. 9. 24	11	4,680	〃	シバウラ T F 516SH
船 坂 分 団	いすゞ 平成19	19. 9. 19	12	4,610	〃	トーハツ V 20 B
生 瀬 分 団	いすゞ 平成29	29. 11. 2	2	4,820	〃	シバウラ F T 300M
〃	日 野 平成27	27. 10. 16	4	4,560	〃	シバウラ T F 520SH
名 塩 分 団	いすゞ 平成22	22. 10. 27	9	4,940	〃	シバウラ T F 520SH
〃	トヨタ 令和2	2. 2. 3	0	4,730	〃	シバウラ F T 300M
〃 木之元班	いすゞ 平成19	19. 9. 19	12	4,610	〃	トーハツ V 20 B
〃 東久保班	いすゞ 平成20	20. 9. 24	11	4,680	〃	シバウラ T F 516SH

消 防 団 員 在 職 年 数 状 況

(令和2年4月1日現在)

階級 区分	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計 (うち女性)	700 (8)	1	7	33	36	37	110	476 (8)
5年未満 (うち女性)	144 (3)						1	143 (3)
5～9年 (うち女性)	133 (5)			1		1	6	125 (5)
10～14年	102				1	3	16	82
15～19年	94			1	3	4	29	57
20～24年	82			3	8	12	29	30
25～29年	67			8	12	7	19	21
30年以上	78	1	7	20	12	10	10	18

※ 団員平均 14年10ヶ月

消 防 団 員 年 齢 状 況

(令和2年4月1日現在)

階級 区分	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計	700	1	7	33	36	37	110	476
20歳未満	4							4
20～24歳	17							17
25～29歳	24							24
30～34歳	44							44
35～39歳	73				0		3	70
40～44歳	98				2		13	83
45～49歳	125				3	10	30	82
50～54歳	107			3	8	11	29	56
55～59歳	89			10	9	8	19	43
60歳以上	119	1	7	20	14	8	16	53

※ 団員平均 48歳2ヶ月

消防団費と市民負担

(令和2年4月1日現在)

消 防 団 費	予 算 額	1世帯当り	人口1人当り
	326,051千円	1,463円	674円

消防団出動状況

(令和元年度中)

種別 区分	合 計	火 災	水 防・防 災	警 戒	訓 練
出動回数	812	44	1	18	749
出動分団数	1,621	168	3	203	1,247
出動車両数	1,390	131	3	225	1,031
出動団員数	10,094	1,087	23	1,514	7,470

消防団訓練実施内容

(令和元年度中)

訓練内容	出動回数	出動分団数	出動車両数	出動団員数
自主防災組織合同訓練	53	36	53	391
西宮市消防出初式	1	32	35	379
「文化財防火デー」に伴う消防訓練	1	1	1	8
西宮市消防団消防操法大会	/	/	/	/
春の全国火災予防運動・訓練	1	30	35	278
西宮市総合防災訓練	1	9	8	51
秋の全国火災予防運動・訓練	7	156	164	680
小学校区防災訓練	4	15	15	116

派遣研修及び教育訓練実施状況

(令和元年度中)

種別 区分	合 計	県 消 防 学 校	新 入 団 員 等 研 修	機 能 別 団 員 研 修	ポ ン プ 操 法 訓 練	訓 練 礼 式	操 縦 訓 練	ポ ン プ 取 扱 訓 練	想 定 訓 練	救 急 講 習	結 索 訓 練
回 数	86	3	2	1	56	4	1	10	6	2	1
人 員	1,295	10	43	24	556	109	8	253	249	28	15

※分団定例訓練は除く

公務災害等発生状況

(令和元年度中)

区分	発生 件数	被 災者 数	階 級 別						傷 病 程 度 別								
									通 院			入 院				死 亡	
			副 団 長 以 上	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	一 週 間 未 満	一 週 間 ～ 一 カ 月	一 カ 月 ～ 三 カ 月	三 カ 月 以 上	一 週 間 未 満	一 週 間 ～ 一 カ 月	一 カ 月 ～ 三 カ 月		三 カ 月 以 上
			勤務態様別														
公務災害	現場活動中	火災															
		警戒															
		水防 防災															
		その他															
	訓練中																
	一般業務中	1	1	1							1		1				
	合 計	1	1	1							1		1				

団員の職業別

(令和2年4月1日現在)

合 計	農 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 気 道 路	水 道 輸 送	運 通 輸 信	卸 小 食 売 店	飲 食 店	金 保 融 険	不 動 産	サ ー ビ ス	公 務 員	そ の 他 職 等
700	25	1	103	74	27		54	94		22	26	175	29	70

表 彰

(令和元年度中)

種 別	消 防 庁 長 官	日 本 消 防 協 会 長	兵 庫 県 知 事	兵 庫 県 消 防 協 会 長	西 宮 市 長	西 宮 市 消 防 団 長
階級別						
合 計	2	24	27	41	39	26
西 宮 市 消 防 団						
分 団						
消 防 団 長						
副 団 長		1	1	1		
分 団 長	2	7	4	14	4	
副 分 団 長		5	7	5	3	1
部 長				9	1	
班 長		5	8	4	1	
団 員		6	7	8	30	25

消 防 年 報

(令和元年版)

発 行 令和 2 年 8 月

編 集 西宮市消防局総務部企画課

〒662-0911

西宮市池田町13番3号

T E L 0798-26-0119

備えて安心、住宅用火災警報器を設置しましょう！



西宮市消防マスコット ウーちゃん・カンちゃん